
敦賀発電所2号炉
ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答
補足説明資料5
総点検結果(2)
②ボーリング柱状図記事欄以外の比較

令和2年5月13日
日本原子力発電株式会社

本資料は、ボーリング柱状図の記事欄以外について比較を行い、記載が変更されている箇所を抽出し、その内容、変更理由を確認したものである。

記事欄以外とは、孔口標高、掘削長、標尺、標高、深度、柱状図欄の様相、岩種区分、色調、岩級区分、コア採取率とそのグラフ表示、最大コア長とそのグラフ表示及びRQDとそのグラフ表示である。

比較対象としたのは以下の資料である。

- ・調査会社からの報告書(以下「報告書」という。)
平成19年、平成20年、平成25年、平成27年、平成30年
- ・平成27年11月5日 原子炉設置変更許可申請書(以下「申請書」という。)
- ・審査会合資料
 - ・平成29年12月22日審査資料(第536回審査会合)
 - ・平成30年11月30日審査資料(第657回審査会合)
 - ・令和2年2月7日審査資料(第833回審査会合)

比較は、以下の資料毎で行った。

- ・報告書と平成29年12月22日審査資料
- ・報告書と平成30年11月30日審査資料
- ・報告書と申請書
- ・申請書と平成29年12月22日審査資料
- ・平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料
- ・平成30年11月30日審査資料と令和2年2月7日審査資料

なお、確認の結果、平成29年12月22日審査資料と平成30年11月30日審査資料の記事欄以外の記載は同一であることが確認できたため、本資料の以降には含めていない。

記載が変更されている場合は、変更理由を確認し、四つの分類に整理した。

分類a: 誤記

分類b: 誤記修正 …誤記を正しく修正したもの

分類c: 記載の適正化

分類d: 記事欄の記載変更に伴う変更 …補足説明資料2で確認した記事欄の記載の変更に伴い記事欄以外の記載を変更しているもの

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-1	補足5- 12,13	H19-No.16	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-2	補足5- 12,13	H19-No.16	色調	記載なし	オリーブ黒	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-3	補足5- 12~37	H19-No.16	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-4	補足5- 14,15	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-5	補足5- 16,17	H19-No.16	標高(m)	記載なし	17.73	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-6	補足5- 16,17	H19-No.16	標高(m)	記載なし	17.63	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-7	補足5- 16,17	H19-No.16	深度(m)	記載なし	56.75	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-8	補足5- 16,17	H19-No.16	深度(m)	記載なし	56.85	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-9	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-10	補足5- 16,17	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-11	補足5- 16,17	H19-No.16	岩種区分	アブライト	ベグマタイト	c	報告書の記事にあった"ベグマタイト"を反映させたため。
1-12	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	8.06	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-13	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.91	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-14	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.75	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-15	補足5- 18,19	H19-No.16	標高(m)	記載なし	7.58	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-16	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.42	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-17	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.57	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-18	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.73	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-19	補足5- 18,19	H19-No.16	深度(m)	記載なし	66.90	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-20	補足5- 18,19	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-21	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アブライト	ベグマタイト	c	報告書の記事にあった"ベグマタイト"を反映させたため。
1-22	補足5- 18,19	H19-No.16	岩種区分	アブライト	ベグマタイト	c	報告書の記事にあった"ベグマタイト"を反映させたため。
1-23	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-24	補足5- 20,21	H19-No.16	柱状図	模様の位置が異なる。		b	誤記の修正。
1-25	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-26	補足5- 24,25	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-27	補足5- 24~27	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-28	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-29	補足5- 28,29	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-30	補足5- 32,33	H19-No.16	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-31	補足5- 36,37	H19-No.16	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-32	補足5- 38,39	H19-No.17	標高(m)	73.91	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-33	補足5- 38,39, 42,43, 46,47, 52~57, 60,61	H19-No.17	標高(m)	66.30~106.80	65.46~125.54	a	誤記。
1-34	補足5- 38,39	H19-No.17	深度(m)	0.61	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-35	補足5- 38~61	H19-No.17	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-36	補足5- 38,39	H19-No.17	最大コア長(cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-37	補足5- 38,39	H19-No.17	RQD(%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
1-38	補足5- 40,41	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-39	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-40	補足5- 42,43	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-41	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-42	補足5- 46,47	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-43	補足5- 46,47	H19-No.17	岩種区分	黒雲母花崗岩	花崗岩	a	誤記。
1-44	補足5- 48,49	H19-No.17	標高(m)	-14.83	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-45	補足5- 48,49	H19-No.17	深度(m)	98.52	記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-46	補足5- 50,51	H19-No.17	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容		分類	変更理由
			対象箇所	報告書		
1-47	補足5- 62.63	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-48	補足5- 62~67	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-49	補足5- 62~79	H19-No.19	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-50	補足5- 78.79	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-51	補足5- 78.79	H19-No.19	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-52	補足5- 80.81	H19-No.8	標高(m)	19.07	c	幅80cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたに伴い、表土下端の標高の表示がなくなったもの。
1-53	補足5- 80.81	H19-No.8	標高(m)	18.62	c	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-54	補足5- 80.81	H19-No.8	標高(m)	17.98	c	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-55	補足5- 80.81	H19-No.8	標高(m)	15.68	c	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-56	補足5- 80.81	H19-No.8	深度(m)	0.08	c	幅80cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたに伴い、表土下端の深度の表示がなくなったもの。
1-57	補足5- 80.81	H19-No.8	深度(m)	0.60	c	岩種区分の"中砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-58	補足5- 80.81	H19-No.8	深度(m)	1.34	c	岩種区分の"細砂有機質土混り砂質シルト互層"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-59	補足5- 80.81	H19-No.8	深度(m)	4.00	c	岩種区分の"粗砂"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-60	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	斜線の記載	c	幅80cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたに伴い、表土区間の図模様の表示がなくなったもの。
1-61	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-62	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	c	性状が近いものを丸めたため。
1-63	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	c	性状が近いものを丸めたため。
1-64	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	c	性状が近いものを丸めたため。
1-65	補足5- 80.81	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-66	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	表土	c	性状が近いものを丸めたため。
1-67	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	有機質土混り中砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-68	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	中砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-69	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	細砂有機質土混り砂質シルト互層	c	性状が近いものを丸めたため。
1-70	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	中砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-71	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	粗砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-72	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	細砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-73	補足5- 80.81	H19-No.8	岩種区分	礫混り・砂利混り中砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-74	補足5- 80~101	H19-No.8	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-75	補足5- 84.85	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-76	補足5- 88.89	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-77	補足5- 92.93	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-78	補足5- 92.93	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-79	補足5- 96.97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-80	補足5- 96.97	H19-No.8	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-81	補足5- 102.103	H20-①-2	標高(m)	66.08	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-82	補足5- 102.103	H20-①-2	深度(m)	0.08	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-83	補足5- 102.103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。	c	性状が近いものを丸めたため。
1-84	補足5- 102.103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
1-85	補足5- 102.103	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-86	補足5- 102.103	H20-①-2	岩種区分	腐植土	c	性状が近いものを丸めたため。
1-87	補足5- 102.103	H20-①-2	岩種区分	腐植混り砂	c	表現を統一したため。
1-88	補足5- 102.103	H20-①-2	岩種区分	シルト質砂	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-89	補足5- 102.103	H20-①-2	岩種区分	D'間に空欄	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-90	補足5- 102~115	H20-①-2	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-91	補足5- 106.107	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-92	補足5- 110.111	H20-①-2	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-93	補足5- 116.117	H20-①-1	標高(m)	66.60	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-94	補足5- 116.117	H20-①-1	深度(m)	0.04	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-95	補足5- 116.117	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。	c	岩種区分の"腐植土"を消去したため。 (性状が近いものを丸めたため)
1-96	補足5- 116.117	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-97	補足5- 116.117	H20-①-1	柱状図	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-98	補足5- 116.117	H20-①-1	岩種区分	腐植土, シルト混り砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-99	補足5- 116.117	H20-①-1	色調	灰黄	b	誤記の修正。
1-100	補足5- 116~125	H20-①-1	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-101	補足5- 124.125	H20-①-1	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-102	補足5- 126.127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-103	補足5- 126.127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-104	補足5- 126.127	H20-①-3	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-105	補足5- 126~135	H20-①-3	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-106	補足5- 134.135	H20-①-3	柱状図	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-107	補足5- 134.135	H20-①-3	柱状図	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-108	補足5- 136.137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。	c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-109	補足5- 136.137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-110	補足5- 136.137	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-111	補足5- 136~145	H20-①-4	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-112	補足5- 140.141	H20-①-4	柱状図	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-113	補足5- 140.141	H20-①-4	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-114	補足5- 142.143	H20-①-4	柱状図	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-115	補足5- 146~159	H19-No.11	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-116	補足5- 146.147	H19-No.11	最大コア長(cm)	0	c	基盤上層の1m未満の区間を省いたため。
1-117	補足5- 146.147	H19-No.11	RQD(%)	0	c	基盤上層の1m未満の区間を省いたため。
1-118	補足5- 154.155	H19-No.11	柱状図	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-119	補足5- 160.161	H19-No.13	標高(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-120	補足5- 160.161	H19-No.13	標高(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-121	補足5- 160.161	H19-No.13	深度(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-122	補足5- 160.161	H19-No.13	深度(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-123	補足5- 160.161	H19-No.13	柱状図	模様なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-124	補足5- 160.161	H19-No.13	岩種区分	アグライト	c	報告書の記事にあった"ベグマタイト"を反映させたため。
1-125	補足5- 160~171	H19-No.13	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-126	補足5- 164.165	H19-No.13	標高(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-127	補足5- 164.165	H19-No.13	標高(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-128	補足5- 164.165	H19-No.13	深度(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-129	補足5- 164.165	H19-No.13	深度(m)	記載なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。
1-130	補足5- 164.165	H19-No.13	柱状図	模様なし	c	岩種区分に"ベグマタイト"が追加されたため。

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-131	補足5-164,165	H19-No.13	岩種区分	アフライト	ベグマタイト	c	報告書の記事にあった“ベグマタイト”を反映させたため。
1-132	補足5-168,169	H19-No.13	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-133	補足5-172,173	H20-③-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-134	補足5-174,175	H20-③-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-135	補足5-176,177	H19-No.3	孔口標高	37.31	37.36	b	誤記の修正。
1-136	補足5-176,177,180,181,184,185,198,199	H19-No.3	標高(m)	37.19~162.69	37.24~162.64	b	孔口標高を正しい値にしたため。
1-137	補足5-176,177	H19-No.3	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-138	補足5-176,177	H19-No.3	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-139	補足5-176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-140	補足5-176,177	H19-No.3	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-141	補足5-176~199	H19-No.3	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-142	補足5-178,179	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-143	補足5-180,181	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-144	補足5-180,181	H19-No.3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-145	補足5-200~213	H27-Br-1	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-146	補足5-200~213	H27-Br-1	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-147	補足5-202~205	H27-Br-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-148	補足5-206~209	H27-Br-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-149	補足5-208,209	H27-Br-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-150	補足5-212,213	H27-Br-1	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-151	補足5-214,215	H20-①-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-152	補足5-214,215	H20-①-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-153	補足5-214~217	H20-①-8	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-154	補足5-214,215	H20-①-8	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
1-155	補足5-214~217	H20-①-8	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-156	補足5-218~227	H27-Br-2	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-157	補足5-218,219	H27-Br-2	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-158	補足5-218~227	H27-Br-2	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-159	補足5-228~231	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-160	補足5-228~239	H27-Br-8	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-161	補足5-230,231	H27-Br-8	標高(m)	記載なし	37.56	c	コア欠を反映させたため。
1-162	補足5-230,231	H27-Br-8	深度(m)	記載なし	34.78	c	コア欠を反映させたため。
1-163	補足5-230,231	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-164	補足5-232,233	H27-Br-8	標高(m)	記載なし	36.00	c	コア欠を反映させたため。
1-165	補足5-232,233	H27-Br-8	深度(m)	記載なし	36.34	c	コア欠を反映させたため。
1-166	補足5-232,233	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-167	補足5-232,233	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-168	補足5-232~235	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-169	補足5-232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	c	表現を統一したため。
1-170	補足5-232,233	H27-Br-8	色調	コア欠	記載なし	c	表現を統一したため。
1-171	補足5-236~239	H27-Br-8	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-172	補足5-240~243	H24-B14-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-173	補足5-244,245	H20-④-2	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-174	補足5-244,245	H20-④-2	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-175	補足5-244,245	H20-④-2	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-176	補足5-244,245	H20-④-2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-177	補足5-244,245	H20-④-2	岩種区分	シルト質細砂	シルト質砂	c	表現を統一したため。
1-178	補足5-244~257	H20-④-2	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-179	補足5-252,253	H20-④-2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-180	補足5-252,253	H20-④-2	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-181	補足5-258,259	H20-④-1	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-182	補足5-258,259	H20-④-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-183	補足5-258,259	H20-④-1	岩種区分	腐植質シルト	有機質シルト	c	表現を統一したため。
1-184	補足5-258,259,262~269	H20-④-1	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-185	補足5-258,259	H20-④-1	柱状図	模様異なる。		a	誤記。記事欄の記載変更の反映漏れ。(破砕部模様の削除)
1-186	補足5-264,265	H20-④-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-187	補足5-264,265	H20-④-1	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-188	補足5-268,269	H20-④-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-189	補足5-270,271	H20-④-5	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-190	補足5-270,271	H20-④-5	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-191	補足5-270~277	H20-④-5	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-192	補足5-274,275	H20-④-5	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-193	補足5-274,275	H20-④-5	柱状図	模様異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-194	補足5-278,279	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-195	補足5-278,279	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-196	補足5-278,279	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-197	補足5-278,279	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-198	補足5-278~281	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-199	補足5-278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混りシルト	有機質土混りシルト	c	表現を統一したため。
1-200	補足5-278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り粗砂	有機質土混り粗砂	c	表現を統一したため。
1-201	補足5-278,279	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混り砂	c	表現を統一したため。
1-202	補足5-278~281	H19-No.7	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
1-203	補足5-278~295	H19-No.7	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-204	補足5-280~283	H19-No.7	柱状図	模様異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-205	補足5-280,281	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-206	補足5-280~283	H19-No.7	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
1-207	補足5-282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-208	補足5-282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-209	補足5-282,283	H19-No.7	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混り砂	c	表現を統一したため。
1-210	補足5-282,283	H19-No.7	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-211	補足5-282,283	H19-No.7	最大コア長(cm)	0	記載なし	c	基盤上層の1m未満の区間を省いたため。
1-212	補足5-282,283	H19-No.7	RQD(%)	0	記載なし	c	基盤上層の1m未満の区間を省いたため。
1-213	補足5-294,295	H19-No.7	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-214	補足5-296,297	H24-B8-23	標高(m)	-15.84	数値記載なし	c	当該区分の“スライム”を消去したため。 (当該スライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-215	補足5-296.297	H24-B8-23	標高(m)	-15.91	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-216	補足5-296.297	H24-B8-23	深度(m)	25.52	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-217	補足5-296.297	H24-B8-23	深度(m)	25.60	数値記載なし	c	岩種区分の"スライム"を消したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-218	補足5-296.297	H24-B8-23	柱状図	模様が異なる。		c	岩種区分の"スライム"を消したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-219	補足5-296.297	H24-B8-23	岩種区分	花崗斑岩間にスライム	花崗斑岩	c	岩種区分の"スライム"を消したため。 (当該のスライムの幅が狭く、審査資料のサイズの場合だと岩種区分に反映させると見にくいことから、記事のみに表現を留めたため)
1-220	補足5-298.299	H24-B8-29	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-221	補足5-298.299	H24-B8-29	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-222	補足5-300.301	H24-B8-30	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-223	補足5-300.301	H24-B8-30	岩種区分	礫混じりシルト質砂	礫・シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-224	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-5.49	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-225	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-7.72	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-226	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-8.03	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-227	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-8.07	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-228	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-10.84	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-229	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-11.41	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-230	補足5-302.303	H19-No.6	標高(m)	-12.79	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-231	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	11.49	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-232	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	14.40	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-233	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	14.80	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-234	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	14.85	数値記載なし	c	性状が近いものを丸めたため。
1-235	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	18.47	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-236	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	19.22	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-237	補足5-302.303	H19-No.6	深度(m)	21.02	数値記載なし	c	岩種区分は同一のため削除。
1-238	補足5-302.303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-239	補足5-302.303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-240	補足5-302.303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-241	補足5-302.303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-242	補足5-302.303	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-243	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	礫混り高有機質土	礫混じり高有機質土	c	表現を統一したため。
1-244	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-245	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-246	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	砂	礫混じり砂	c	性状が近いものを丸めたため。
1-247	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-248	補足5-302.303	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-249	補足5-302~305	H19-No.6	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混じり砂	c	表現を統一したため。
1-250	補足5-302~323	H19-No.6	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-251	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-252	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-253	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-254	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-255	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-256	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-257	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-258	補足5-306.307	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-259	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-260	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-261	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-262	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-263	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-264	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-265	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-266	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-267	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混じり砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-268	補足5-306.307	H19-No.6	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-269	補足5-320.321	H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.07	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-270	補足5-320.321	H19-No.6	標高(m)	記載なし	-125.78	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-271	補足5-320.321	H19-No.6	深度(m)	記載なし	167.59	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-272	補足5-320.321	H19-No.6	深度(m)	記載なし	168.49	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-273	補足5-320.321	H19-No.6	柱状図	模様が異なる。		c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-274	補足5-320.321	H19-No.6	岩種区分	花崗斑岩	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-275	補足5-320.321	H19-No.6	色調	灰白	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-276	補足5-320.321	H19-No.6	岩種区分	D'	記載なし	c	コア欠を岩種区分に反映させたため。
1-277	補足5-324.325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-278	補足5-324.325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-279	補足5-324.325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-280	補足5-324.325	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-281	補足5-324.325	H19-No.18	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混じり砂礫	c	表現を統一したため。
1-282	補足5-324.325	H19-No.18	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-283	補足5-324.325	H19-No.18	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混じりシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-284	補足5-324.325	H19-No.18	岩種区分	シルト混り砂	シルト混じり砂	c	表現を統一したため。
1-285	補足5-324.325	H19-No.18	岩種区分	礫混り砂	礫混じり砂	c	表現を統一したため。
1-286	補足5-324~343	H19-No.18	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-287	補足5-340.341	H19-No.18	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-288	補足5-344~347	H20-①-5	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-289	補足5-346.347	H20-①-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-290	補足5-346.347	H20-①-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-291	補足5-348.349	H20-①-6	柱状図	模様なし		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-292	補足5-348~357	H20-①-6	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-293	補足5-358~367	H27-Br-3	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-294	補足5-358~367	H27-Br-3	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-295	補足5-362.363	H27-Br-3	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-296	補足5-368.369	H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.21	c	岩種区分に"ドレイト"が追加されたため。

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 平成30年11月30日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	審査資料		
1-297	補足5-368,369	H19-No.15	標高(m)	記載なし	86.13	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-298	補足5-368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.57	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-299	補足5-368,369	H19-No.15	深度(m)	記載なし	9.69	c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-300	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-301	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	岩種区分に"ドレライト"が追加されたため。
1-302	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-303	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-304	補足5-368,369	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-305	補足5-368,369	H19-No.15	岩種区分	有機質土混りシルト質砂	有機質土混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-306	補足5-368,369	H19-No.15	岩種区分	ドレライト		c	報告書の記事にあった"ドレライト"を反映させたため。
1-307	補足5-368~385	H19-No.15	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-308	補足5-372,373	H19-No.15	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-309	補足5-378,379	H19-No.15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-310	補足5-386,387	H20-④-3	孔口標高	112.50	112.47	b	誤記の修正。
1-311	補足5-386,387, 390~395, 398,399	H20-④-3	標高(m)	110.33~2.50	110.30~2.53	b	孔口標高を正しい値にしたため。
1-312	補足5-386,387	H20-④-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-313	補足5-386~399	H20-④-3	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-314	補足5-400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-315	補足5-400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-316	補足5-400,401	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-317	補足5-400~403	H20-④-6	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-318	補足5-400,401	H20-④-6	岩種区分	細砂	砂	c	表現を統一したため。
1-319	補足5-400~405	H20-④-6	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-320	補足5-406,407	H20-④-7	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-321	補足5-406,407	H20-④-7	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-322	補足5-406~411	H20-④-7	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-323	補足5-412,413	H24-B8-34	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-324	補足5-414~423	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-325	補足5-414~423	H27-Br-5	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-326	補足5-418,419	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-327	補足5-418,419	H27-Br-5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-328	補足5-424~435	H27-Br-6	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-329	補足5-424~435	H27-Br-6	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-330	補足5-436~447	H27-Br-12	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-331	補足5-436,437	H27-Br-12	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫・シルト混り砂	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-332	補足5-436~447	H27-Br-12	コア採取率(%)	標尺0~1mの範囲のみ数値, グラフの記載あり, その他なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-333	補足5-448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
1-334	補足5-448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-335	補足5-448,449	H19-No.10	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-336	補足5-450,451	H19-No.10	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-337	補足5-452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-338	補足5-452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-339	補足5-452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-340	補足5-452,453	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-341	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
1-342	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	粘土混り砂	粘土混り砂	c	表現を統一したため。
1-343	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	腐植混り砂	有機質混り砂	c	表現を統一したため。
1-344	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
1-345	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
1-346	補足5-452,453	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
1-347	補足5-452~455	H19-No.5	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-348	補足5-454~457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-349	補足5-454~457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
1-350	補足5-456,457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-351	補足5-456,457	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-352	補足5-456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
1-353	補足5-456,457	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-354	補足5-456,457	H19-No.5	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混り砂質シルト	c	表現を統一したため。
1-355	補足5-456,457	H19-No.5	岩種区分	シルト混り砂礫	シルト混り砂礫	c	表現を統一したため。
1-356	補足5-458,459	H19-No.5	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-357	補足5-460,461	H20-④-4	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-358	補足5-460~463	H20-④-4	コア採取率(%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
1-359	補足5-464,465	H24-B8-15	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
1-360	補足5-464,465	H24-B8-15	岩種区分	有機質シルト	礫・砂混り有機質シルト	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
1-361	補足5-466,467	H24-B8-35	岩種区分	埋土	埋戻し土	c	表現を統一したため。
1-362	補足5-466,467	H24-B8-35	岩種区分	有機質土混り砂	有機物混り砂	c	表現を統一したため。
1-363	補足5-468,469	H24-B8-35	標高(m)他	コア欠の情報記載あり	コア欠の情報記載なし	a	コア欠の反映を忘れたため。
1-364	補足5-470,471	H24-B8-36	岩種区分	埋土	埋戻し土	c	表現を統一したため。
1-365	補足5-470,471	H24-B8-36	岩種区分	有機質土混り砂	有機物混り砂	c	表現を統一したため。
1-366	補足5-472~481	H27-Br-4	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。
1-367	補足5-472,473	H27-Br-4	柱状図	模様が異なる。		d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-368	補足5-482~491	H27-Br-9	柱状図	模様が異なる。		c	審査資料作成の際に模様を見直したため。

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 報告書, 申請書

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	報告書	申請書		
2-1	補足5- 492~495	H24-D1-2	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-2	補足5- 492.493	H24-D1-2	最大コア長 (cm)	3	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-3	補足5- 492.493	H24-D1-2	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-4	補足5- 496~501	H24-D1-3	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-5	補足5- 496.497	H24-D1-3	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-6	補足5- 496.497	H24-D1-3	最大コア長 (cm)	1	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-7	補足5- 496.497	H24-D1-3	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-8	補足5- 502~509	H24-D1-4	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-9	補足5- 502.503	H24-D1-4	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-10	補足5- 502.503	H24-D1-4	最大コア長 (cm)	6	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-11	補足5- 502.503	H24-D1-4	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-12	補足5- 510~515	H24-D1-5	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-13	補足5- 510.511	H24-D1-5	岩種区分	埋戻し土	埋土	c	表現を統一したため。
2-14	補足5- 510.511	H24-D1-5	最大コア長 (cm)	2	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-15	補足5- 510.511	H24-D1-5	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-16	補足5- 516.517	H19-No.2	色調	なし	灰黄	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-17	補足5- 516.517	H19-No.2	色調	なし	明赤灰	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-18	補足5- 516~539	H19-No.2	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-19	補足5- 540~555	H19-No.14	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-20	補足5- 540.541	H19-No.14	最大コア長 (cm)	18	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-21	補足5- 540.541	H19-No.14	RQD (%)	18	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-22	補足5- 556~563	H20-②-1	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-23	補足5- 564~575	H24-D1-1	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-24	補足5- 568.569	H24-D1-1	柱状図	模様が見異なる。		c	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
2-25	補足5- 576.577	H19-No.4	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-26	補足5- 576~601	H19-No.4	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-27	補足5- 576.577	H19-No.4	最大コア長 (cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-28	補足5- 576.577	H19-No.4	最大コア長 (cm)	11	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-29	補足5- 576.577	H19-No.4	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-30	補足5- 576.577	H19-No.4	RQD (%)	11	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-31	補足5- 602.603	H19-No.12	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-32	補足5- 602.603	H19-No.12	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-33	補足5- 602~629	H19-No.12	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-34	補足5- 602.603	H19-No.12	最大コア長 (cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-35	補足5- 602.603	H19-No.12	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-36	補足5- 630.631	H20-①-9	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-37	補足5- 630.631	H20-①-9	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-38	補足5- 630.631	H20-①-9	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-39	補足5- 630~639	H20-①-9	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-40	補足5- 630.631	H20-①-9	最大コア長 (cm)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-41	補足5- 630.631	H20-①-9	RQD (%)	0	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-42	補足5- 640.641	H20-①-10	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-43	補足5- 640.641	H20-①-10	柱状図	模様が見異なる。		c	申請書作成の際に模様を見直したため。
2-44	補足5- 640~645	H20-①-10	コア採取率 (%)	数値, グラフ記載なし	数値, グラフ記載あり	b	報告書の記載漏れを修正したため。
2-45	補足5- 640.641	H20-①-10	最大コア長 (cm)	20	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。
2-46	補足5- 640.641	H20-①-10	RQD (%)	28	記載なし	c	基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 申請書, 平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-1	補足5- 646.647	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-2	補足5- 646.647	H24-D1-4	岩種区分	花崗岩	黒雲母花崗岩	c	敦賀サイトの岩種名と整合するように記載を適正化したもの。
3-3	補足5- 648.649	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-4	補足5- 650.651	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-5	補足5- 650.651	H24-D1-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-6	補足5- 650.651	H24-D1-4	色調	明褐色の下端深度が異なる。	明褐色の下端深度が異なる。	b	誤記の修正。
3-7	補足5- 650.651	H24-D1-4	色調	灰褐色の下端深度が異なる。	灰褐色の下端深度が異なる。	b	誤記の修正。
3-8	補足5- 652.653	H24-D1-5	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-9	補足5- 654.655	H24-D1-5	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-10	補足5- 656.657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-11	補足5- 656.657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-12	補足5- 656.657	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-13	補足5- 658.659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-14	補足5- 658.659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-15	補足5- 658.659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-16	補足5- 658.659	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-17	補足5- 660.661	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-18	補足5- 662.663	H27-B-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-19	補足5- 662.663	H27-B-3	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-20	補足5- 664.665	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-21	補足5- 664.665	H27-B-4	色調	淡橙	空白	c	コア欠区間を反映させたため。
3-22	補足5- 666.667	H27-B-4	柱状図	模様及び位置が異なる。	模様及び位置が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-23	補足5- 668.669	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-24	補足5- 668.669	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-25	補足5- 670.671	H27-B-4	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-26	補足5- 672.673	H19-No.2	孔口標高	127.40	127.38	b	誤記の修正。
3-27	補足5- 672.673 672.673 678~687 690~693	H19-No.2	標高(m)	124.26~19.81	124.24~19.83	b	孔口標高を正しい値にしたため。
3-28	補足5- 672.673	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-29	補足5- 672.673	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-30	補足5- 674.675	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-31	補足5- 676.677	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-32	補足5- 676.677	H19-No.2	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-33	補足5- 684.685	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-34	補足5- 688.689	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-35	補足5- 690.691	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-36	補足5- 690.691	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-37	補足5- 692.693	H19-No.2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-38	補足5- 694.695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-39	補足5- 694.695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-40	補足5- 694.695	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-41	補足5- 696.697	H19-No.14	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-42	補足5- 698.699	H19-No.14	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-43	補足5- 700.701	H20-②-1	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
3-44	補足5- 702.703	H20-②-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-45	補足5- 702.703	H20-②-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-46	補足5- 704.705	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-47	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	砂混り有機質シルト	砂混り有機質シルト	c	表現を統一したため。
3-48	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混り砂	c	表現を統一したため。
3-49	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-50	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂	有機物混り砂	c	表現を統一したため。
3-51	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	有機物混り砂質シルト	有機物混り砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-52	補足5- 704.705	H24-B14-2	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-53	補足5- 706.707	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-54	補足5- 706.707	H24-B14-2	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-55	補足5- 708.709	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-56	補足5- 710.711	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-57	補足5- 712.713	H24-B14-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-58	補足5- 714.715	H24-D1-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-59	補足5- 716.717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-60	補足5- 716.717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-61	補足5- 716.717	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-62	補足5- 718.719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-63	補足5- 718.719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-64	補足5- 718.719	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-65	補足5- 720.721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-66	補足5- 720.721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-67	補足5- 720.721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-68	補足5- 720.721	H24-D1-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-69	補足5- 722.723	H24-D1-2	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-70	補足5- 724.725	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-71	補足5- 726.727	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-72	補足5- 726.727	H24-D1-3	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-73	補足5- 728.729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-74	補足5- 728.729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-75	補足5- 728.729	H27-B-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-76	補足5- 730.731	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-77	補足5- 732.733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-78	補足5- 732.733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-79	補足5- 732.733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-80	補足5- 732.733	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-81	補足5- 734.735	H27-B-1	柱状図	模様が異なる。	模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名: 申請書, 平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-82	補足5- 736,737	H27-B-1	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-83	補足5- 738~741	H27-B-1	全項目	標尺80m-120mの頁なし	標尺80m-120mの頁あり	b	申請書での該当深度の掲載漏れ。
3-84	補足5- 742,743	H27-B-2	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-85	補足5- 745~747	H27-B-2	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-86	補足5- 748,749	H27-B-2	柱状図	模様の位置異なる。	模様の位置異なる。	b	誤記の修正。
3-87	補足5- 748,749	H27-B-2	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-88	補足5- 750,751	H27-B-2	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-89	補足5- 752,753	H27-B-2	柱状図	模様及び位置異なる。	模様及び位置異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-90	補足5- 754,755	H27-B-2	柱状図	模様の位置異なる。	模様の位置異なる。	b	申請書に記載されていた破砕部の深度が間違っており、それを審査資料で修正したため。
3-91	補足5- 756,757	H27-B-2	標高(m), 深度(m)	標高, 深度記載あり	標高, 深度記載なし	a	記載漏れ。
3-92	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-93	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	c	表現を統一したため。
3-94	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-95	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-96	補足5- 758,759	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-97	補足5- 758,759	H19-No.4	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混り砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-98	補足5- 760,761	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-99	補足5- 762,763	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-100	補足5- 764,765	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-101	補足5- 766,767	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-102	補足5- 768,769	H19-No.4	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-103	補足5- 770,771	H19-No.4	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-104	補足5- 772,773	H19-No.12	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-105	補足5- 774,775	H19-No.12	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-106	補足5- 776,777	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-107	補足5- 778,779	H19-No.12	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-108	補足5- 780,781	H19-No.12	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-109	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-110	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-111	補足5- 782,783	H19-No.12	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-112	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-113	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-114	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-115	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混り砂	c	表現を統一したため。
3-116	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	シルト・礫混り砂/砂礫互層	シルト・礫混り砂/砂礫互層	c	表現を統一したため。
3-117	補足5- 784,785	H24-B11-2	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-118	補足5- 786,787	H24-B11-2	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-119	補足5- 788,789	H24-B11-2	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-120	補足5- 790,791	H24-B11-2	コア採取率(%)	標尺123m以下数値, グラフ記載あり	標尺123m以下数値, グラフ記載なし	a	記載漏れ。
3-121	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-122	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-123	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-124	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-125	補足5- 792,793	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混り砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-126	補足5- 794,795	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-127	補足5- 796,797	H24-B8-22	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-128	補足5- 796,797	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-129	補足5- 798,799	H24-B8-22	岩種区分	粘土・礫混り砂	粘土・礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-130	補足5- 798,799	H24-B8-22	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-131	補足5- 800,801	H24-B8-22	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-132	補足5- 802,803	H24-B8-22	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-133	補足5- 804,805	H24-B8-22	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-134	補足5- 804,805	H24-B8-22	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-135	補足5- 806,807	H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-136	補足5- 806,807	H20-①-9	岩種区分	腐植土	有機質土	c	表現を統一したため。
3-137	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-138	補足5- 808,809	H20-①-9	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-139	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫・砂混り有機質シルト	礫・砂混り有機質シルト	c	表現を統一したため。
3-140	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-141	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-142	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り有機質砂	礫混り有機質砂	c	表現を統一したため。
3-143	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	有機質土混り砂	有機質土混り砂	c	表現を統一したため。
3-144	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混りシルト質砂	細礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-145	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-146	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
3-147	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-148	補足5- 810,811	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
3-149	補足5- 812,813	H24-B11-1	岩種区分	玉石混り砂礫	玉石混り砂礫	c	表現を統一したため。
3-150	補足5- 814,815	H24-B11-1	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-151	補足5- 814,815	H24-B11-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-152	補足5- 816,817	H24-B11-1	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-153	補足5- 818,819	H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-154	補足5- 818,819	H24-B11-1	柱状図	模様あり	模様なし	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-155	補足5- 820,821	H24-B11-1	柱状図	模様なし	模様あり	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-156	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-157	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂質シルト	礫混り砂質シルト	c	表現を統一したため。
3-158	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混りシルト質砂	礫混りシルト質砂	c	表現を統一したため。
3-159	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	有機物・礫混り砂	有機物・礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-160	補足5- 822,823	H24-B8-21	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-161	補足5- 824,825	H24-B8-21	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-162	補足5- 824,825	H24-B8-21	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-163	補足5- 826,827	H24-B8-21	柱状図	模様異なる。	模様異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

敦賀発電所2号炉 ボーリング柱状図の記事欄に係るご指摘への回答 補足説明資料5
 ボーリング柱状図記事欄以外の比較
 比較資料名:申請書,平成29年12月22日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	申請書	審査資料		
3-164	補足5- 828~831	H24-B8-21	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-165	補足5- 830.831	H24-B8-21	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-166	補足5- 830.831	H24-B8-21	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-167	補足5- 832.833	H24-B8-21	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-168	補足5- 834.835	H27-D5-1	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-169	補足5- 834.835	H27-D5-1	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-170	補足5- 834.835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-171	補足5- 834.835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-172	補足5- 834.835	H27-D5-1	岩種区分	礫混り砂	礫混り砂	c	表現を統一したため。
3-173	補足5- 834.835	H27-D5-1	岩種区分	シルト混り砂	シルト混り砂	c	表現を統一したため。
3-174	補足5- 834.835	H27-D5-1	最大コア長(cm)		標尺3m地点の線ずれ	c	岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため、2.84~4.00mで最大コア長を求めたもの。
3-175	補足5- 834.835	H27-D5-1	RQD(%)		標尺3m地点の線ずれ	c	岩盤上限の2.84mと3.00mの間が16cmと狭いため、2.84~4.00mで最大コア長を求めたもの。
3-176	補足5- 836.837	H27-D5-1	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-177	補足5- 838.839	H20-①-10	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
3-178	補足5- 840.841	H20-①-10	柱状図		模様が異なる。	d	記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

比較資料名:平成30年11月30日審査資料,令和2年2月7日審査資料

No.	頁	ボーリング孔名	記載変更の内容			分類	変更理由
			対象箇所	審査資料 平成30年11月30日	審査資料 令和2年2月7日		
4-1	補足5- 842.843	H27-B-2	標高(m), 深度(m)	標高, 深度記載なし	標高, 深度記載あり	b	誤記の修正。

分類 a : 誤記
 分類 b : 誤記修正
 分類 c : 記載の適正化
 分類 d : 記事欄の記載変更に伴う変更

H19-No.16

柱状図(0.00m~35.00m)

H19-No. 16

孔 口 標 高	T. P.	74.48m	掘 削 長	220.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
				②	オリブ黒 浅黄	②	100					0.00~9.81m ・盛土である。
							100					0.40~2.00m ・径5~30mmの碎石、砂からなる。
							100					2.00~9.63m ・シルト混じり砂礫からなる。
				盛土	にぶい黄褐		100					
					灰		100					
10	64.67	9.81		花崗斑岩	明赤灰	D'	100	94	94			9.63~9.81m ・コンクリート片を含む。
	61.75	12.73		アプライト	明赤灰	CL'	100	81	81			9.81~12.73m ・花崗斑岩である。 ・強風化し、軟質化している。
	60.37	14.11		ヘクマタイト	明赤灰	CM'	100	17	29			12.73~41.21m ・アプライトである。
	60.13	14.35			明赤灰	CM'	100	20	20			14.11~14.33m ・ベグマタイトを挟む。
					にぶい黄橙		100	0	0			
					明赤灰	CM'	100	17	17			●16.01~17.82m ・破碎部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部及び固結砂状部からなる。 ・上端境界の傾斜は50°、下端境界の傾斜は60°である。
					明赤灰	CL'	100	24	40			17.82~20.00m ・密着した割れ目が、数十mm間隔で分布する。
					にぶい黄橙		100	16	57			
					にぶい黄橙		100	31	42			
					にぶい黄橙		100	30	55			
					にぶい黄橙		100	22	35			
					にぶい黄橙		100	22	52			
					にぶい黄橙		100	55	84			
					灰白		100	18	70			
					灰白		100	35	68			
					灰白		100	24	60			
					明褐灰		100	15	36			27.00~27.09m ・高角度の割れ目が多く、岩片状~短柱状を呈する。
					明褐灰		100	26	44			●28.92~29.04m (f-6)-3-2破碎帯
					明褐灰		100	14	40			・破碎部である。
					明褐灰		100	28	50			・明褐灰色の固結礫状部からなる。
					明褐灰		100	20	54			
					明褐灰		100	47	47			
	41.04	33.44		花崗斑岩	灰褐		100	28	60			33.44~34.02m ・花崗斑岩を挟む。
	40.46	34.02		アプライト	灰褐		100					

- 1-1(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-2. 1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

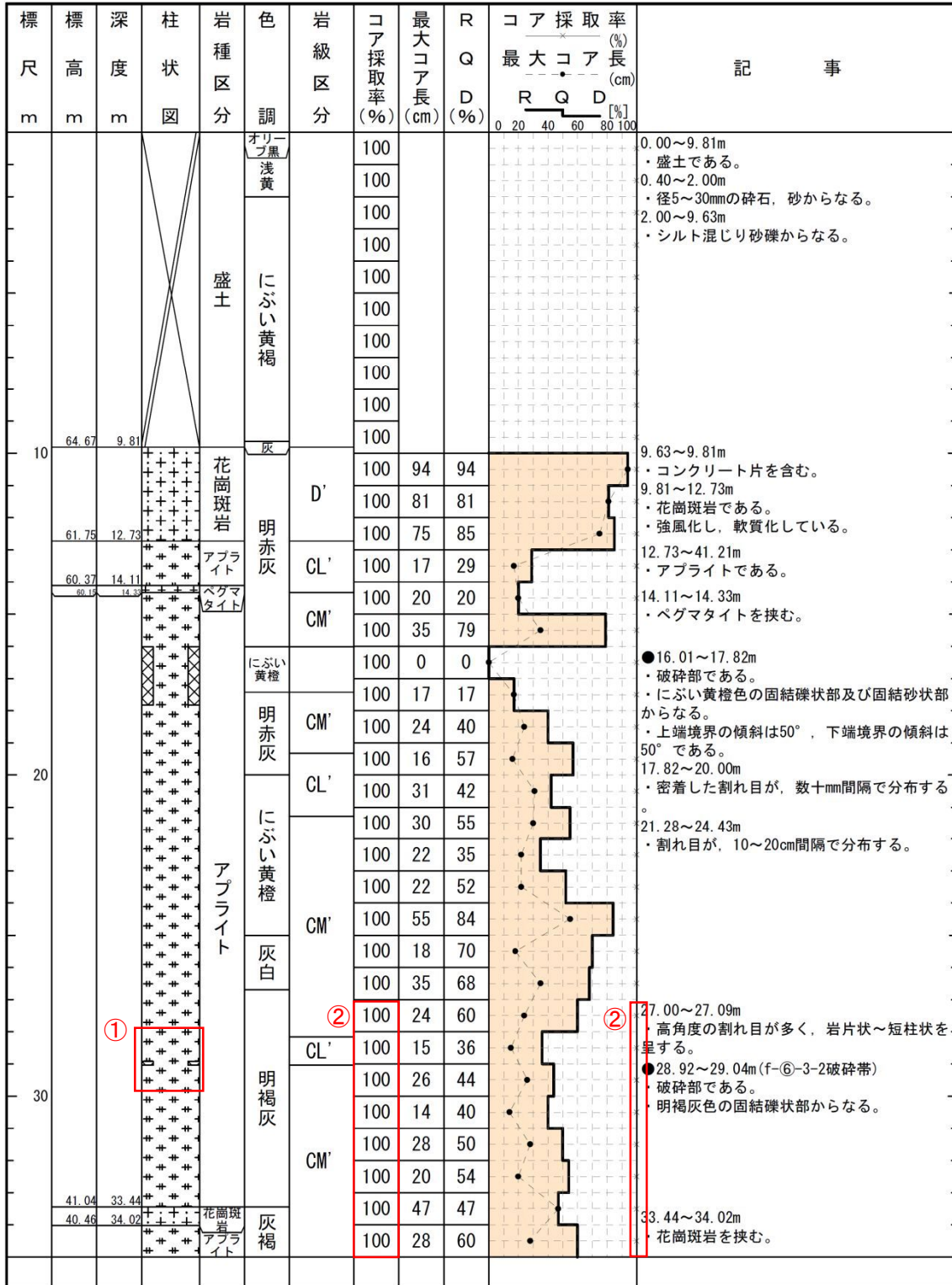
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	変状	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
													N 値	深度	0	10	20								30	40	50			
				アプライト	明褐灰	IVg	bg		深度27.00~27.09m: 節理密集部、高角度の節理多い。	0	50	OM																		
				アプライト	明褐灰	IIIg			深度28.82~29.04m: 節理密集部。節理面は黒褐色を帯びる。	50	100	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg	CG		深度31.00m: 幅10mmシルト混じり礫状。上盤に幅1mmの黄灰~暗褐色シルトを挟む。礫肌あり。	100	150	OM																		
	41.04	33.44		花崗斑岩	灰褐	IVg			花崗斑岩、上位との境界傾斜60度。径0.5~2.0cmの捕獲岩が点在する。下位との境界傾斜40度。	150	200	OM																		
	40.46	34.02		アプライト	明褐灰	IIIg			深度35.35m: シーム。傾斜60度。幅7~10mmの暗褐色粘土状。	200	250	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			深度35.62~35.77m、36.21~36.34m: 径0.3~1.0cmの暗褐色を帯びた捕獲岩を多く含む。	250	300	OM																		
				アプライト	明褐灰	IIIg			深度39.16m: 傾斜50度、幅6~10mmの礫・シルト混じり砂を挟む。	300	350	OM																		
	33.27	41.21		花崗斑岩	明褐灰	IIIg			花崗斑岩、上位との境界不明瞭。深度41.21~50.70m: 花崗斑岩。径3mm程度の石英、長石の斑晶を1~3%程度含む。石基は径0.1mm以下である。	350	400	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			深度41.39~43.76m: 傾斜45~50度の節理が10cm以下の間隔で発達。節理面は褐色を帯びる。アプライト、上位との境界凹凸あり。傾斜65度。全体に短柱~柱状コア主体。	400	450	OM																		
	31.01	43.47		花崗斑岩	灰褐	IVg	bg		深度46.36~46.43m: 節理密集部。深度46.36m、傾斜80度、下盤側節理0.3~1.0cm間隔。	450	500	OM																		
	30.68	43.80		アプライト	明褐灰	IIIg			深度46.43m、傾斜40度、上盤側砂状2mm、細礫状1cm。深度47.70~47.89m: 主として傾斜50~65度の密着した節理が、1~2cm間隔で発達。	500	550	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			アプライト、上位との境界傾斜60度。	550	600	OM																		
	23.78	50.70		アプライト	明褐灰	IIIg			深度52.53~52.90m: 節理が密着する	600	650	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			深度52.68m、傾斜55度の節理の上・下盤に傾斜70度以上の高角度な節理が0.5~2.0cm間隔で発達。全体に0.5~1.0cm間隔で密着した節理が発達。	650	700	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			深度54.48~54.89m: 節理密集部。一節角礫状。深度54.68m: シーム。傾斜50度。幅3~10mm、礫混じり暗褐色粘土状。	700	750	OM																		
	17.31	57.17		アプライト	明褐灰	IIIg			深度56.75~56.85m: ベグマタイトを挟む。花崗斑岩、上位との境界傾斜30度。深度57.17~63.47m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英、長石及び黒雲母の斑晶を3~10%程度含む。石基は径0.1mm以下である。石基は流理が認められる。	750	800	OM																		
				アプライト	明褐灰	IVg			深度61.08~63.03m: 密着及び開口した節理が1~3cm間隔で発達。	800	850	OM																		

H19-No.16

柱状図(0.00m~35.00m)

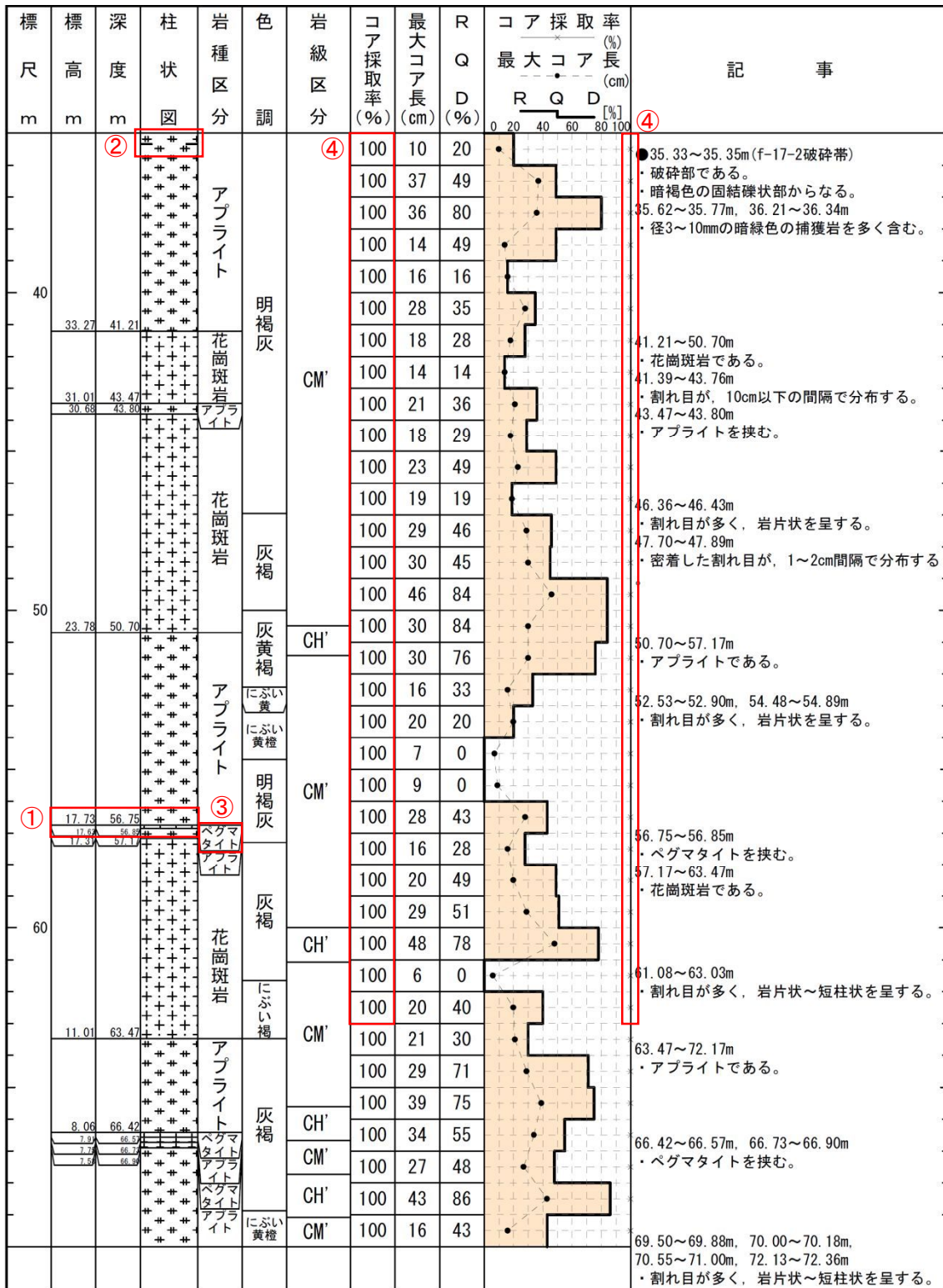
H19-No. 16

孔 口 標 高	T. P.	74.48m	掘 削 長	220.00m
---------	-------	--------	-------	---------



- 1-4(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

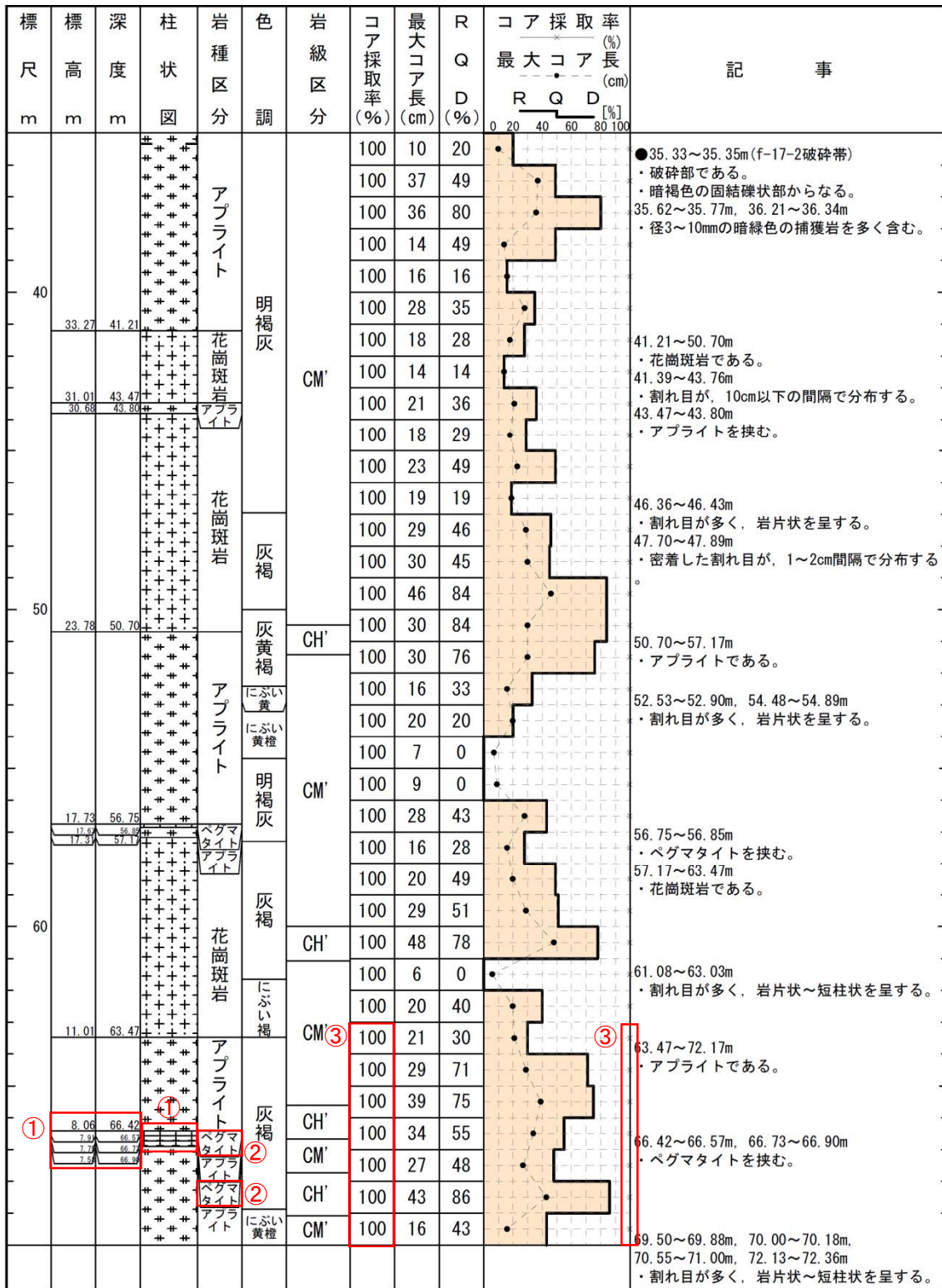
柱状図(35.00m～70.00m)



- 1-5~1-8, 1-10(分類c)①
岩種区分に”ベグマタイト”が追加されたため。
- 1-9(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-11(分類c)③
報告書の記事にあった”ベグマタイト”を反映させたため。
- 1-3(分類b)④
報告書の記載漏れを修正したため。

H19-No.16

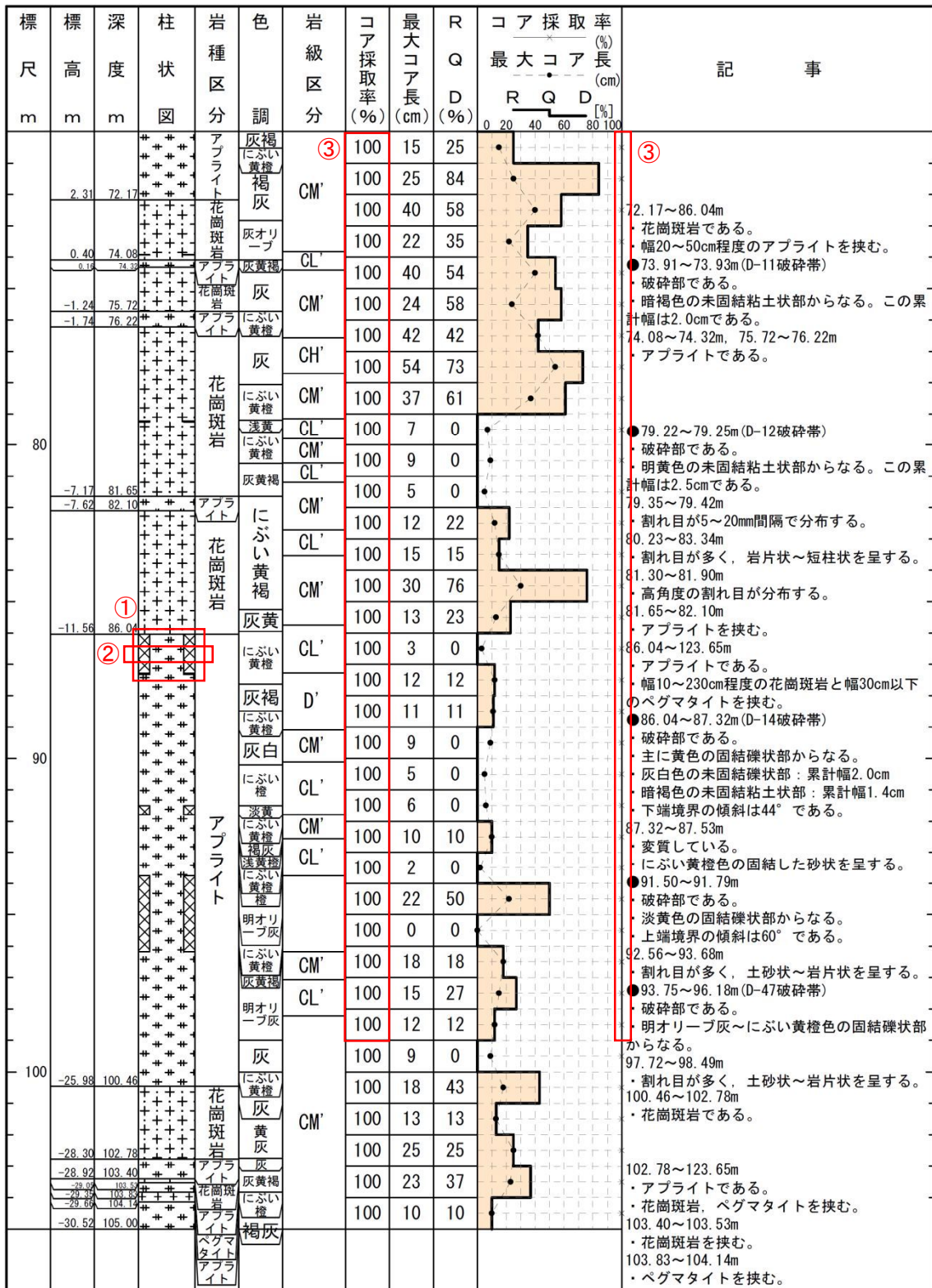
柱状図(35.00m～70.00m)



- 1-12～1-20(分類c)①
岩種区分に”ベグマタイト”が追加されたため。
- 1-21, 1-22(分類c)②
報告書の記事にあった”ベグマタイト”を反映させたため。
- 1-3(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

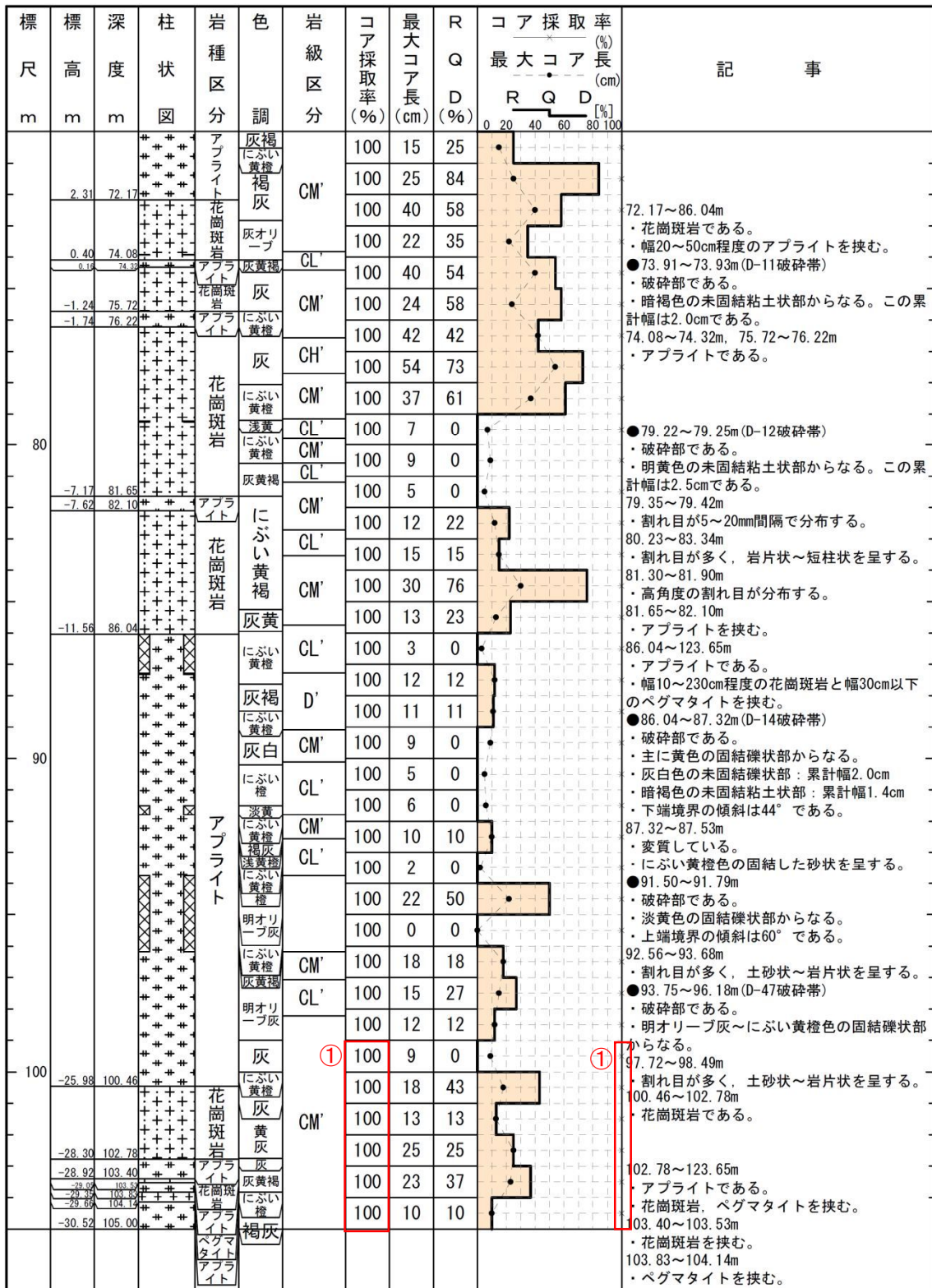
標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
														N値 ~ 深度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
														0	10	20	30	40	50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
11.01	63.41		花崗斑岩	IIIg	IIIg	γ			アフライト、上位との境界傾斜13度。全体に細粒。わずかに径1~4mmの石英斑晶を含む。	27 (30)	CM	[CM]		9/22	144	9/23	150	9/26	114	9/27	130	9/28	138	9/29	145	9/30	81	10/2	76	10/3	66	10/11	127	10/12	127	10/13	127	10/14	127	10/15	127	10/16	127	10/17	127	10/18	127	10/19	127	10/20	127	10/21	127	10/22	127	10/23	127	10/24	127	10/25	127	10/26	127	10/27	127	10/28	127	10/29	127	10/30	127	10/31	127	11/1	127	11/2	127	11/3	127	11/4	127	11/5	127	11/6	127	11/7	127	11/8	127	11/9	127	11/10	127	11/11	127	11/12	127	11/13	127	11/14	127	11/15	127	11/16	127	11/17	127	11/18	127	11/19	127	11/20	127	11/21	127	11/22	127	11/23	127	11/24	127	11/25	127	11/26	127	11/27	127	11/28	127	11/29	127	11/30	127	12/1	127	12/2	127	12/3	127	12/4	127	12/5	127	12/6	127	12/7	127	12/8	127	12/9	127	12/10	127	12/11	127	12/12	127	12/13	127	12/14	127	12/15	127	12/16	127	12/17	127	12/18	127	12/19	127	12/20	127	12/21	127	12/22	127	12/23	127	12/24	127	12/25	127	12/26	127	12/27	127	12/28	127	12/29	127	12/30	127	12/31	127	1/1	127	1/2	127	1/3	127	1/4	127	1/5	127	1/6	127	1/7	127	1/8	127	1/9	127	1/10	127	1/11	127	1/12	127	1/13	127	1/14	127	1/15	127	1/16	127	1/17	127	1/18	127	1/19	127	1/20	127	1/21	127	1/22	127	1/23	127	1/24	127	1/25	127	1/26	127	1/27	127	1/28	127	1/29	127	1/30	127	1/31	127	2/1	127	2/2	127	2/3	127	2/4	127	2/5	127	2/6	127	2/7	127	2/8	127	2/9	127	2/10	127	2/11	127	2/12	127	2/13	127	2/14	127	2/15	127	2/16	127	2/17	127	2/18	127	2/19	127	2/20	127	2/21	127	2/22	127	2/23	127	2/24	127	2/25	127	2/26	127	2/27	127	2/28	127	2/29	127	2/30	127	2/31	127	3/1	127	3/2	127	3/3	127	3/4	127	3/5	127	3/6	127	3/7	127	3/8	127	3/9	127	3/10	127	3/11	127	3/12	127	3/13	127	3/14	127	3/15	127	3/16	127	3/17	127	3/18	127	3/19	127	3/20	127	3/21	127	3/22	127	3/23	127	3/24	127	3/25	127	3/26	127	3/27	127	3/28	127	3/29	127	3/30	127	3/31	127	4/1	127	4/2	127	4/3	127	4/4	127	4/5	127	4/6	127	4/7	127	4/8	127	4/9	127	4/10	127	4/11	127	4/12	127	4/13	127	4/14	127	4/15	127	4/16	127	4/17	127	4/18	127	4/19	127	4/20	127	4/21	127	4/22	127	4/23	127	4/24	127	4/25	127	4/26	127	4/27	127	4/28	127	4/29	127	4/30	127	4/31	127	5/1	127	5/2	127	5/3	127	5/4	127	5/5	127	5/6	127	5/7	127	5/8	127	5/9	127	5/10	127	5/11	127	5/12	127	5/13	127	5/14	127	5/15	127	5/16	127	5/17	127	5/18	127	5/19	127	5/20	127	5/21	127	5/22	127	5/23	127	5/24	127	5/25	127	5/26	127	5/27	127	5/28	127	5/29	127	5/30	127	5/31	127	6/1	127	6/2	127	6/3	127	6/4	127	6/5	127	6/6	127	6/7	127	6/8	127	6/9	127	6/10	127	6/11	127	6/12	127	6/13	127	6/14	127	6/15	127	6/16	127	6/17	127	6/18	127	6/19	127	6/20	127	6/21	127	6/22	127	6/23	127	6/24	127	6/25	127	6/26	127	6/27	127	6/28	127	6/29	127	6/30	127	6/31	127	7/1	127	7/2	127	7/3	127	7/4	127	7/5	127	7/6	127	7/7	127	7/8	127	7/9	127	7/10	127	7/11	127	7/12	127	7/13	127	7/14	127	7/15	127	7/16	127	7/17	127	7/18	127	7/19	127	7/20	127	7/21	127	7/22	127	7/23	127	7/24	127	7/25	127	7/26	127	7/27	127	7/28	127	7/29	127	7/30	127	7/31	127	8/1	127	8/2	127	8/3	127	8/4	127	8/5	127	8/6	127	8/7	127	8/8	127	8/9	127	8/10	127	8/11	127	8/12	127	8/13	127	8/14	127	8/15	127	8/16	127	8/17	127	8/18	127	8/19	127	8/20	127	8/21	127	8/22	127	8/23	127	8/24	127	8/25	127	8/26	127	8/27	127	8/28	127	8/29	127	8/30	127	8/31	127	9/1	127	9/2	127	9/3	127	9/4	127	9/5	127	9/6	127	9/7	127	9/8	127	9/9	127	9/10	127	9/11	127	9/12	127	9/13	127	9/14	127	9/15	127	9/16	127	9/17	127	9/18	127	9/19	127	9/20	127	9/21	127	9/22	127	9/23	127	9/24	127	9/25	127	9/26	127	9/27	127	9/28	127	9/29	127	9/30	127	9/31	127	10/1	127	10/2	127	10/3	127	10/4	127	10/5	127	10/6	127	10/7	127	10/8	127	10/9	127	10/10	127	10/11	127	10/12	127	10/13	127	10/14	127	10/15	127	10/16	127	10/17	127	10/18	127	10/19	127	10/20	127	10/21	127	10/22	127	10/23	127	10/24	127	10/25	127	10/26	127	10/27	127	10/28	127	10/29	127	10/30	127	10/31	127	11/1	127	11/2	127	11/3	127	11/4	127	11/5	127	11/6	127	11/7	127	11/8	127	11/9	127	11/10	127	11/11	127	11/12	127	11/13	127	11/14	127	11/15	127	11/16	127	11/17	127	11/18	127	11/19	127	11/20	127	11/21	127	11/22	127	11/23	127	11/24	127	11/25	127	11/26	127	11/27	127	11/28	127	11/29	127	11/30	127	11/31	127	12/1	127	12/2	127	12/3	127	12/4	127	12/5	127	12/6	127	12/7	127	12/8	127	12/9	127	12/10	127	12/11	127	12/12	127	12/13	127	12/14	127	12/15	127	12/16	127	12/17	127	12/18	127	12/19	127	12/20	127	12/21	127	12/22	127	12/23	127	12/24	127	12/25	127	12/26	127	12/27	127	12/28	127	12/29	127	12/30	127	12/31	127	1/1	127	1/2	127	1/3	127	1/4	127	1/5	127	1/6	127	1/7	127	1/8	127	1/9	127	1/10	127	1/11	127	1/12	127	1/13	127	1/14	127	1/15	127	1/16	127	1/17	127	1/18	127	1/19	127	1/20	127	1/21	127	1/22	127	1/23	127	1/24	127	1/25	127	1/26	127	1/27	127	1/28	127	1/29	127	1/30	127	1/31	127	2/1	127	2/2	127	2/3	127	2/4	127	2/5	127	2/6	127	2/7	127	2/8	127	2/9	127	2/10	127	2/11	127	2/12	127	2/13	127	2/14	127	2/15	127	2/16	127	2/17	127	2/18	127	2/19	127	2/20	127	2/21	127	2/22	127	2/23	127	2/24	127	2/25	127	2/26	127	2/27	127	2/28	127	2/29	127	2/30	127	2/31	127	3/1	127	3/2	127	3/3	127	3/4	127	3/5	127	3/6	127	3/7	127	3/8	127	3/9	127	3/10	127	3/11	127	3/12	127	3/13	127	3/14	127	3/15	127	3/16	127	3/17	127	3/18	127	3/19	127	3/20	127	3/21	127	3/22	127	3/23	127	3/24	127	3/25	127	3/26	127	3/27	127	3/28	127	3/29	127	3/30	127	3/31	127	4/1	127	4/2	127	4/3	127	4/4	127	4/5	127	4/6	127	4/7	127	4/8	127	4/9	127	4/10	127	4/11	127	4/12	127	4/13	127	4/14	127	4/15	127	4/16	127	4/17	127	4/18	127	4/19	127	4/20	127	4/21	127	4/22	127	4/23	127	4/24	127	4/25	127	4/26	127	4/27	127	4/28	127	4/29	127	4/30	127	4/31	127	5/1	127	5/2	127	5/3	127	5/4	127	5/5	127	5/6	127	5/7	127	5/8	127	5/9	127	5/10	127	5/11	127	5/12	127	5/13	127	5/14	127	5/15	127	5/16	127	5/17	127	5/18	127	5/19	127	5/20	127	5/21	127	5/22	127	5/23	127	5/24	127	5/25	127	5/26	127	5/27	127	5/28	127	5/29	127	5/30

柱状図(70.00m~105.00m)



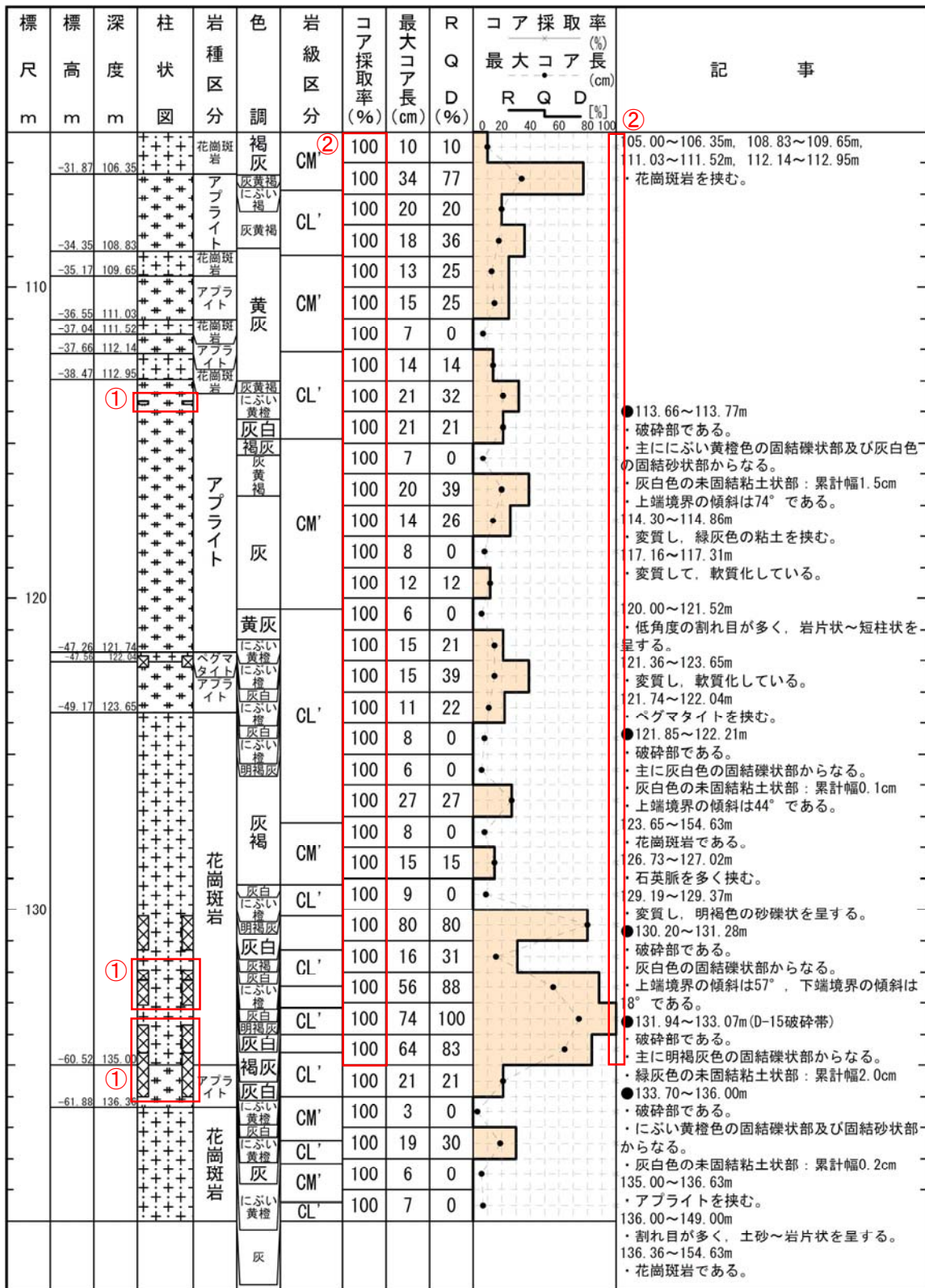
- 1-23(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-24(分類b)②
誤記の修正。
- 1-3(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(70.00m~105.00m)



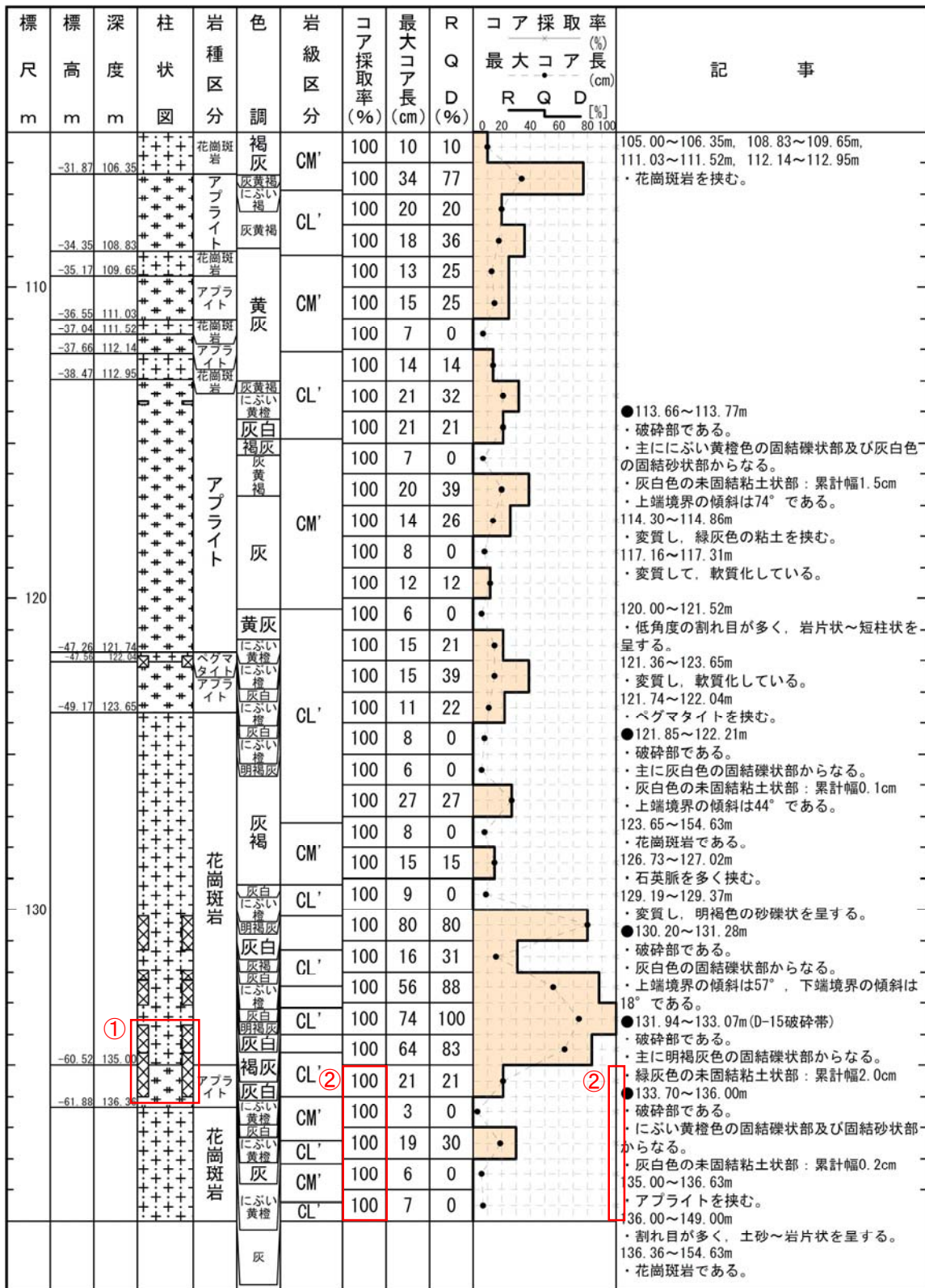
1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(105.00m~140.00m)



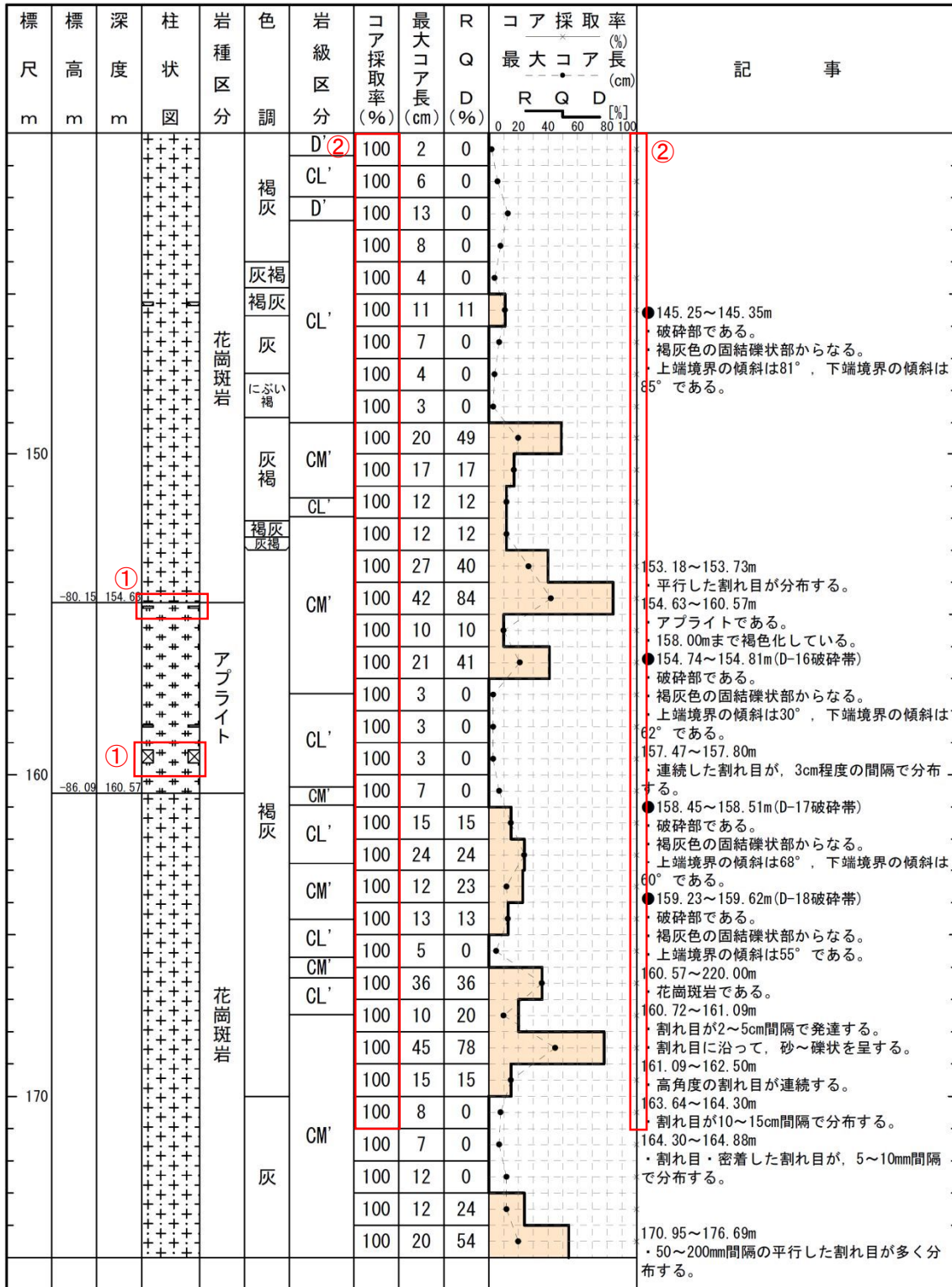
1-25~1-27(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(105.00m~140.00m)



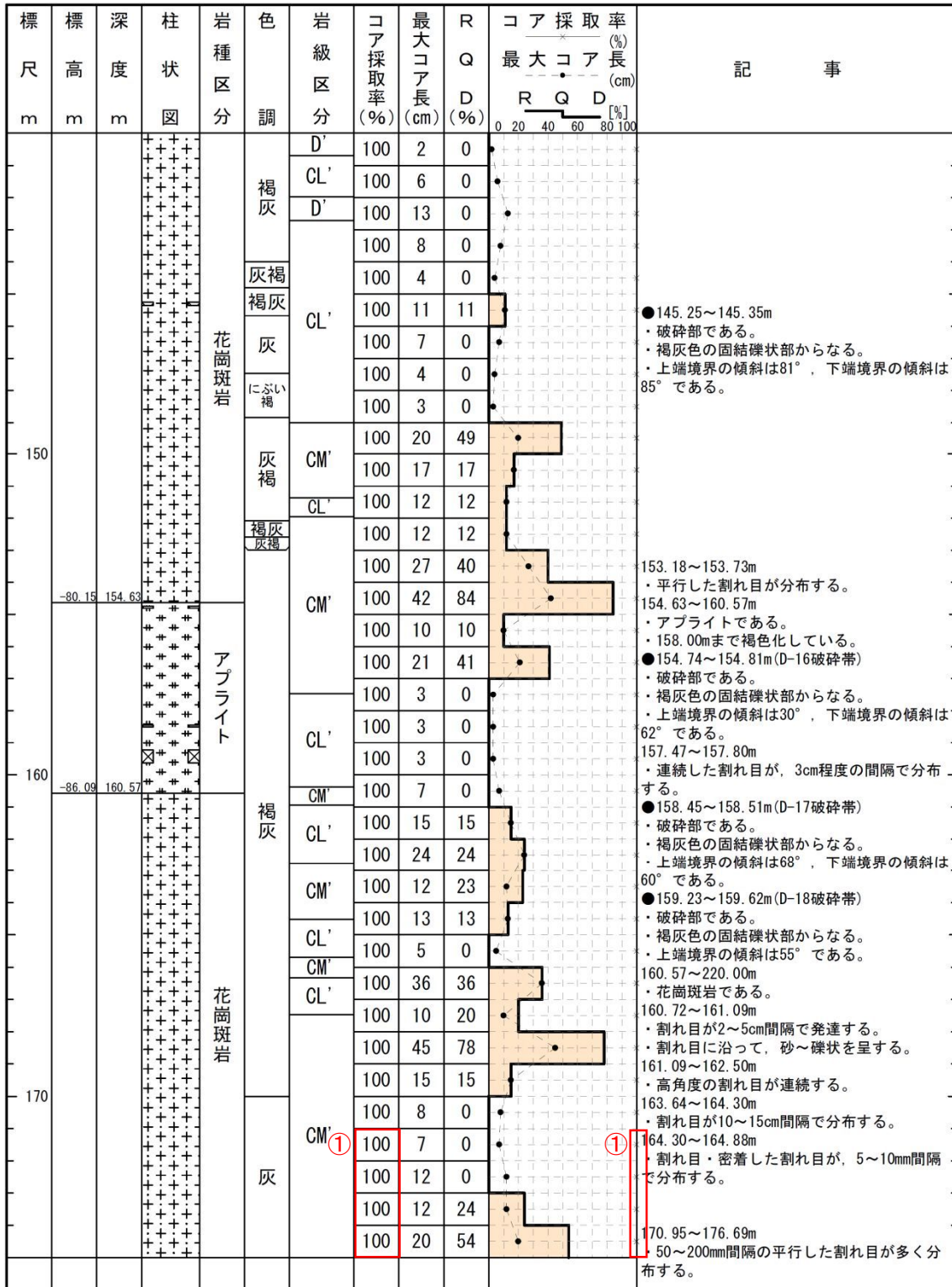
1-27(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(140.00m~175.00m)



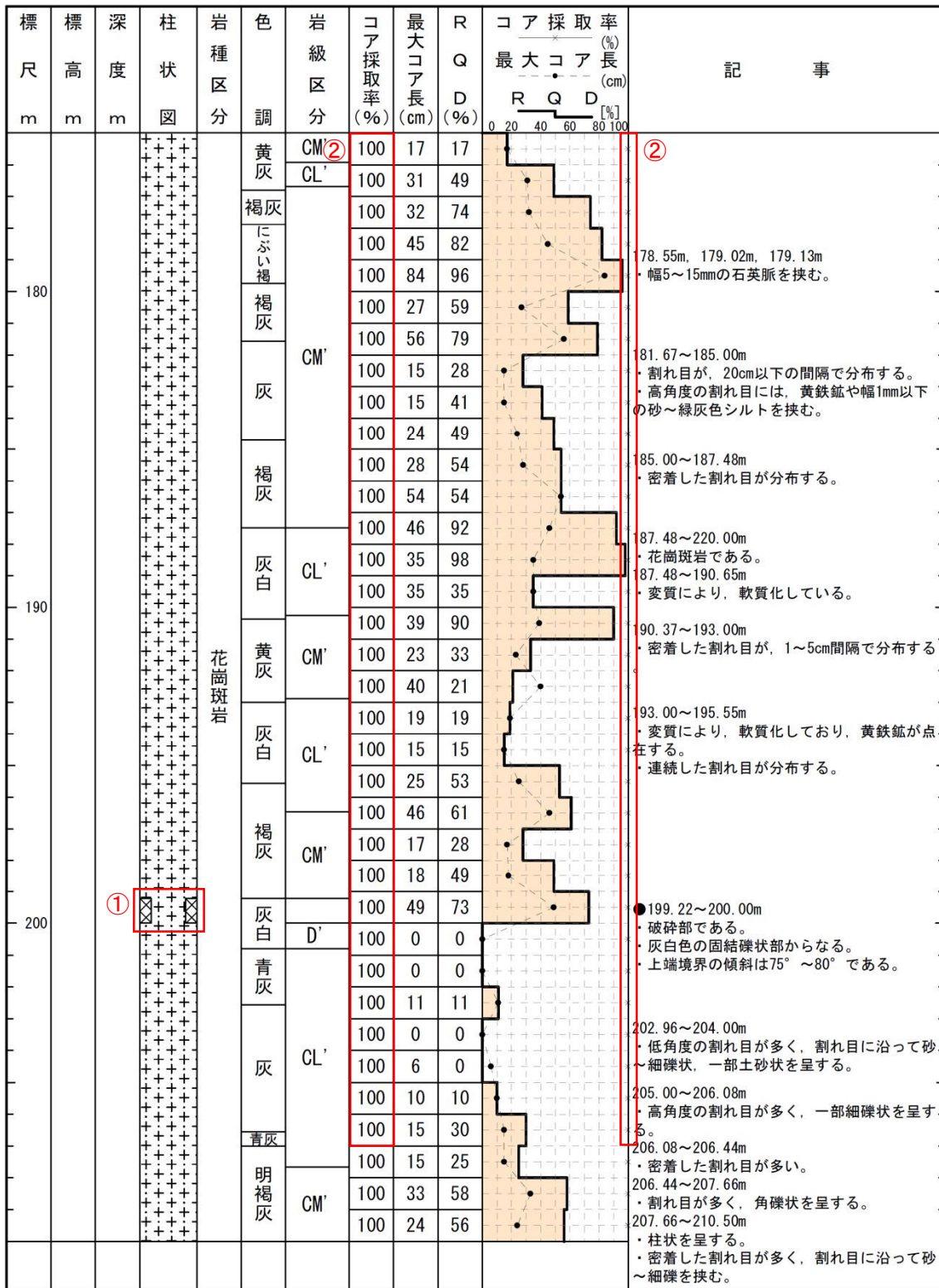
1-28, 1-29 (分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-3 (分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(140.00m~175.00m)



1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

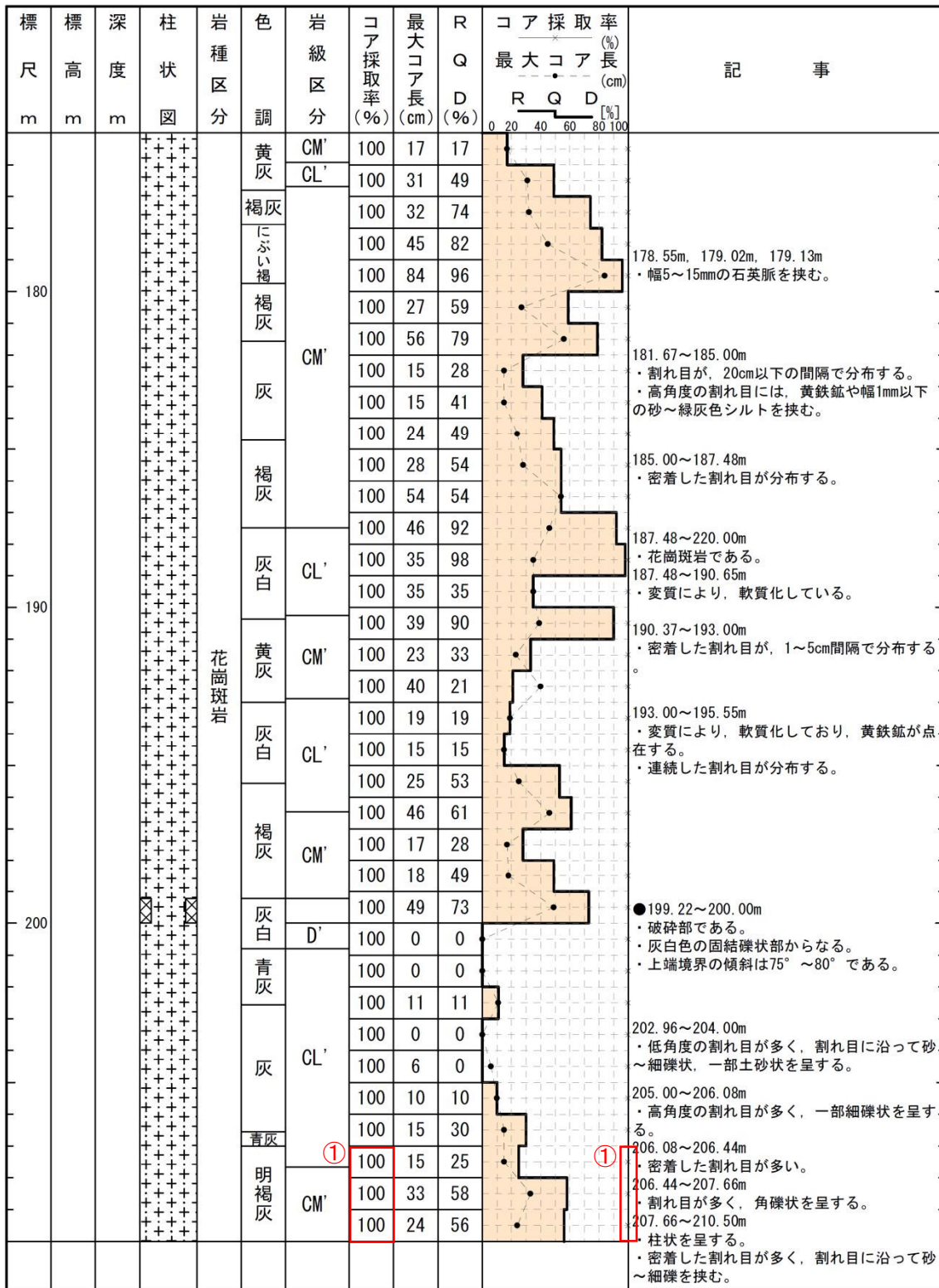
柱状図(175.00m~210.00m)



1-30(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └ [%]	岩盤区分	孔内水位(m)/測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																																				
															N 値 ~ 深度																																																																																																		
		210	花崗斑岩	明褐灰	Cg	IVg	IVg	cg	α	2	深度207.66~210.50m: 柱状コア。密着した節理多く、節理に沿って砂~細礫を挟む。		CL	[CL]																																																																																																			
											明褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	3	深度210.53m: シーム。傾斜84度、幅5~10mmの黒色シルト状。 深度210.50~212.52m: 変質帯。上盤67度、下盤50度。全体に軟質化。含礫固結砂質シルト状で、網目状に細粒分を含む。指圧で変形。		CL	[CL]																																																																																									
																					青灰				Cg	IVg	IVg	cg	α	2	深度212.52~215.45m: 密着した節理多く、全体に変質を受け、礫状化する。		CL	[CL]																																																																															
																															灰白				Cg	IVg	IVg	cg	α	2	深度215.45~219.17m: 斑晶は粗粒。変質により軟質化。		CL	[CL]																																																																					
																																									青灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度219.17~220.00m: 斑晶は粗粒。変質により軟質化。		CL	[CL]																																																											
																																																			褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。		CL	[CL]																																																	
																																																													明褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。		CL	[CL]																																							
																																																																							明褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。		CL	[CL]																													
																																																																																	明褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。		CL	[CL]																			
																																																																																											明褐灰				Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。		CL	[CL]									
			明褐灰	Dg	IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。			CL	[CL]																																																																																																			
										明褐灰	Dg				IVg	IVg	cg	α	2	深度220.00~220.00m: 変質により軟質化。			CL	[CL]																																																																																									

柱状図(175.00m~210.00m)



1-3(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H19-No.16

柱状図(210.00m～220.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分②	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
		①	+	花崗斑岩	褐灰	CM'	100	13	34		②	<ul style="list-style-type: none"> ● 210.53m ・ 破砕部である。 ・ 黒色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は1.0cmである。 212.52～215.45m <ul style="list-style-type: none"> ・ 密着した割れ目が多い。
			+		明褐灰	CL'	100	13	13			
			+		青灰	CM'	100	14	14			
			+		灰白青灰		100	20	65			
			+		褐灰	CL'	100	21	78			
			+		灰白青灰		100	20	57			
			+		青灰	CL'	100	35	35			
			+		青灰	CM'	100	13	13			
			+		褐灰	CL'	100	19	56			
			+		褐灰	CL'	100	22	34			

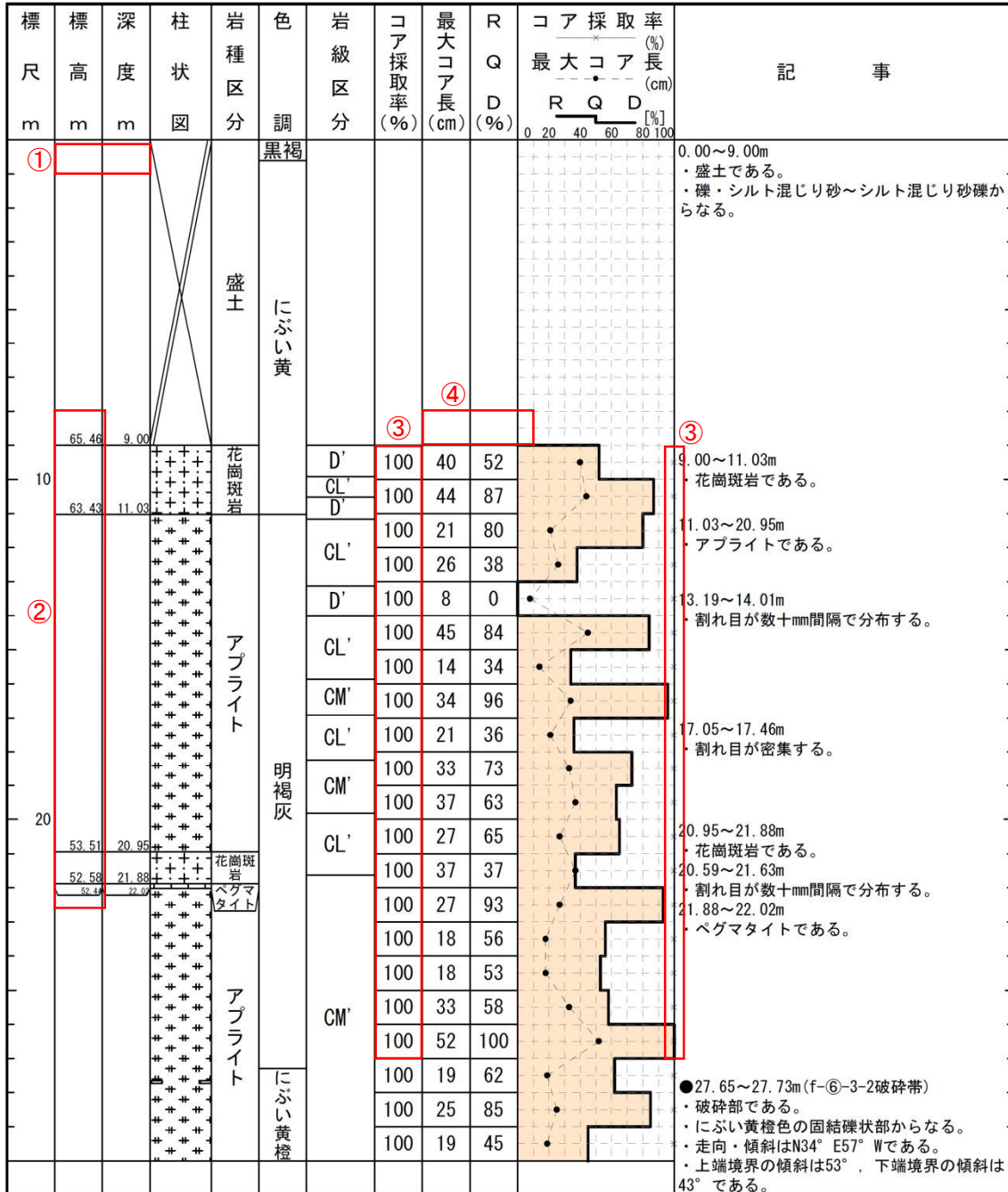
- 1-31(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-3(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H19-No.17

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 17

孔 口 標 高	T. P.	74.46m	掘 削 長	200.00m
---------	-------	--------	-------	---------



- 1-32, 1-34(分類c)①
岩種区分は同一のため削除。
- 1-33(分類a)②
誤記。
- 1-35(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。
- 1-36, 1-37(分類c)④
基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

H19-No.17

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 17

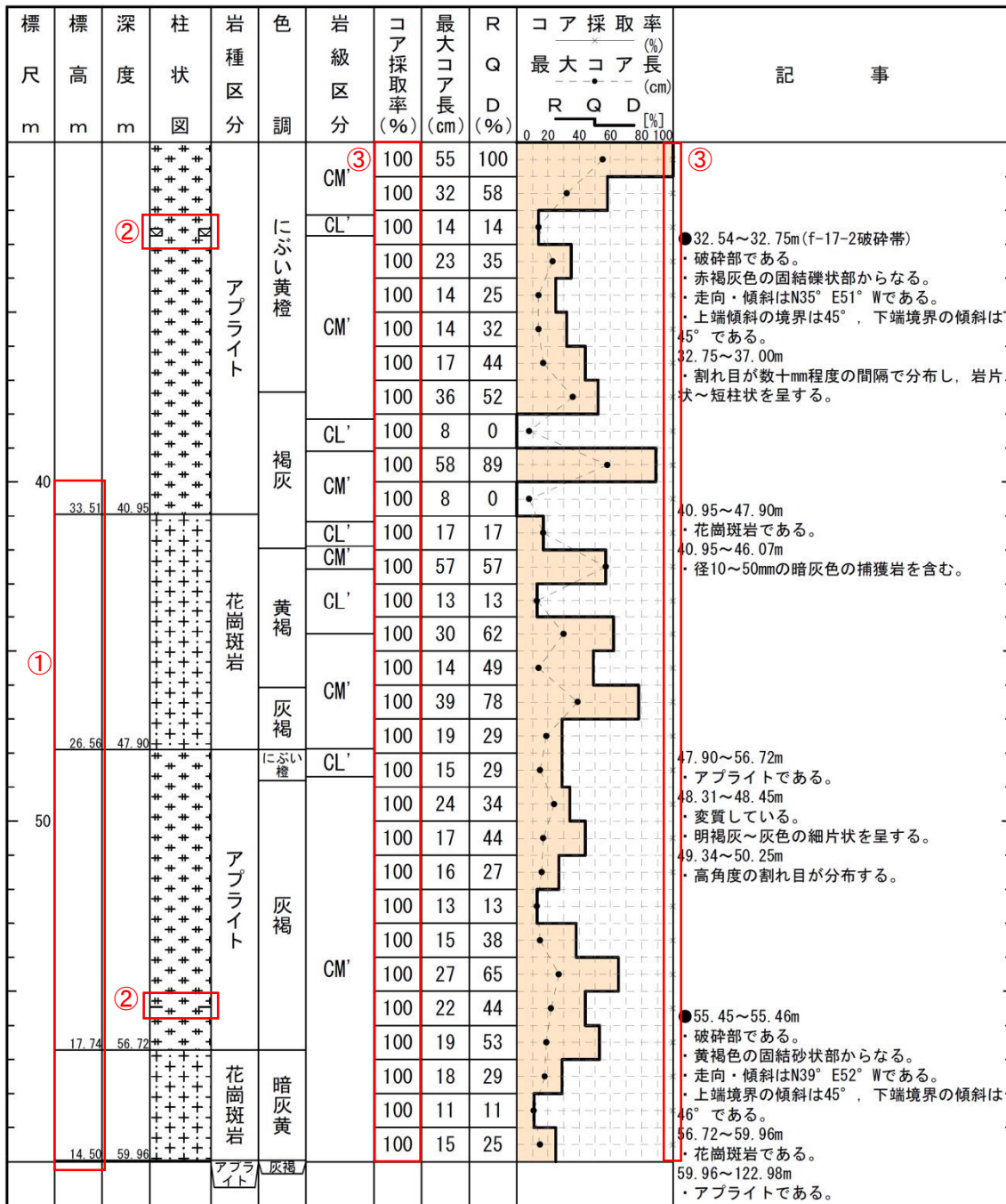
孔 口 標 高	T. P.	74.46m	掘 削 長	200.00m
---------	-------	--------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				盛土	黒褐							0.00~9.00m ・盛土である。 ・礫・シルト混じり砂~シルト混じり砂礫からなる。
	65.46	9.00		花崗斑岩	にぶい黄	D'	100	40	52			9.00~11.03m ・花崗斑岩である。
	63.43	11.03		花崗斑岩		CL'	100	44	87			
				アプライト		D'	100	21	80			11.03~20.95m ・アプライトである。
				アプライト		CL'	100	26	38			
				アプライト		D'	100	8	0			13.19~14.01m ・割れ目が数十mm間隔で分布する。
				アプライト		CL'	100	45	84			
				アプライト		CM'	100	34	96			
				アプライト		CL'	100	21	36			17.05~17.46m ・割れ目が密集する。
				アプライト		CM'	100	33	73			
				アプライト		CL'	100	37	63			
	53.51	20.95		花崗斑岩		CL'	100	27	65			20.95~21.88m ・花崗斑岩である。
	52.58	21.88		ペグマタイト			100	37	37			20.59~21.63m ・割れ目が数十mm間隔で分布する。
	52.44	22.07		ペグマタイト			100	27	93			21.88~22.02m ・ペグマタイトである。
				アプライト			100	18	56			
				アプライト			100	18	53			
				アプライト			100	33	58			
				アプライト			100	52	100			
				にぶい黄橙			100	19	62			● 27.65~27.73m (f-6)-3-2破碎帯) ・破碎部である。 ・にぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN34° E57° Wである。 ・上端境界の傾斜は53°、下端境界の傾斜は43°である。
				にぶい黄橙			100	25	85			
				にぶい黄橙			100	19	45			

- 1-38 (分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-35 (分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記 事	コア採取率 最大コア長 cm R Q D [%]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コブ径 (mm)	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)				
														N 値 ~ 深度																		
		30		アプライト	明褐色	Cg	III g		2	深度27.65~27.73m: 破砕帯(Hb)。上盤53度。下盤43度。幅35~65mm。砂礫状及び凝混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。				11/17	151		25.0	190	0.0	泥水8	5											
		40		アプライト	黄褐色	Cg	III g		4	深度32.54~32.65m: 破砕帯(Hb)。上盤45度。下盤42~63度。幅50mm。明黄色凝混じりシルト質砂状~凝混じり砂質シルト状。 深度32.65~32.75m: 破砕帯(Hb)。下盤45度。幅50mm。赤褐色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。 深度32.75~37.00m: 傾斜25~45度の節理が数cm程度の間隔で発達し。短柱~岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。				11/20	227																	
	37.35	40.95		花崗斑岩	灰褐色	Cg	IV g		2	花崗斑岩。上位との境界傾斜65度。凹凸あり。 深度40.95~46.07m: 暗灰色帯び。最大径5cm一般径1~2cmの歪円~歪角の捕獲岩を含む。 深度41.22~41.25m: 幅18~20mm。褐色凝混じりシルト質砂状。				11/21	0																	
	31.05	47.90		花崗斑岩	黄褐色	Cg	IV g			深度43.40~43.51m: 節理密集する。 深度43.51~43.54m: 幅25mm。暗灰色シルト・凝混じり砂状。部分的に葉片状。 安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界。約40度。				11/21	0																	
		50		アプライト	灰褐色	Cg	IV g			アプライト。上位との境界不明瞭。 深度48.31~48.45m: 変質帯。上盤45度。下盤35度。明褐色~灰色の細片状。 深度49.34~50.25m: 黒褐色を帯びる高角度な節理発達。 深度51.83~51.86m: 幅20mm。暗褐色砂礫状。 深度53.42~53.49m: 幅25~30mm。節理密集する。				11/21	0																	
	23.05	56.79		花崗斑岩	暗灰黄	Cg	IV g		2	深度55.45~55.46m: 破砕帯(Hb)。上盤45度。下盤46度。幅20mm。黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり砂状。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。やや暗緑色を帯び。ひん岩に近い岩相。																						
	20.12	59.96		アプライト	灰褐色	Cg	IV g			アプライト。上位との境界不明瞭。 深度59.96~63.00m: 全体に褐色化顕著。 深度61.89~62.22m: 破砕帯(Hj)。傾斜36度。径3~10mmの角礫状。上面に幅1~4mmの黄褐色シルトを挟む。																						

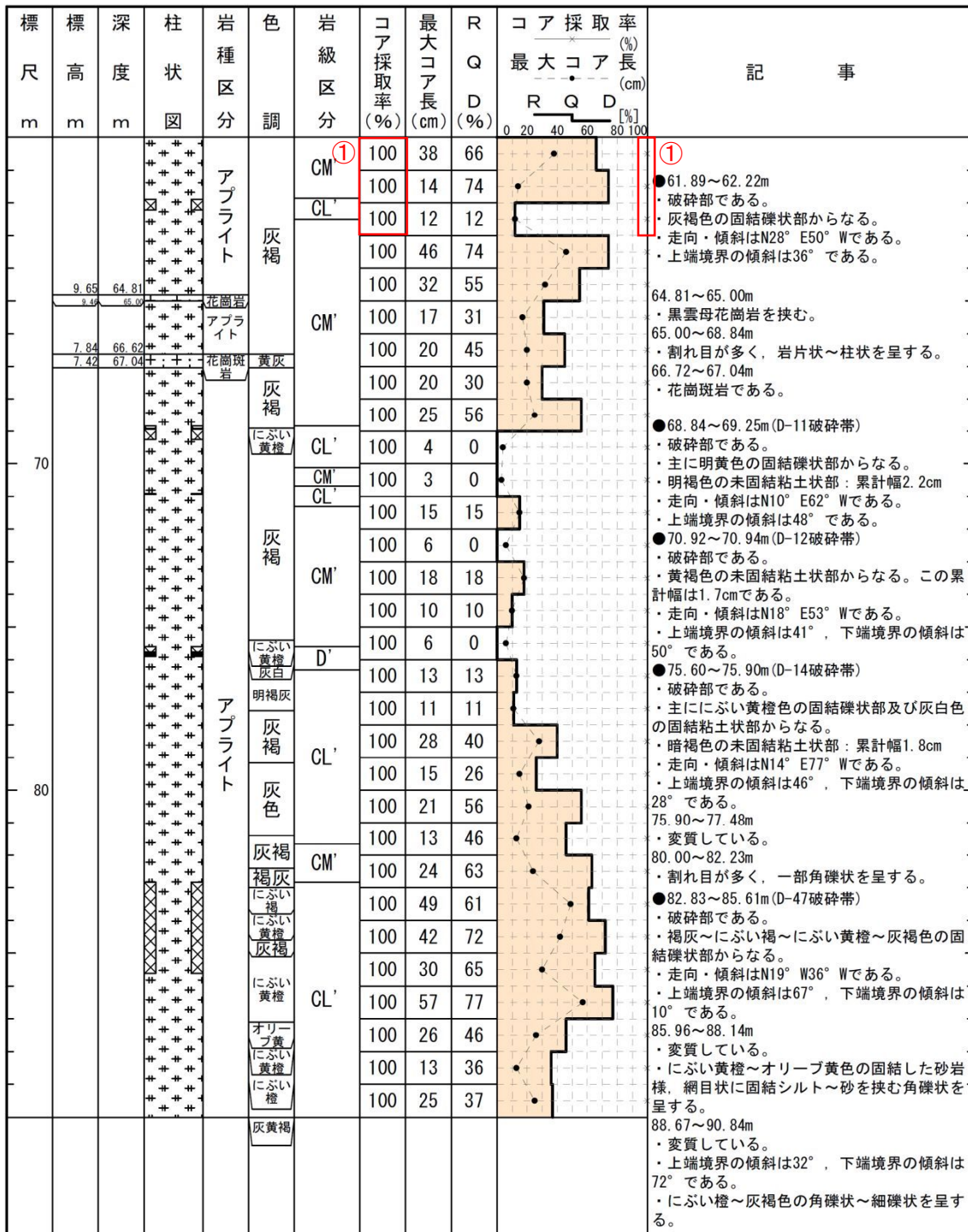
柱状図(30.00m～60.00m)



- 1-33(分類a)①
誤記。
- 1-39, 1-40(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-35(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [%]	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチーブ/ビット	給送水量 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/min)	排水量 (l/min)				
														N 値 ~ 深度																	
30				アプライト	明褐灰					深度27.65~27.73m: 破砕帯 (Hb)。上盤53度。下盤43度。幅35~55mm。砂礫状及び凝混じりシルト質砂状。上下盤で走向が異なる。 深度29.00~30.00m: 開口した節理に流入粘土が認められる。 深度31.30~31.33m: 変質により砂礫状。				0	10	20	30	40	50		11/17	29,90			25.0	190	0.0	泥水8	5		
40	37.35	40.95		花崗斑岩	褐灰				γ	深度32.54~32.65m: 破砕帯 (Hb)。上盤45度。下盤42~63度。幅50mm。明黄色凝混じりシルト質砂状~凝混じり砂質シルト状。 深度32.65~32.75m: 破砕帯 (Hb)。下盤45度。幅50mm。赤褐色礫・シルト混じり砂状。この破砕帯は上位の破砕帯に切られる。 深度32.75~37.00m: 傾斜25~45度の節理が数cm程度の間隔で発達し。短柱~岩片状コアをなす。節理面およびその周辺は褐色を帯びる。 花崗斑岩。上位との境界傾斜65度。凹凸あり。 深度40.95~46.07m: 暗灰色帯び。最大径5cm一般径1~2cmの歪円~歪角の捕獲岩を含む。 深度41.22~41.25m: 幅18~20mm。褐灰色凝混じりシルト質砂状。 深度43.40~43.51m: 節理密集する。 深度43.51~43.54m: 幅25mm。暗灰色シルト・凝混じり砂状。部分的に葉片状。 安山岩に近い岩相と花崗斑岩の境界。約40度。				11	20	43,35				11/20	43,35		83/ケレン			35.0	165	0.0	泥水7	0	
50	31.05	47.90		アプライト	黄褐				β	アプライト。上位との境界不明瞭。 深度48.31~48.45m: 変質帯。上盤45度。下盤35度。明褐灰~灰色の細片状。 深度49.34~50.25m: 黒褐色を帯びる高角度な節理発達。 深度51.83~51.86m: 幅20mm。暗褐色砂礫状。 深度53.42~53.49m: 幅25~30mm。節理密集する。				11	21	53,35				11/21	53,35										
60	20.12	59.96		花崗斑岩	暗灰黄				γ	深度55.45~55.46m: 破砕帯 (Hb)。上盤45度。下盤46度。幅20mm。黄褐色砂混じりシルト状及びシルト混じり砂状。 花崗斑岩。上位との境界不明瞭。やや暗緑色を帯び。ひん岩に近い岩相。 アプライト。上位との境界不明瞭。 深度59.96~63.00m: 全体に褐色化顕著。 深度61.89~62.22m: 破砕帯 (Hj)。傾斜36度。径3~10mmの角礫状。上面に幅1~4mmの黄褐色シルトを挟む。				11	22	61,89													0.0	泥水6	0

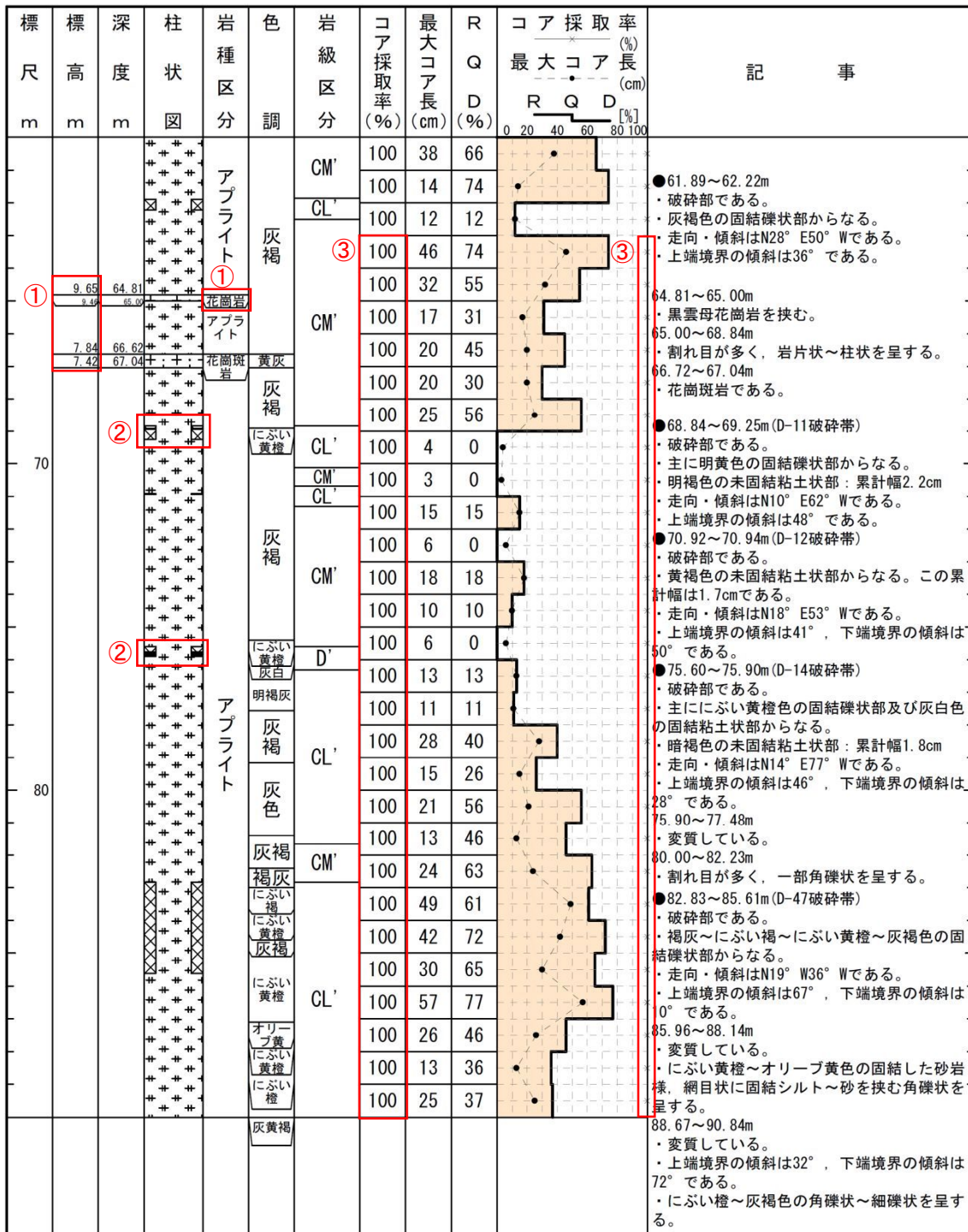
柱状図(60.00m~90.00m)



1-35(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D L [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験					室内試験 原位置試験 (孔内水平載荷)	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
															(N 値 ~ 深度)																			
70	15.72 15.55	64.81 65.04	花崗岩類 花崗岩類	アブライト アブライト	灰褐 灰褐	Cg Bg IIIg IIIg IVg	IIg IVg	bg			深度65.00~68.84m: 比較的高角度な節理多く、岩片~柱状コア主体。 花崗斑岩。上位、下位との境界傾斜65度。	0	OM		11/23 65.30	142	83/ケーシング	35.0	0.0	0	0	0												
70	14.08 13.70	66.62 67.04	花崗岩類	灰褐	IVg IIIg	IVg	bg				深度68.84~68.91m: 破砕帯(Hb)。上盤48度。下盤3度。幅25~90mm。明黄色シルト混じり砂礫状。 深度68.91~69.11m: 破砕帯(Hc)。上盤3度。下盤63度。幅3~20mm。明褐色雑混じりシルト状。 深度69.11~69.15m: 破砕帯(Hc)。上盤63度。下盤不明。幅10mm。暗褐・灰白色雑混じり砂質シルト状。 深度69.15~69.25m: 破砕帯(Hj)。上盤63度。径10mm以下の角礫状。 深度70.92~70.94m: 破砕帯(Hc)。上盤41度。下盤50度。幅5~17mm。黄褐色雑混じり砂質シルト状。 深度71.98~72.10m: 幅110mm。黄褐色シルト・砂混じり礫状。	0	CL [CM]		11/24 72.10	132	76/セメントインサ	30.0	165	0.0	泥水8	0												
80				灰褐	IVg IIIg	IVg	bg				深度75.60~75.72m: 破砕帯(Hj)。上盤46度。下盤47度。幅90mm。節理密集部。 深度75.72~75.90m: 破砕帯(Hc)。上盤47度。下盤29度。 幅110mmの明黄色シルト状。75.78m。幅18mmの暗褐色粘土(傾斜20度)を挟む。 深度76.90~77.48m: 変質帯。 深度77.35m: シーム。傾斜45度。幅1~2mmの褐色粘土状。	0	OM		11/25 74.30	142	ダブルコアチップ/ダイヤモンド	0.0	泥水7	0														
80				灰白	VIg Vg	IVg	cg				深度80.00~82.23m: 節理多く、一部角礫状。密着した節理も多い。	0	D		11/27 81.95	68		0.0	泥水9	0														
80				明褐灰	IVg	IVg	cg				深度82.83~85.61m: 破砕帯(Hj)。上盤67度。下盤10度。角礫~細礫状。所々に砂・シルトを挟む。古い破砕帯。	0	OM		11/28 87.95	178	83/ケーシング	35.0	175	0.0	泥水12	0												
80				灰褐	IVg IIIg	Dg IIg	IIg				深度85.96~86.86m: 変質帯。下盤37度。固結しており砂岩様を示す。原岩構造なし。 深度86.86~87.56m: 変質帯。上盤37度。下盤9度。角礫状。網目状に固結シルト~砂を挟む。 下面に幅20mmの暗褐色雑混じりシルトを挟む。 深度87.56~87.83m: 変質帯。上盤9度。下盤45度。固結しており砂岩様。原岩構造なし。 深度87.83~88.14m: 変質帯。上盤45度。下盤40度。角礫状。網目状に固結シルト~砂を挟む。 深度88.67~90.84m: 変質帯。上盤32度。下盤72度。角礫~細礫状。90.43mに幅1~2mmの褐色固結粘土を挟む。	0	CL		11/29 89.95	172		0.0	泥水12	0														
90				灰褐色	IIg	IVg	cg				深度91.52~95.80m: 変質帯。上盤66度。下盤40度。高角度な節理により網目状をなす。節理密集する。	0	CL																					
90				アブライト	灰黄褐	IVg					深度96.00~96.28m: 節理密集する。	0	CL																					
90				アブライト	褐灰	IVg IIIg	bg				アブライト。上位との境界傾斜60度。深度98.52~102.50m: 節理やや少なく、節理に沿って褐色化。	0	OM [CM]																					

柱状図(60.00m~90.00m)



- 1-33, 1-43 (分類a) ①
誤記。
- 1-41, 1-42 (分類d) ②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-35 (分類b) ③
報告書の記載漏れを修正したため。

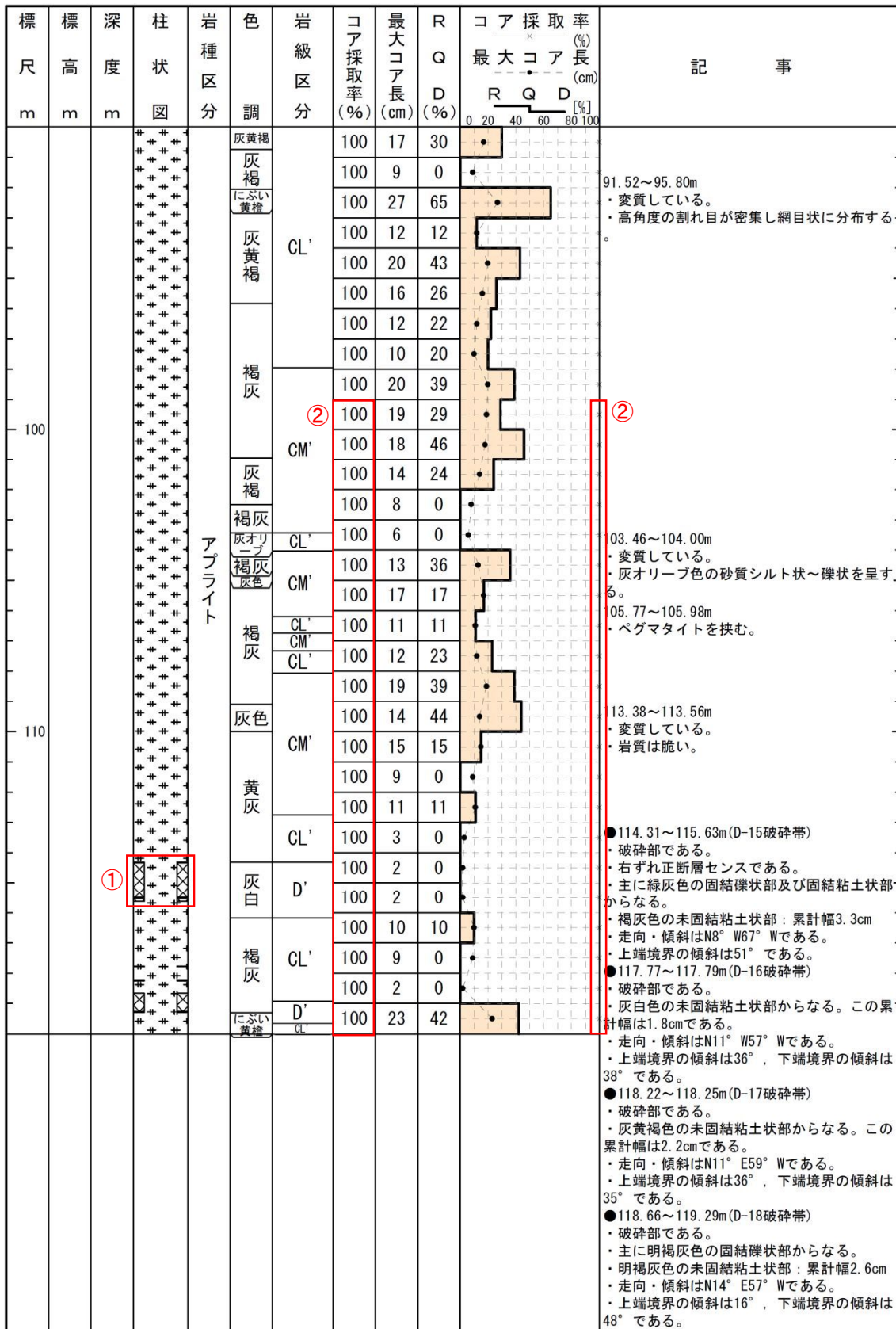
柱状図(90.00m~120.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	岩級区分	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記事					
														R	Q	D	R	Q
100	110	90.00~120.00	[Pattern]	ア プ ラ イ ト	[Color]	[Grade]	100	17	30	[R]	[Q]	[D]	1.52~95.80m	② ・変質している。 ・高角度の割れ目が密集し網目状に分布する				
															CL'	9	0	
															CL'	27	65	
															CL'	12	12	
															CL'	20	43	
															CL'	16	26	
															CL'	12	22	
															CL'	10	20	
															CL'	20	39	
															CM'	19	29	
															CM'	18	46	
															CM'	14	24	
															CM'	8	0	
															CM'	6	0	
															CM'	13	36	
															CM'	17	17	
															CL'	11	11	
															CL'	12	23	
CL'	19	39																
CL'	14	44																
CL'	15	15																
CL'	9	0																
CL'	11	11																
CL'	3	0																
D'	2	0																
D'	2	0																
CL'	10	10																
CL'	9	0																
CL'	2	0																
CL'	100	23	42															
													② ●114.31~115.63m(D-15破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれ正断層センスである。 ・主に緑灰色の固結礫状部及び固結粘土状部からなる。 ・褐灰色の未固結粘土状部：累計幅3.3cm ・走向・傾斜はN8°W67°Wである。 ・上端境界の傾斜は51°である。 ●117.77~117.79m(D-16破砕帯) ・破砕部である。 ・灰白色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は1.8cmである。 ・走向・傾斜はN11°W57°Wである。 ・上端境界の傾斜は36°、下端境界の傾斜は38°である。 ●118.22~118.25m(D-17破砕帯) ・破砕部である。 ・灰黄褐色の未固結粘土状部からなる。この累計幅は2.2cmである。 ・走向・傾斜はN11°E59°Wである。 ・上端境界の傾斜は36°、下端境界の傾斜は35°である。 ●118.66~119.29m(D-18破砕帯) ・破砕部である。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・明褐灰色の未固結粘土状部：累計幅2.6cm ・走向・傾斜はN14°E57°Wである。 ・上端境界の傾斜は16°、下端境界の傾斜は48°である。					

1-44, 1-45(分類c)①
 岩種区分は同一のため削除。
 1-35(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 最大コア長 cm R Q D [%]	岩盤区分	孔内水位 (N)値	(標準貫入試験)試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コアチップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)													
															N値 ~ 深度																										
		100		褐色	IVg IIIg Cg	bg			β	2			OM						172		30.0																				
				褐色	IVg Eg Dg	cg					深度102.50~103.42m: やや変質強く、一部角礫~細礫状。 深度103.46~104.00m: 変質帯。上盤45度。砂質シルト~礫状。								11/30 102.25					0.0			泥水12														
				褐色	IIIg IVg Cg IIIg IVg Dg	bg				3	深度105.77~105.98m: ベグマタイト。 深度105.10~109.65m: 全体に開口および密着した節理が多い。弱い変質を受け、黄鉄鉱、セリサイトを挟む。		CM						138		35.0																				
				褐色	IIIg IVg Dg	bg							CM						12/1 99.05																						
		110		灰白	IVg Cg	bg			α	2			OM						125		30.0																				
				黄灰	Cg IVg Dg	cg				2	深度113.38~113.56m: 変質帯。上盤56度、下盤72度。岩質脆い。								12/2 14.05																						
				灰白	Eg IVg Dg	cg				3	深度114.31~114.32m: 破砕帯(Hc)。上盤45度、下盤40度。幅1~10mm。褐灰色砂質シルト状。 深度114.32~114.77m: 破砕帯(Hj)。傾斜20~55度。鐵滓入りシルト質砂状~シルト混じり砂礫状。114.55m: 幅5~15mm程度の灰白色シルトを挟む。 深度114.77~115.24m: 破砕帯(Hj)。上盤55度、下盤12度。原岩組織が残るシルト混じり砂礫状。緑灰色シルトが網目状に入る。 深度115.24~115.47m: 破砕帯(Hb)。上盤12度、下盤4度。灰白色シルト混じり砂礫状。 深度115.47~115.51m: 破砕帯(Hc)。傾斜3度。幅5~12mmの灰白~褐灰色砂混じり粘土状。 深度115.62~115.64m: 破砕帯(Hc)。上盤70度、下盤不明。幅15~30mm、灰白色砂質シルト状。 深度115.98~116.18m: 破砕帯(Hc)。上盤30度、下盤不明。灰白色礫混じり砂質シルト状。 深度117.55~117.56m: シーム。上盤38度、下盤27度。幅5~9mm、灰白色礫混じり砂質シルト状。 深度117.77~117.79m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤38度。幅15~18mm、灰白色礫混じりシルト質砂状。 深度118.22~118.25m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤35度。幅22mm、灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。 深度118.66~119.26m: 破砕帯(Hj)。上盤16度、下盤33度。幅10.5cm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.18~119.21m: 幅15~20mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.26~119.29m: 破砕帯(Hc)。上盤33度、下盤48度。幅22~30mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.29~139.84m: 腐化色帯。 深度119.47~119.57m: 幅90mm。黄褐色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m: シーム。傾斜85~90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28度の密着した節理を見かけ、1.0~1.5cm逆断層的にずらす。 深度120.65m: シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。 深度120.80m: シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。 深度121.18~121.32m: 変質帯。上盤21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり固結粘土状。 深度121.45m: シーム。傾斜85度。幅3~5mmの明褐色粘土状。 深度121.85m: シーム。傾斜73度。幅1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆断層的にずらす。 深度122.75~122.92m: 変質帯。上盤48度、下盤67度。幅9~16cm。明褐色シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩。上位との境界傾斜67度。 深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。							12/4 21.35										12/2 14.05		151		25.0				0.0					
				褐色	Dg	cg				2									12/2 14.05																						
				にぶい黄橙	Eg IVg Dg	cg					深度113.38~113.56m: 変質帯。上盤56度、下盤72度。岩質脆い。								12/2 14.05																						
				にぶい黄橙	Eg IVg Dg	cg					深度114.31~114.32m: 破砕帯(Hc)。上盤45度、下盤40度。幅1~10mm。褐灰色砂質シルト状。 深度114.32~114.77m: 破砕帯(Hj)。傾斜20~55度。鐵滓入りシルト質砂状~シルト混じり砂礫状。114.55m: 幅5~15mm程度の灰白色シルトを挟む。 深度114.77~115.24m: 破砕帯(Hj)。上盤55度、下盤12度。原岩組織が残るシルト混じり砂礫状。緑灰色シルトが網目状に入る。 深度115.24~115.47m: 破砕帯(Hb)。上盤12度、下盤4度。灰白色シルト混じり砂礫状。 深度115.47~115.51m: 破砕帯(Hc)。傾斜3度。幅5~12mmの灰白~褐灰色砂混じり粘土状。 深度115.62~115.64m: 破砕帯(Hc)。上盤70度、下盤不明。幅15~30mm、灰白色砂質シルト状。 深度115.98~116.18m: 破砕帯(Hc)。上盤30度、下盤不明。灰白色礫混じり砂質シルト状。 深度117.55~117.56m: シーム。上盤38度、下盤27度。幅5~9mm、灰白色礫混じり砂質シルト状。 深度117.77~117.79m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤38度。幅15~18mm、灰白色礫混じりシルト質砂状。 深度118.22~118.25m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤35度。幅22mm、灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。 深度118.66~119.26m: 破砕帯(Hj)。上盤16度、下盤33度。幅10.5cm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.18~119.21m: 幅15~20mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.26~119.29m: 破砕帯(Hc)。上盤33度、下盤48度。幅22~30mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.29~139.84m: 腐化色帯。 深度119.47~119.57m: 幅90mm。黄褐色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m: シーム。傾斜85~90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28度の密着した節理を見かけ、1.0~1.5cm逆断層的にずらす。 深度120.65m: シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。 深度120.80m: シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。 深度121.18~121.32m: 変質帯。上盤21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり固結粘土状。 深度121.45m: シーム。傾斜85度。幅3~5mmの明褐色粘土状。 深度121.85m: シーム。傾斜73度。幅1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆断層的にずらす。 深度122.75~122.92m: 変質帯。上盤48度、下盤67度。幅9~16cm。明褐色シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩。上位との境界傾斜67度。 深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。							12/5 22.65										12/5 22.65									0.0		泥水10		
				にぶい黄橙	Eg IVg Dg	cg					深度117.55~117.56m: シーム。上盤38度、下盤27度。幅5~9mm、灰白色礫混じり砂質シルト状。 深度117.77~117.79m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤38度。幅15~18mm、灰白色礫混じりシルト質砂状。 深度118.22~118.25m: 破砕帯(Hc)。上盤36度、下盤35度。幅22mm、灰黄褐色礫混じりシルト質砂状。 深度118.66~119.26m: 破砕帯(Hj)。上盤16度、下盤33度。幅10.5cm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.18~119.21m: 幅15~20mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.26~119.29m: 破砕帯(Hc)。上盤33度、下盤48度。幅22~30mm。明褐色礫混じり砂質シルト状。 深度119.29~139.84m: 腐化色帯。 深度119.47~119.57m: 幅90mm。黄褐色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m: シーム。傾斜85~90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28度の密着した節理を見かけ、1.0~1.5cm逆断層的にずらす。 深度120.65m: シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。 深度120.80m: シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。 深度121.18~121.32m: 変質帯。上盤21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり固結粘土状。 深度121.45m: シーム。傾斜85度。幅3~5mmの明褐色粘土状。 深度121.85m: シーム。傾斜73度。幅1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆断層的にずらす。 深度122.75~122.92m: 変質帯。上盤48度、下盤67度。幅9~16cm。明褐色シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩。上位との境界傾斜67度。 深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。							12/6 26.85										12/6 26.85													
		130		灰黄	Cg IVg Dg	cg			γ	3			CL						139		20.0																				
				にぶい黄橙	Eg IVg Dg	cg					深度119.47~119.57m: 幅90mm。黄褐色シルト混じり砂礫状。 深度120.31m: シーム。傾斜85~90度。幅1mmの灰白色粘土状。傾斜27~28度の密着した節理を見かけ、1.0~1.5cm逆断層的にずらす。 深度120.65m: シーム。傾斜74度。幅1mmの灰白色粘土状。 深度120.80m: シーム。傾斜75度。両者とも傾斜35度の密着した節理を見かけ1cm程度逆断層的にずらす。 深度121.18~121.32m: 変質帯。上盤21度、下盤75~90度。灰白色礫混じり固結粘土状。 深度121.45m: シーム。傾斜85度。幅3~5mmの明褐色粘土状。 深度121.85m: シーム。傾斜73度。幅1~3mmの灰白色固結粘土状。傾斜45度の密着した節理を見かけ0.5~1.0cm逆断層的にずらす。 深度122.75~122.92m: 変質帯。上盤48度、下盤67度。幅9~16cm。明褐色シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩。上位との境界傾斜67度。 深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。							12/6 26.85										12/6 26.85													
				花崗斑岩	IVg						深度122.75~122.92m: 変質帯。上盤48度、下盤67度。幅9~16cm。明褐色シルト混じり砂礫状。 花崗斑岩。上位との境界傾斜67度。 深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。												12/2 31.80																		
				にぶい黄橙	Dg						深度126.04~126.27m: 変質帯。上盤30度、下盤65度。径1cm以下の細片状。網目状に粘土結晶。 アフライト。上盤傾斜33度。 深度127.21~127.48m: 幅約15cm。灰黄色シルト混じり固結砂・礫状。										161		35.0									0.0		泥水6							

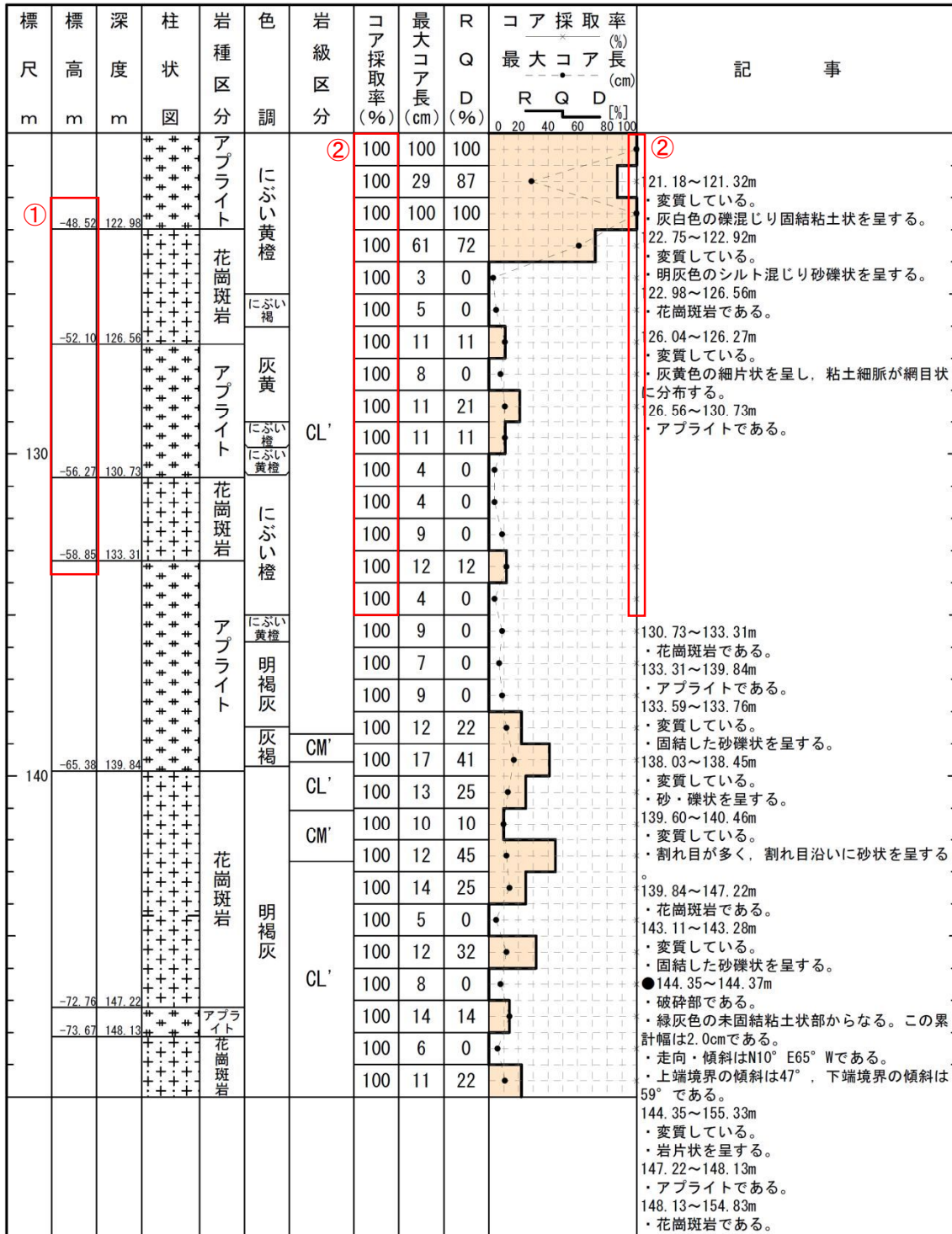
柱状図(90.00m~120.00m)



1-46(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

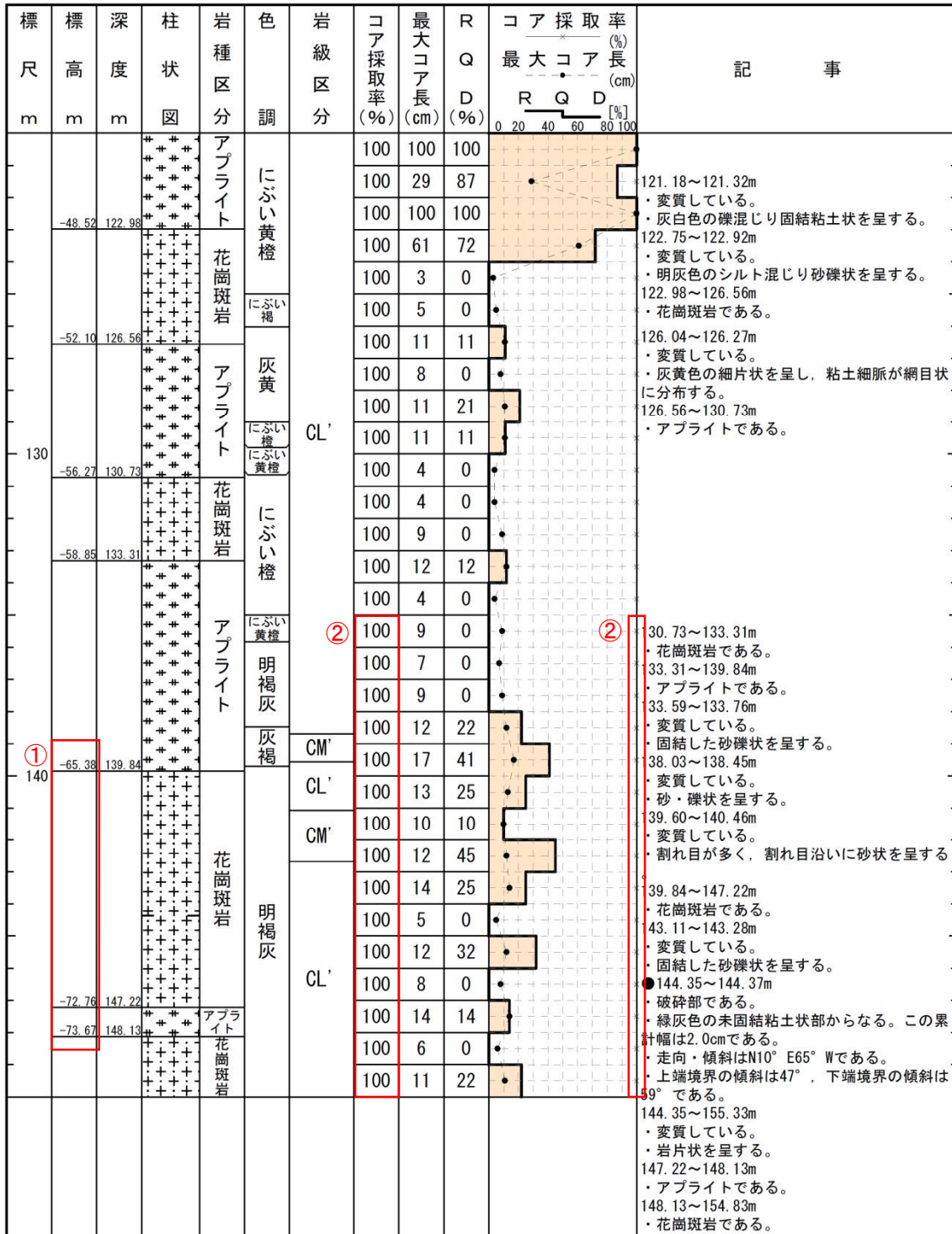
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%) 最大コア長 cm R Q D [%]	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径(mm) /孔壁保護	コアナチューブ/ビット	給圧(kN・MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)		
															N値~深度																	
		100		褐灰	IVg	cg				β	2		OM		0	10	20	30	40	50												
				灰褐	Cg	bg							CL		11	20	30	40	50													
				褐灰	IVg	cg							CL		10	20	30	40	50													
				褐灰	IVg	cg							CL		10	20	30	40	50													
				褐灰	IVg	cg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				褐灰	IVg	cg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				黄灰	Cg	bg							CL		10	20	30	40	50													
				灰褐色	Cg	bg							CL		10	20	30	40	5													

柱状図(120.00m~150.00m)



1-33(分類a)①
 誤記。
 1-35(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

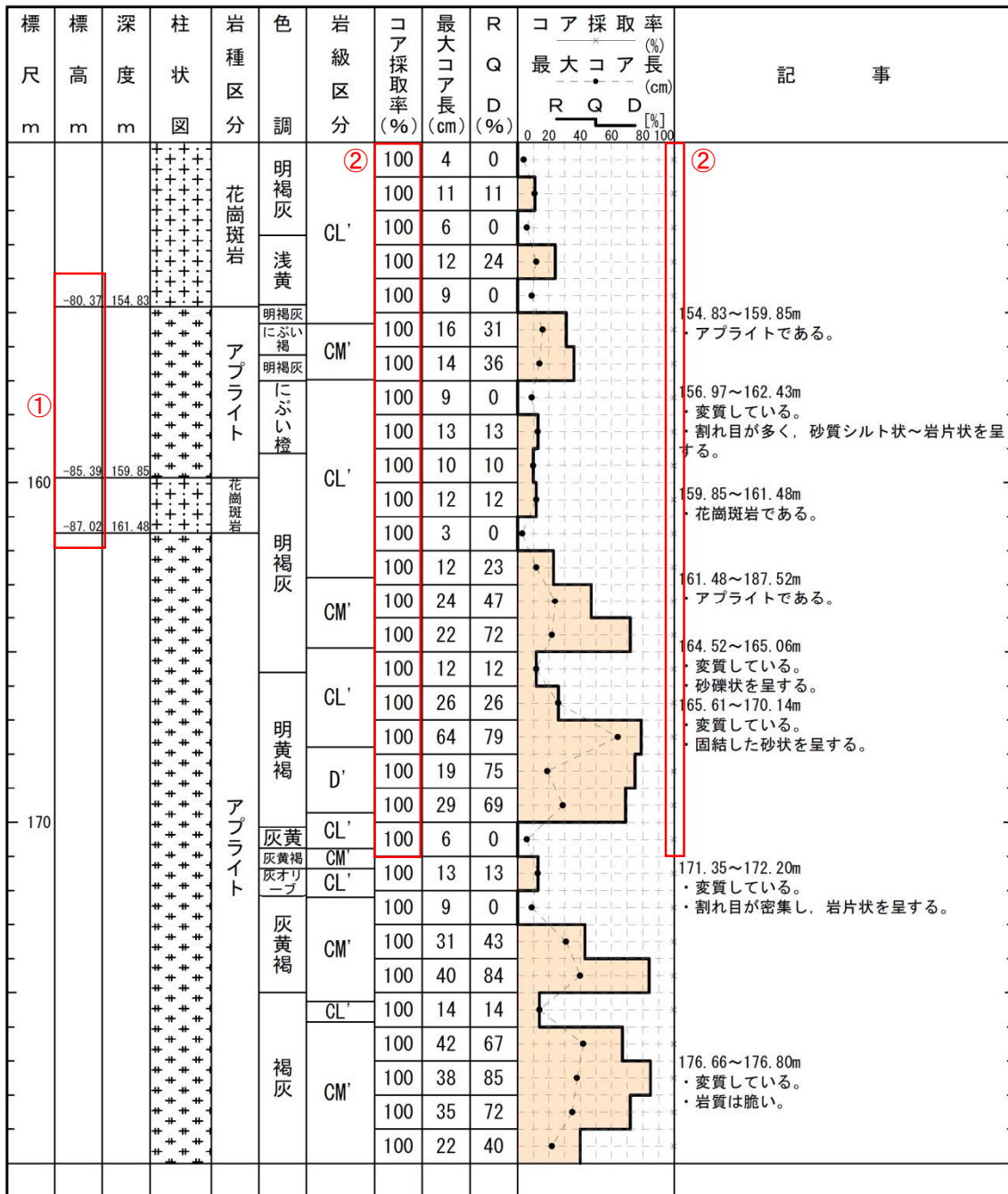
柱状図(120.00m~150.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

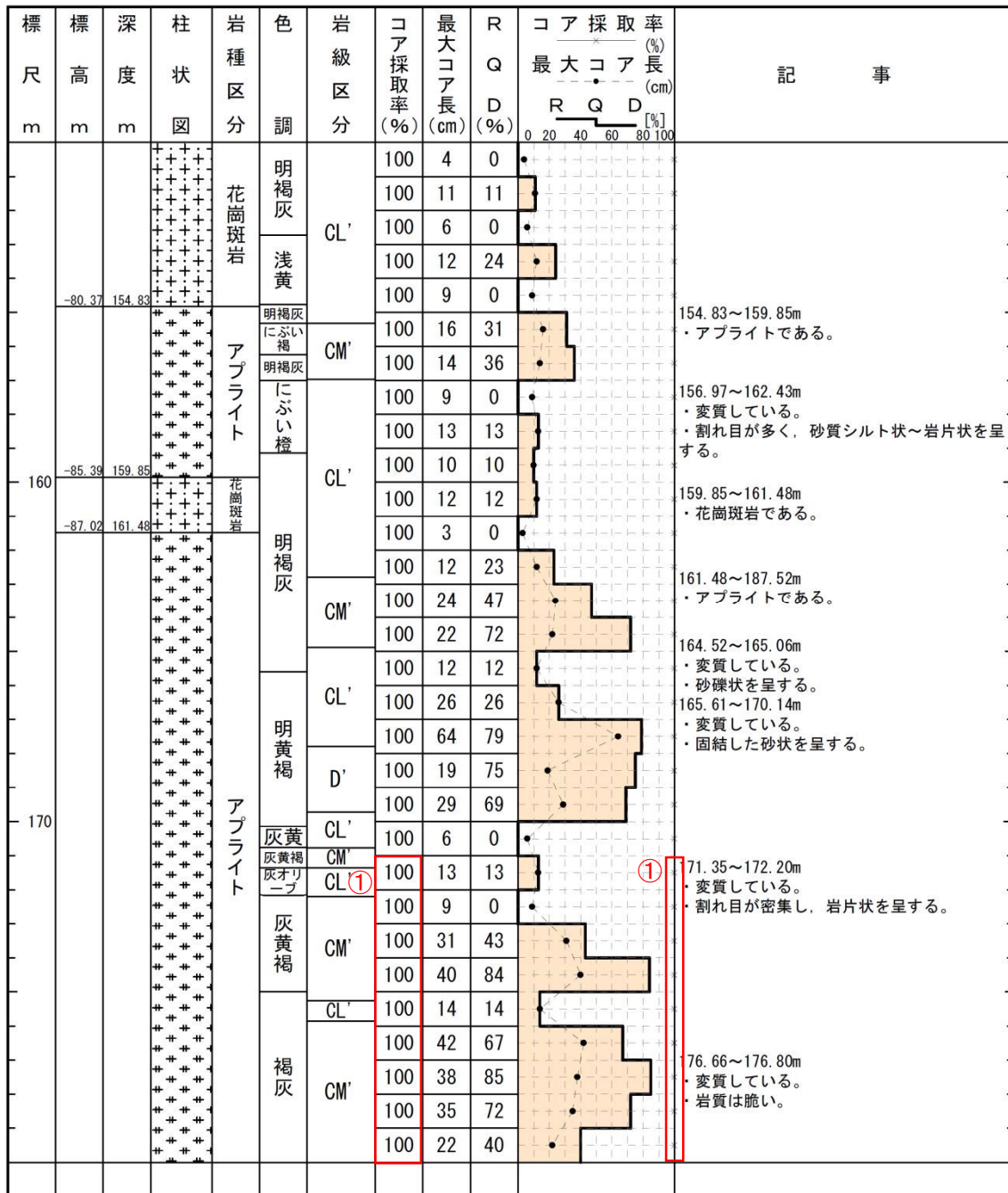
標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	岩盤区分	孔内水位 (m) / 測定月日		(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (KN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)														
													N 値	深度	N 値	深度	N 値	深度	N 値										深度													
140	52.28	139.84	アフライト	明褐灰	Dg	IVg				深度128.56~128.58m: 変質帯。上盤42度, 下盤30度。固結砂状。 深度129.25~129.30m: 変質帯。上盤38度, 下盤32度。固結砂状。 深度129.76~129.79m: 変質帯。下盤29度。固結砂状。 花崗斑岩。上位との境界漸移的。 深度132.07~132.18m: 変質帯。上盤42度, 下盤35度。暗黄灰色砂礫状。 深度132.25m: シーム。傾斜31度。幅1~3mmの灰オリープ色固結シルト状。 深度132.52~132.62m: 変質帯。上盤52度, 下盤25度。砂礫状。 アフライト。上位との境界漸移的。 深度133.31~133.33m: 幅約16mm。灰白色シルト混じり固結砂礫状。 深度133.59~133.76m: 変質帯。下盤85度。固結砂礫状。 深度135.00~138.45m: 亀裂多く, コアは岩片~短柱状をなす。 深度138.03~138.45m: 変質帯。上盤6度, 下盤50度。砂・礫状。 深度138.22~139.60m: 比較的節理少なく, 柱状コア主体。 深度139.60~140.46m: 変質帯。上盤52度, 下盤68度。節理発達し, 砂状化		CL																														
	58.97	147.22	アフライト	明褐灰	Dg	IVg				花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度138.04~154.83m: 花崗斑岩。 花崗斑岩は褐色化, 変質が強い。 径3~5mmの石英, 長石及び黒雲母の斑晶を5~30%程度含み, 石基は径0.1~0.2mm程度で黒雲母を含む。 深度143.11~143.28m: 変質帯。上盤56度, 下盤36度。固結砂礫状。 深度144.35~144.37m: 破砕帯 (Hc)。上盤47度, 下盤59度。幅20mm。固結黄褐色砂混じりシルト状。古い破砕帯。 深度144.35~145.33m: 変質帯。上盤破砕帯。下盤39度。岩片状。 深度146.04~148.96m: 全体に傾斜40~60度の節理が1~3cm間隔で発達し, コアは岩片状を主体とする。 アフライト。上位, 下位との境界漸移的。		CL																														
150	59.79	148.13	アフライト	明褐灰	Dg	IVg				アフライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アフライト。アフライトは深度159.15mまで褐色化するが, これ以降, 褐色化していない。 アフライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく, 短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度, 下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し, 砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位, 下位との境界不明瞭。		CL																														
	65.86	154.83	明褐灰	浅黄	Dg	IVg				アフライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アフライト。アフライトは深度159.15mまで褐色化するが, これ以降, 褐色化していない。 アフライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく, 短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度, 下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し, 砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位, 下位との境界不明瞭。		CL																														
160	70.41	159.85	アフライト	明褐灰	Dg	IVg				アフライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アフライト。アフライトは深度159.15mまで褐色化するが, これ以降, 褐色化していない。 アフライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく, 短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度, 下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し, 砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位, 下位との境界不明瞭。		CL																														
	71.89	161.48	明褐灰	アフライト	Dg	IVg				アフライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アフライト。アフライトは深度159.15mまで褐色化するが, これ以降, 褐色化していない。 アフライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく, 短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度, 下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し, 砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位, 下位との境界不明瞭。		CL																														
170			アフライト	明褐灰	Dg	IVg				アフライト。上位との境界傾斜10~20度。 深度154.83~187.52m: アフライト。アフライトは深度159.15mまで褐色化するが, これ以降, 褐色化していない。 アフライトの石基は径0.2mm程度で組織はほぼ均質である。斑晶の量は非常に少ない。 深度155.33~156.95m: 比較的節理少なく, 短柱~柱状をなす。 深度156.97~162.43m: 変質帯。上盤87度, 下盤65度。 傾斜30~50度および85度程度の節理が発達し, 砂質シルト状~岩片状を呈する。 深度159.31~159.39m: 変質帯。幅32mm。黄灰色砂質シルト状。 深度159.39m: シーム。傾斜39度。幅5~8mmの黒灰色シルト状。 花崗斑岩。上位, 下位との境界不明瞭。		CL																														
			明褐灰	灰黄	Dg	IVg				深度162.57m: シーム。傾斜63度。幅2~3mm。暗灰色礫混じり砂状。 深度164.52~165.06m: 変質帯。上盤52度, 下盤55度。砂礫状。 深度165.60~165.61m: シーム。上盤59度, 下盤56度。幅5~8mmの暗灰色礫混じりシルト状。 深度165.61~170.14m: 変質帯。上盤56度, 下盤50度。全体に固結砂状を呈する。酸化し明黄褐色を帯びる。 深度169.72m: シーム。傾斜55度。幅1~3mm。灰色シルト状。 深度169.74m: シーム。傾斜56度。幅2mm。灰色シルト状。		CL																														

柱状図(150.00m～180.00m)



1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

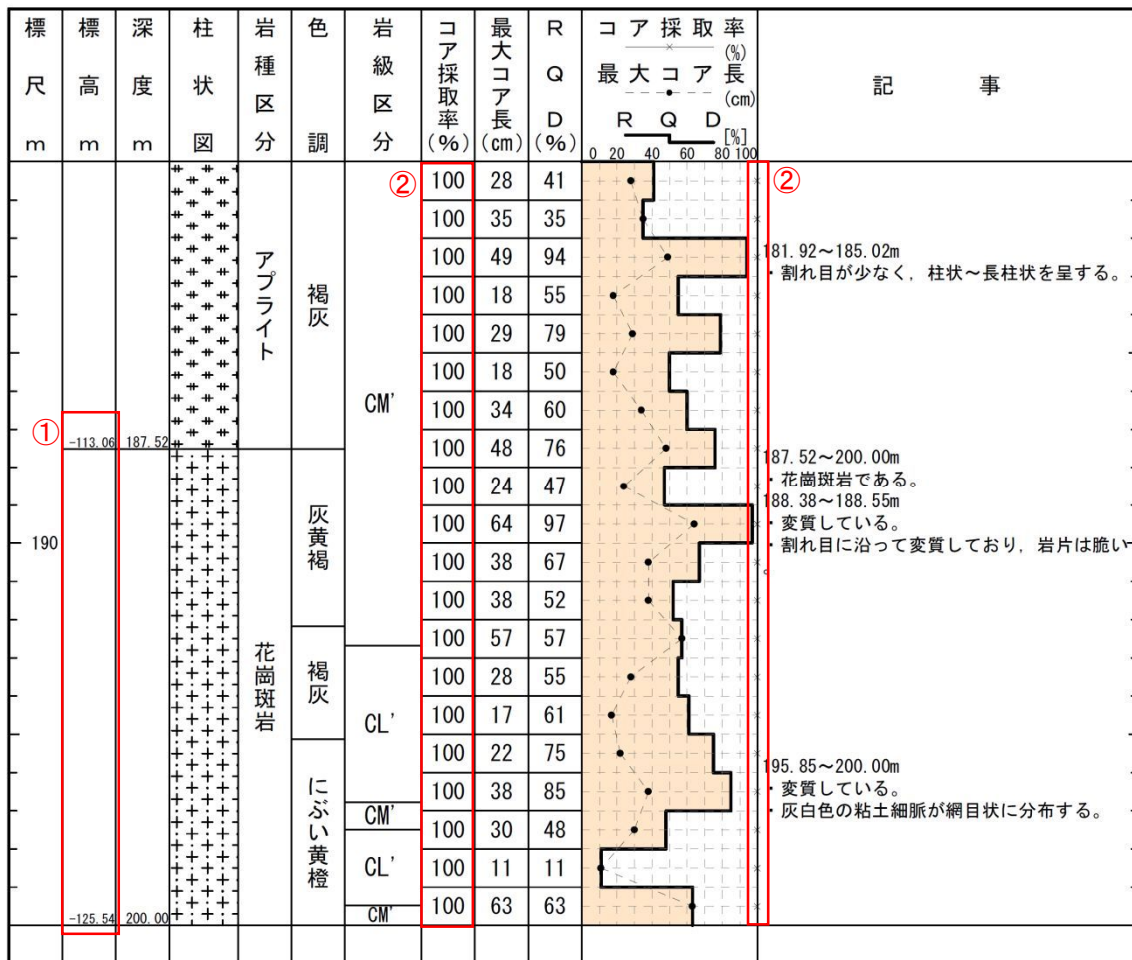
柱状図(150.00m～180.00m)



1-35(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	変質	記号	コア採取率 (%) 最大コア長 R Q D [%]	岩盤区分			孔内水位(m)/測定日	試験 (標準貫入試験)		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
											OM	CL			N 値 ~ 深度	0												10	20
				アプライト 褐灰	灰黄褐 IVg ag		2	深度171.35~172.20m: 変質帯。上盤66度、下盤47度。傾斜60度、90度および20度程度の節理が密集し、径1~3cm程度の岩片状コアをなす。	0	100	OM	[CL]						83 / ケーシング											
					IVg ag		3	深度173.18~175.00m: 節理少なく岩片も比較的新鮮。	0	100	OM	[CL]								175 /			35.0	0.0	泥水10	0	0		
				アプライト 褐灰	IVg ag		2	深度176.66~176.80m: 変質帯。上盤76度、下盤80度。岩質脆い。	0	100	OM	[CL]								140 /		40.0	0.0	泥水6	0	0			
					IVg ag		2	深度176.74m: シーム。傾斜55~75度。幅0.2mmの緑灰色シルト状。傾斜38度の節理が見かけ0.7cm正断層的にずれる。	0	100	OM	[CL]									140 /		40.0	0.0	泥水6	0	0		
					IVg ag		2	深度180.42~181.92m: 節理多く、短柱状コア主体。	0	100	OM	[CL]										133 /	45.0	0.0	泥水8	0	0		
					IVg ag		2	深度181.92~185.02m: 比較的節理少なく、柱状~長柱状コアを主体とする。	0	100	OM	[CM]										133 /	45.0	0.0	泥水8	0	0		
					IVg ag		2	深度185.02~185.62m: 傾斜20~50度および80度の節理が多く発達する。	0	100	OM	[CM]										76 /	45.0	0.0	泥水8	0	0		
				アプライト 褐灰	IVg ag		2	花崗斑岩。上位との境界傾斜50度。深度187.52~200.00m: 花崗斑岩。径3~5mmの石英斑晶と径10mm程度のカリ長石及び径2~3mmの黒雲母の斑晶を60%程度含み、石基は径0.5mm程度で、組織は全体に均質である。	0	100	OM	[CL]											165 /	55.0	0.0	泥水7	0	0	
					IVg ag		2	深度188.38~188.55m: 変質帯。傾斜79度の節理に沿って変質。岩片脆い。	0	100	OM	[CL]											166 /	55.0	0.0	泥水7	0	0	
				アプライト 褐灰	IVg ag		2	深度190.25~191.50m: 高角度な節理発達。	0	100	OM	[CL]											182 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2	深度195.85~200.00m: 変質帯。上盤76度。灰白色粘土細脈が網目状に入る。	0	100	OM	[CL]											182 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
				アプライト 褐灰	IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0
					IVg ag		2		0	100	OM	[CL]											170 /	40.0	170	0.0	泥水8	0	0

柱状図(180.00m~200.00m)



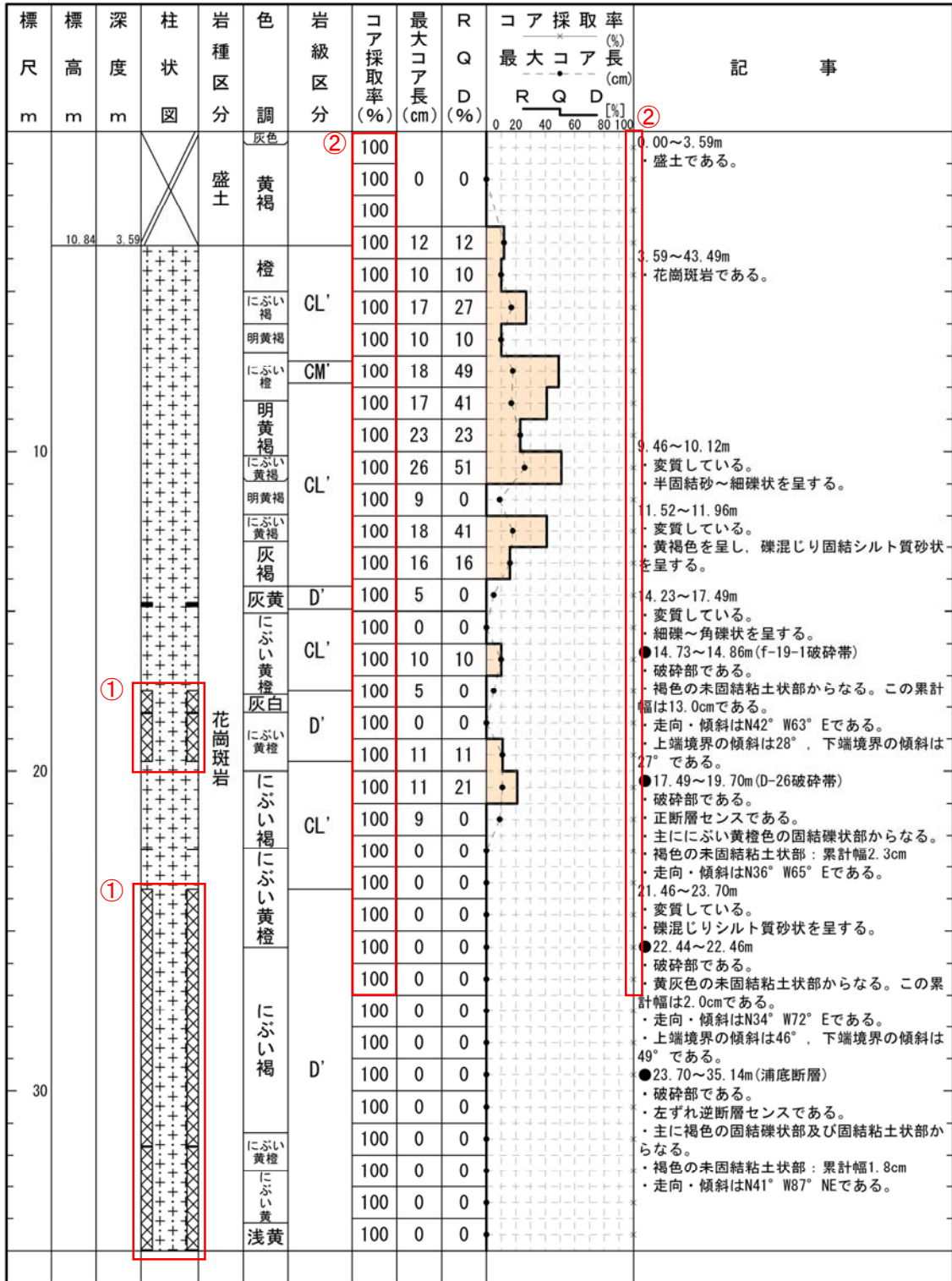
1-33(分類a)①
誤記。
1-35(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 19

柱状図(0.00m~35.00m)

H19—No. 19

孔 口 標 高	T. P.	14. 21m	掘 削 長	170. 00m
---------	-------	---------	-------	----------

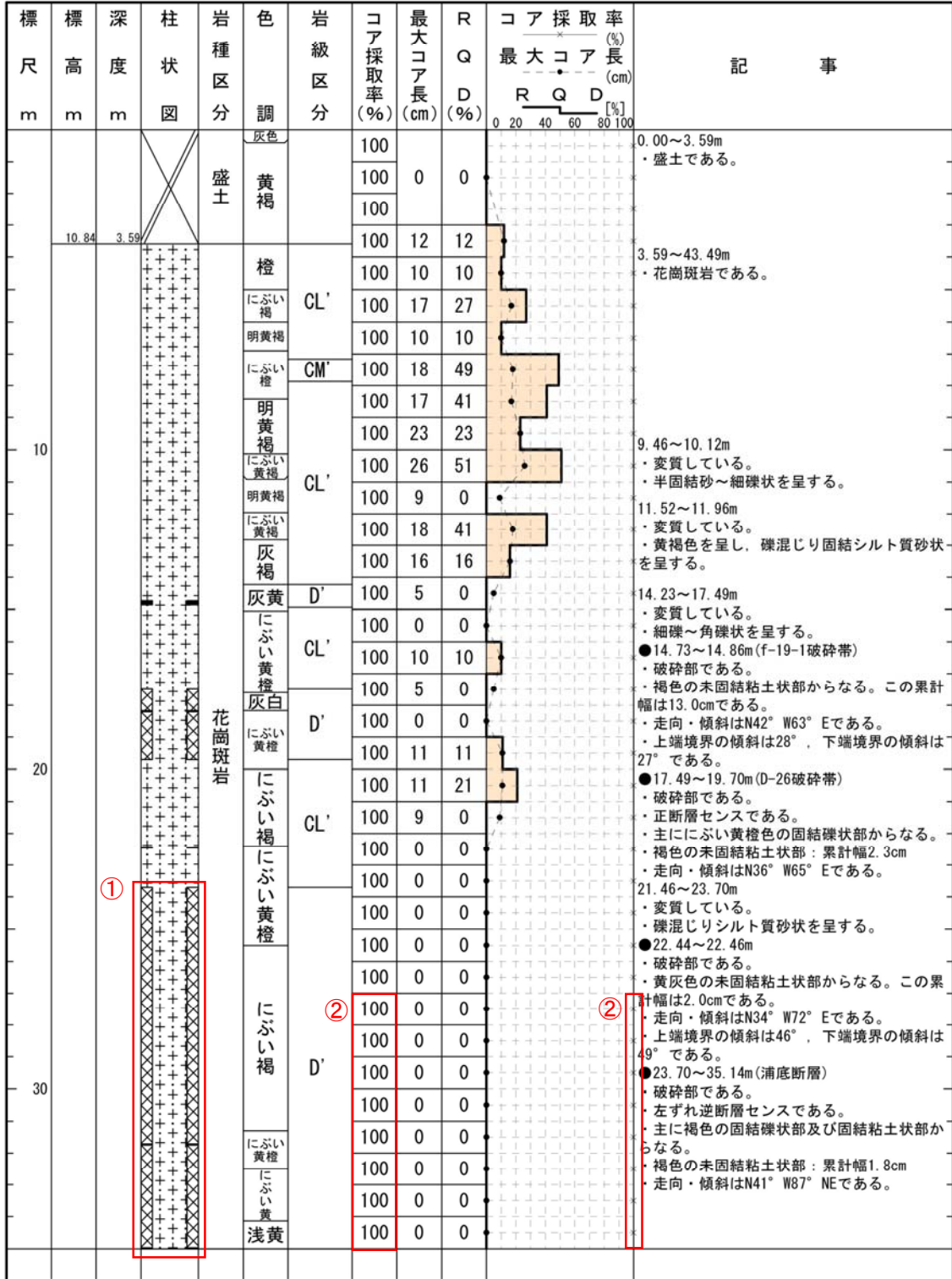


1-47, 1-48 (分類d) ①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-49 (分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(0.00m~35.00m)

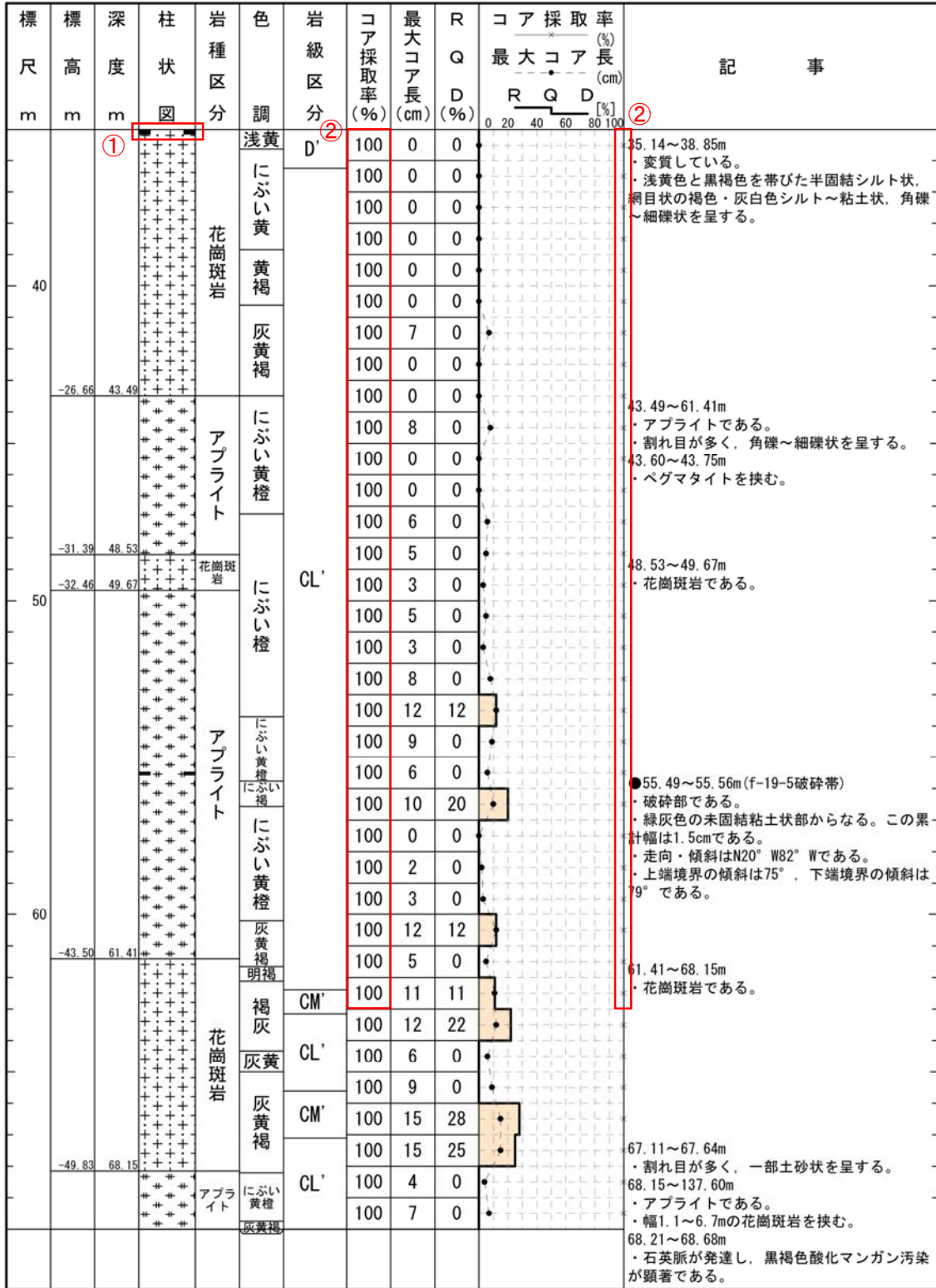
H19-No. 19

孔 口 標 高	T. P.	14. 21m	掘 削 長	170. 00m
---------	-------	---------	-------	----------



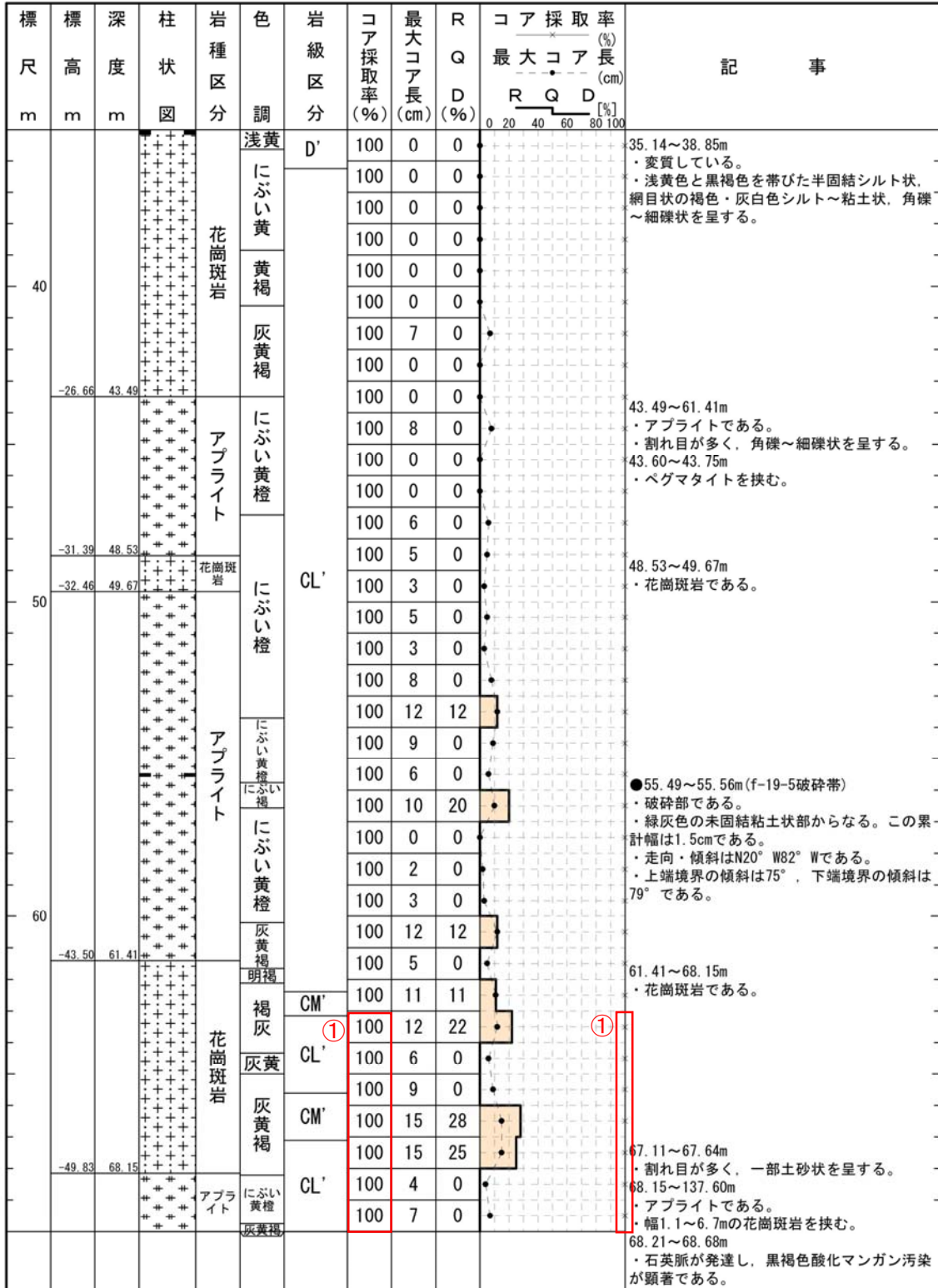
- 1-48(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-49(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(35.00m～70.00m)



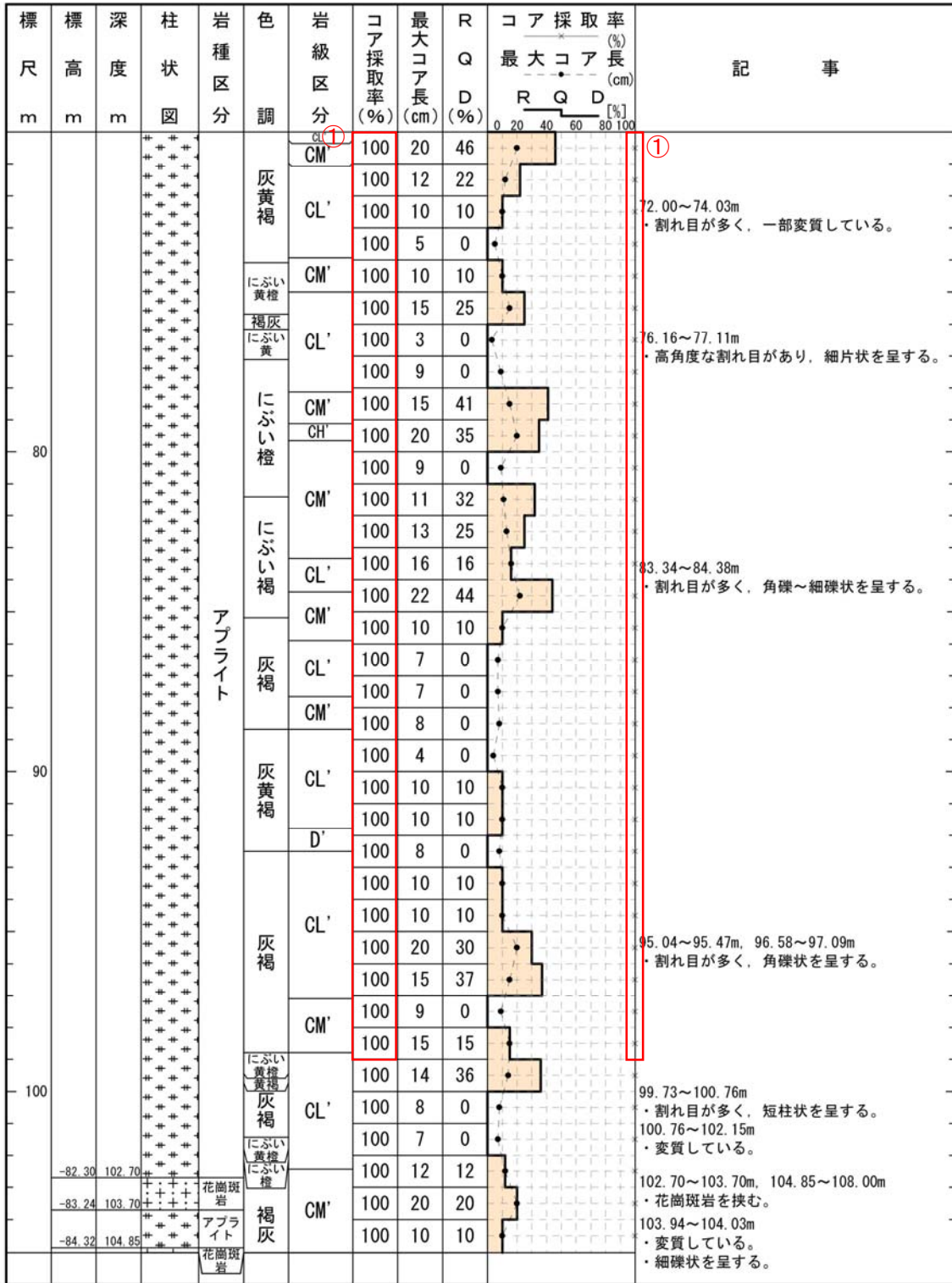
1-48(分類d)①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
 1-49(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(35.00m～70.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

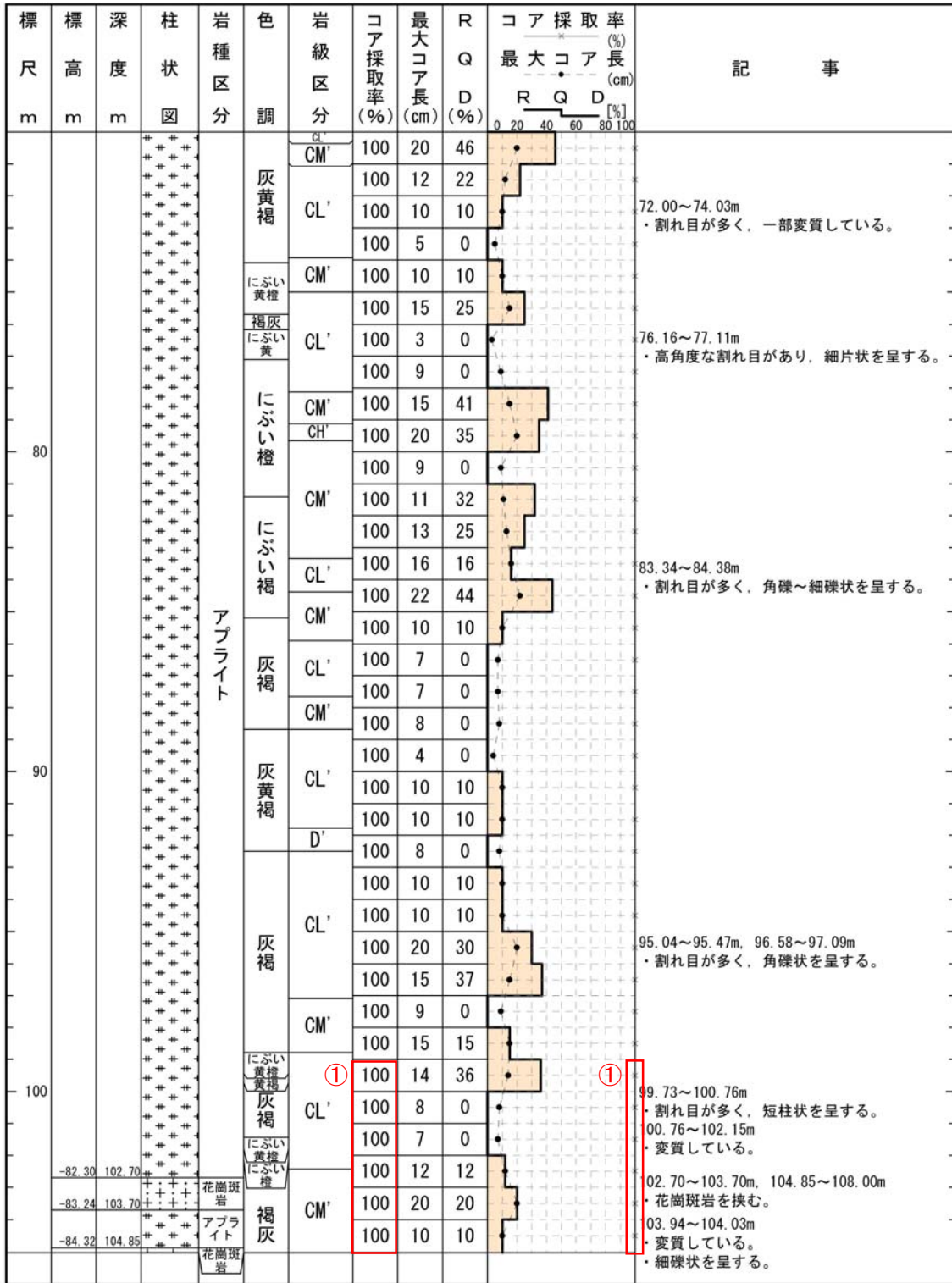
柱状図(70.00m～105.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

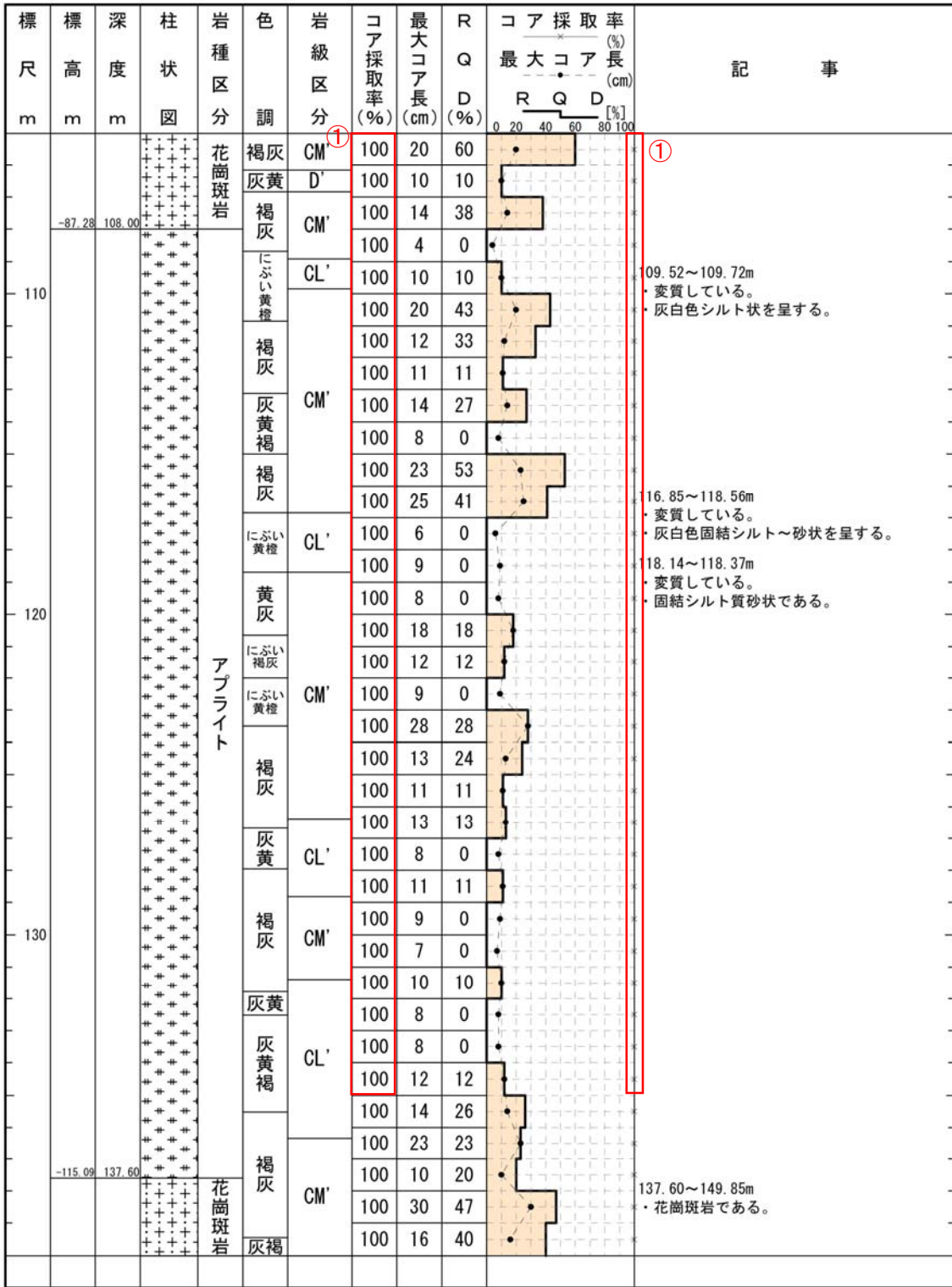
標尺	標高	深度	柱状	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D └─ [%]	岩盤区分	岩盤分類	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																																																																							
															(N 値 ~ 深度)																																																																																				
100		-82.30 ~ 102.70	+	アプライト	灰褐	Dg	cg	γ	3	深度99.73~100.76m: 節理多く、一部変質により軟質化する。	0	CL	[CL]		0	10	20	30	40	50																																																																															
																																12	27	02.70	82	ダブルコアチューブ/ダイヤビット	35.0	100	0.0	泥水5	0																																																										
																																83.24	103.70		113																																																																
																																84.32	104.85		84																																																																
																																87.28	108.00		94																																																																
																																110		-82.30 ~ 102.70	+							アプライト	灰黄	Vg	cg	δ	3	深度106.16m: シーム、傾斜28度。幅1~2mmの褐色粘土状。	0	D'																																																	
																																																																					12	27	02.70	82																											
																																																																					83.24	103.70		113																											
																																																																					84.32	104.85		84																											
																																																																					87.28	108.00		94																											
																																																																					120		-82.30 ~ 102.70	+	アプライト	灰黄	Vg	cg	δ	3	深度106.16~106.84m: 変質帯。上盤28度、下盤45度。灰黄色を呈しやや軟質。	0	D'																		
83.24	103.70		113																																																																																																
84.32	104.85		84																																																																																																
87.28	108.00		94																																																																																																
130		-82.30 ~ 102.70	+	アプライト	灰黄	Vg	cg	δ	3	深度106.16~106.27m: 凝滞じり砂質シルト状。	0	D'																																																																																							
																															12					27	02.70	82																																																													
																															83.24	103.70		113																																																																	
																															84.32	104.85		84																																																																	
																															87.28	108.00		94																																																																	

柱状図(70.00m～105.00m)



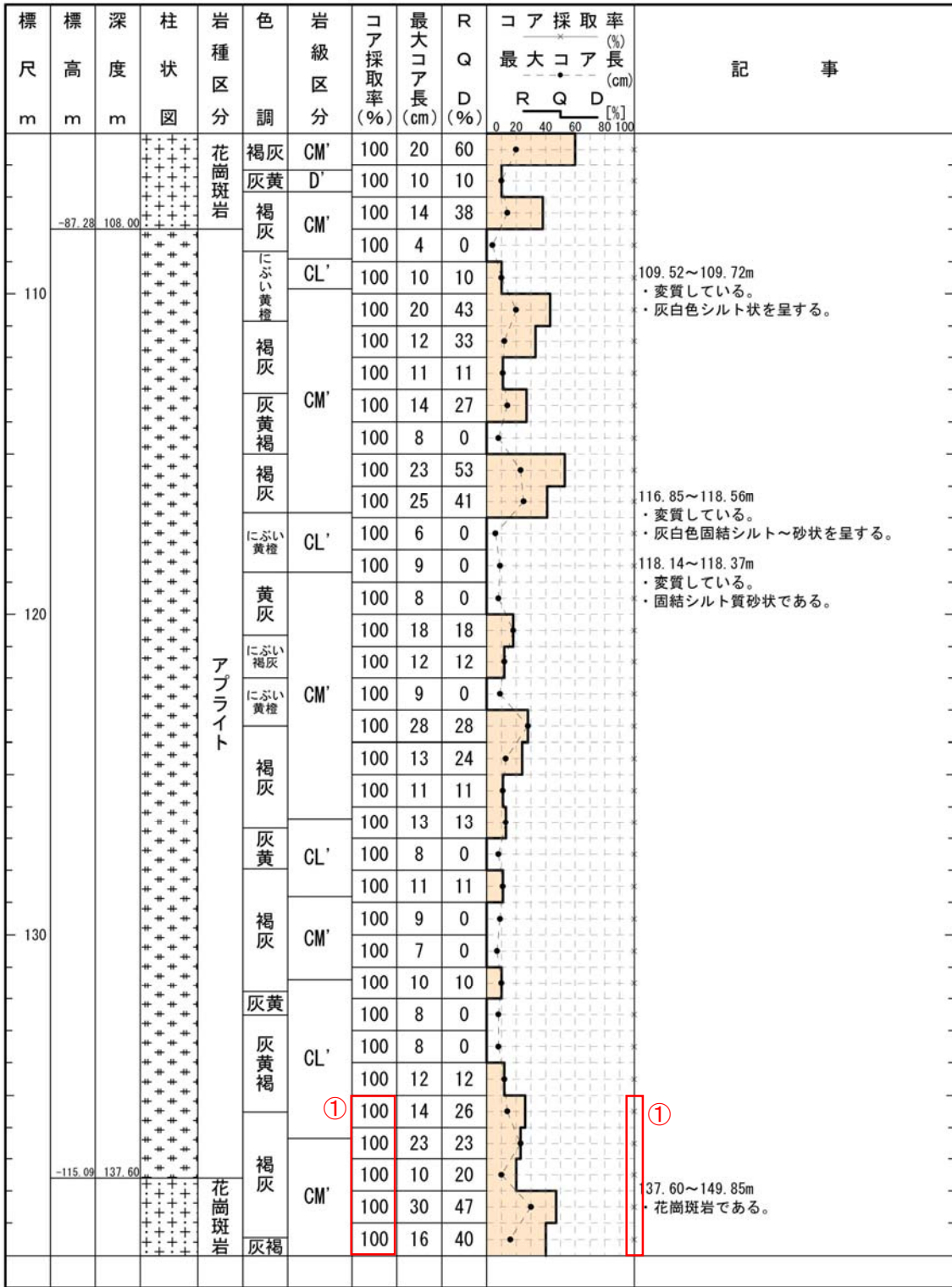
1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(105.00m～140.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

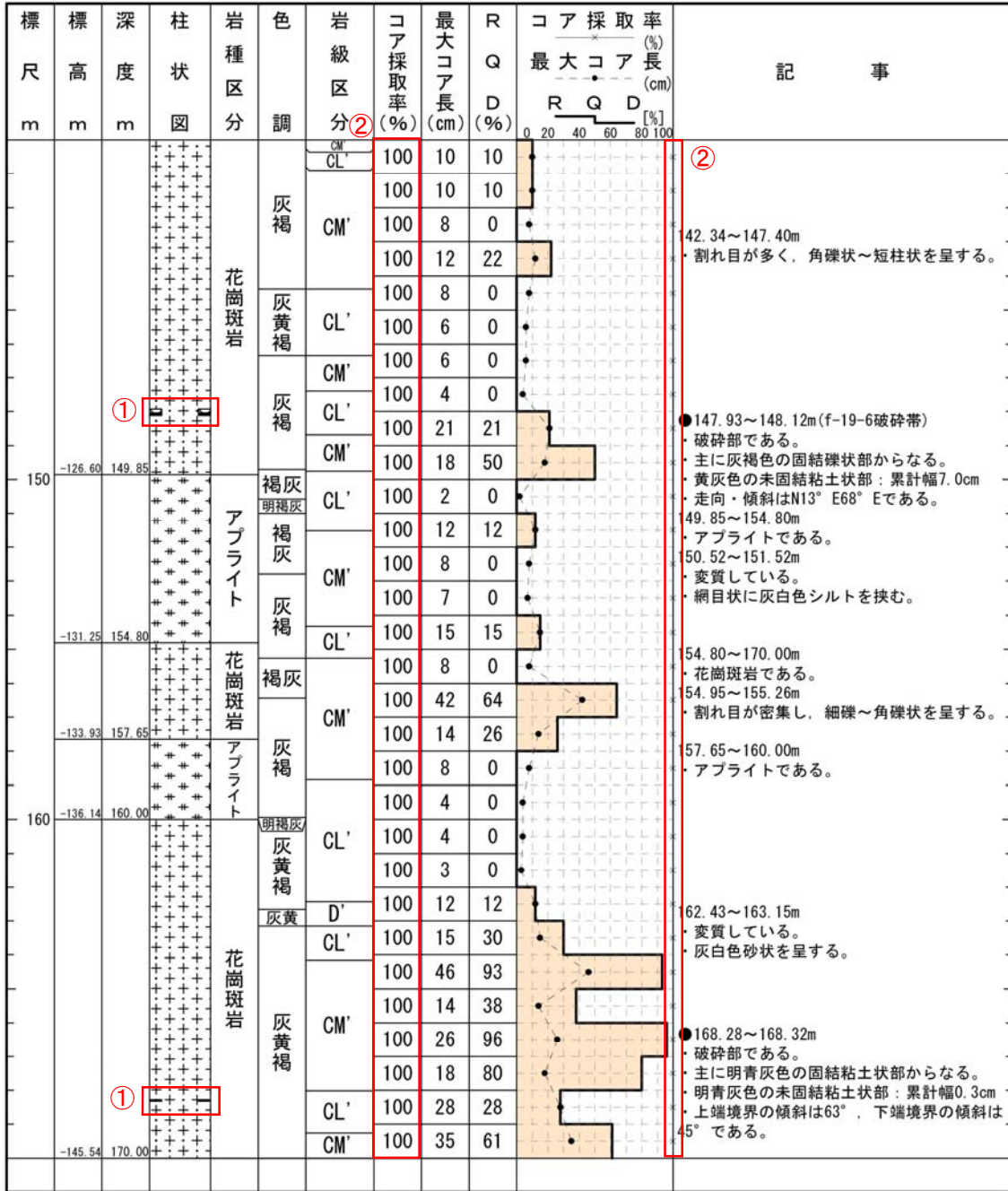
柱状図(105.00m～140.00m)



1-49(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	岩質	岩盤区分	孔内水位(測定月日)	(標準貫入試験)試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (MPa)	送水量 (MPa)	排水量 (MPa)								
															(N値~深度)																			
				アプライト	Dg	cg							CL		0	10	20	30	40	50														
		115.09	137.60	花崗斑岩	Dg	cg					深度136.26~136.34m: 砂質シルト状。褐色粘土を挟む。		CL																					
		140		花崗斑岩	Dg	cg					花崗斑岩。上位との境界傾斜28度。深度137.60~149.85m: 花崗斑岩。径2~10mmの石英及び径1~2mmの長石。黒雲母の斑晶を1~10%程度含み。石基は径0.1mm以下である。深度139.23~138.46m: 傾斜60~70度の節理多く。変質により珪化し、節理に灰白色粘土挟む。		OM																					
				花崗斑岩	Dg	cg					深度140.26~140.80m: やや変質を受け節理多く軟質。深度140.26mに幅3~10mmの灰白色シルトを挟む。		CL																					
				花崗斑岩	Dg	cg					深度141.95~142.34m: やや変質を受け節理多く軟質。深度142.34mに桃白色シルトを挟む。深度142.34~144.38m: 傾斜0~30度の低角度な節理が多い。		OM																					
				花崗斑岩	Dg	cg					深度144.38~146.35m: 全体に節理多く、角礫~細礫状をなす。		CL																					
				花崗斑岩	Dg	cg					深度146.35~147.40m: 節理の多い硬質な花崗斑岩。傾斜60度程度の節理主体。		OM																					
				花崗斑岩	Dg	cg					深度147.93~148.05m: 破砕帯(Hb)。傾斜37度。幅120mm。灰褐色礫混じりシルト質砂状。深度148.05~148.12m: 破砕帯(Hc)。傾斜37度。幅70mm。灰色粘土と灰黄色粘土の互層状。アプライト。上位との境界傾斜48度。深度150.52~151.52m: 変質帯。上盤15度。下盤29度。網目状に灰白色シルトを挟む。深度150.58m: シーム。傾斜51度。幅3~7mmの褐色粘土を挟む。深度151.39m: シーム。傾斜53度。幅3mmの褐色粘土を挟む。		CL																					
		126.60	149.85	花崗斑岩	Dg	cg					花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度154.80~170.00m: 花崗斑岩。厚さ2.3m程度のアプライトを挟む。花崗斑岩は、径2~3mmの石英、長石、黒雲母の斑晶を10%程度含み、石基は径0.1mm以下で、組織は全体に不均質である。深度154.95~155.26m: 節理密集し、細礫~角礫状をなす。節理に灰白色シルトを挟む。アプライト。上位との境界傾斜44度。下位との境界不明瞭。深度159.13m: シーム。傾斜60度。幅1~2mmの褐色粘土状。		CL																					
		131.25	154.80	花崗斑岩	Dg	cg					深度161.49~161.55m: 幅50~90mmの灰黄色シルト混じり砂・礫状。破砕帯の会合部の可能性あり。深度162.43m: シーム。傾斜20度。幅1mmの褐色粘土を挟む。深度162.43~163.15m: 変質帯。灰白色砂状。深度162.52m: 傾斜10度のマンガン脈が正断層的に0.5cmずれる。条線方向は10度左。深度163.15m: シーム。傾斜57度。幅2~3mm。白色粘土状。深度163.92~168.02m: 高角度な密着した節理主体。開口した節理少ない。		CL																					
		133.93	157.60	花崗斑岩	Dg	cg					深度168.28~168.32m: 破砕帯(Hc)。上盤65度。下盤45度。幅20~30mm。礫混じりシルト状~砂質シルト状。深度168.84~168.88m: 幅23~40mm。桃色シルト混じり砂状。		CL																					
		136.14	160.00	花崗斑岩	Dg	cg							CL																					
		145.54	170.00	花崗斑岩	Dg	cg							CL																					

柱状図(140.00m～170.00m)



1-50, 1-51(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
1-49(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.												
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No. 8		調査位置										北緯		
発注機関										調査期間				東経	
調査業者名							主任技師				現場人	コ定者			ボーリング責任者
孔口標高	+ 19.14	m	角	180° 上	方	北 0° 西 270°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機	ハンマー落下用具				
総掘削長	200.00	m	度	90° 下	向	東 90° 南 180°	60°	60°	エンジン	ポンプ					

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	色硬軟	割れ目形状	風化	変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩級 区分	岩盤区分	孔内水位(測定月日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) ／孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (KN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)										
													N 値	深度																								
19.07	0.08	19.07	粘土	硬				細～中粒砂と腐植混じり砂質シルトの互層。木炭が点在する。																														
18.94	0.23	18.94	粘土	硬																																		
18.78	0.42	18.78	粘土	硬																																		
18.62	0.60	18.62	粘土	硬																																		
17.98	1.34	17.98	腐植層	軟				中～粗粒砂。木炭が1%程度含む。																														
17.33	2.09	17.33	中砂	軟				木炭が点在する。																														
16.67	2.85	16.67	粗砂	軟				塊状。																														
15.68	4.00	15.68	細砂	軟				粗粒砂が混じる。																														
14.91	4.89	14.91	砂礫	軟				径0.2～6cmの亜角礫を含む。																														
14.46	5.40	14.46	砂礫	軟				粗粒砂が混じる。																														
13.08	7.00	13.08	砂礫	軟				礫は径0.2～26cm。亜角～角礫。礫種は花崗斑岩。アブライト。基質はシルト混じり細～中粒砂。																														
8.81	11.93	8.81	砂礫	軟				深度0.56～8.60m: 土壌を挟む。																														
4.07	17.40	4.07	花崗斑岩	硬			6	深度11.93～61.10m: 花崗斑岩。厚さ0.4～2.0mの黒雲母花崗岩を挟む。花崗斑岩は、径5～10mm程度の石英、カリ長石、一部斜長石、径1～2mmの黒雲母の珎身を10～30%程度含む、石英は径0.1mm程度である。深度13.02～13.16m: 長石の粘土化著しい。深度13.10～13.16m: 幅6cm。軟質化。深度13.34～13.61m: 長石の粘土化著しい。深度15.26m: 傾斜32～16度。幅30mm砂礫状。深度15.41m: 傾斜32～38度。幅30mm砂礫状。深度15.81m: 石英脈。傾斜69度。幅5～10mm。深度16.43～17.80m: 長石が変質。黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜64度。深度18.30～20.00m: 長石が変質。																														
2.08	19.70	2.08	黒雲母花崗岩	硬																																		
			淡橙 浅黄橙	硬				花崗斑岩。上位との境界傾斜57度。																														
			黄橙	硬				深度20.10～20.16m: 幅40mm。シルト混じり砂礫状。幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。																														
			花崗斑岩	硬																																		
			花崗斑岩	硬				深度23.40～23.55m: 酸化マンガンが細脈網目状に入る。深度23.82～23.90m: 節理に酸化マンガンを挟む。																														
			花崗斑岩	硬				深度25.40～25.90m: 変質を受け、節理に沿って灰白色粘土を挟む。																														

H19—No. 8

柱状図(0.00m~35.00m)

H19—No. 8

孔 口 標 高	T.P. 19.14m	掘 削 長	200.00m
---------	-------------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	19.14	0.00											
	17.33	2.09		⑧	黒褐色 赤褐色 灰白	⑨	100						0.00~0.42m ・細~中粒砂と有機質土混じり砂、砂質シルトの互層である。 ・炭化木が点在する。
	16.67	2.85		⑧	褐灰 明赤褐色 にふい 黄褐色 斑状に 擦		100						0.42~2.09m ・中~粗粒砂である。 ・炭化木を含む。
	14.91	4.89		⑧	砂質シルト		100						2.09~2.85m ・砂質シルトである。 ・炭化木が点在する。
	14.46	5.40		⑧	砂		100						2.85~4.89m ・細~粗粒砂である。
	13.08	7.00		⑦	砂礫 礫混じり砂		100						4.89~5.40m ・砂礫である。 ・径0.2~6cmの亜角礫を含む。
10	8.81	11.93		⑧	にふい 黄褐色		100						5.40~7.00m ・礫混じり砂である。
						橙	100						7.00~11.93m ・砂礫である。 ・礫は径0.2~26cm、亜角~角礫、礫種は花崗斑岩、アブライトである。
	4.07	17.40			にふい 黄褐色 にふい 橙	花崗斑岩	CL'	100	22	37			8.56~8.60m ・土壌を挟む。
					にふい 黄褐色		CM'	100	45	89			11.93~29.32m ・花崗斑岩である。
					にふい 橙		CL'	100	14	14			13.02~13.16m, 13.34~13.61m ・長石の粘土化が著しい。
					浅黄橙		CL'	100	30	47			15.81m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。
	2.08	19.70			橙 淡橙	黒雲母 花崗岩	CM'	100	25	25			17.40~19.70m ・黒雲母花崗岩である。
20					浅黄橙		CL'	100	36	81			19.70~27.62m ・花崗斑岩である。
					黄橙		CL'	100	28	74			20.10~20.16m ・幅40mmのシルト混じり砂礫状、幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。
					にふい 黄褐色	花崗斑岩	CL'	100	54	100			23.40~23.55m ・酸化マンガンが細脈網目状に入る。
					にふい 橙		CL'	100	24	70			23.82~23.90m ・割れ目に酸化マンガンを挟む。
					にふい 黄褐色		CL'	100	35	84			
					にふい 黄褐色		CL'	100	65	65			
					にふい 黄褐色 明黄褐色		CL'	100	35	45			
	-4.78	27.62				ベグマ タイト アブラ	CM'	100	20	40			27.62~27.70m ・ベグマタイトである。
	-5.20	28.11					CM'	100	24	47			27.70~28.11m ・アブライトである。
								10	10				27.92m ・幅2cmのベグマタイト脈を挟む。
								14	42				29.32~30.40m ・黒雲母花崗岩である。
								6	0				30.40~33.45m ・花崗斑岩である。 ・割れ目に沿って灰白色粘土を挟む。
								10	20				・斜長石が緑灰色に変質している。
								16	50				33.45~34.56m ・黒雲母花崗岩である。
													34.56~37.57m ・花崗斑岩である。

- 1-55, 1-59(分類c)④
岩種区分の”粗砂”を消去したため。
(性状が近いものを丸めたため)
- 1-56(分類c)⑤
幅8cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたのに伴い、表土下端の深度の表示がなくなったもの。
- 1-60(分類c)⑥
幅8cmの表土区間は、柱状図で表示すると見づらくなることから、下位層と一括表示することとしたのに伴い、表土区間の図模様の表示がなくなったもの。
- 1-61, 1-65(分類c)⑦
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-62~1-64, 1-66~1-73(分類c)⑧
性状が近いものを丸めたため。
- 1-74(分類b)⑨
報告書の記載漏れを修正したため。

H19—No. 8

柱状図(0.00m~35.00m)

H19—No. 8

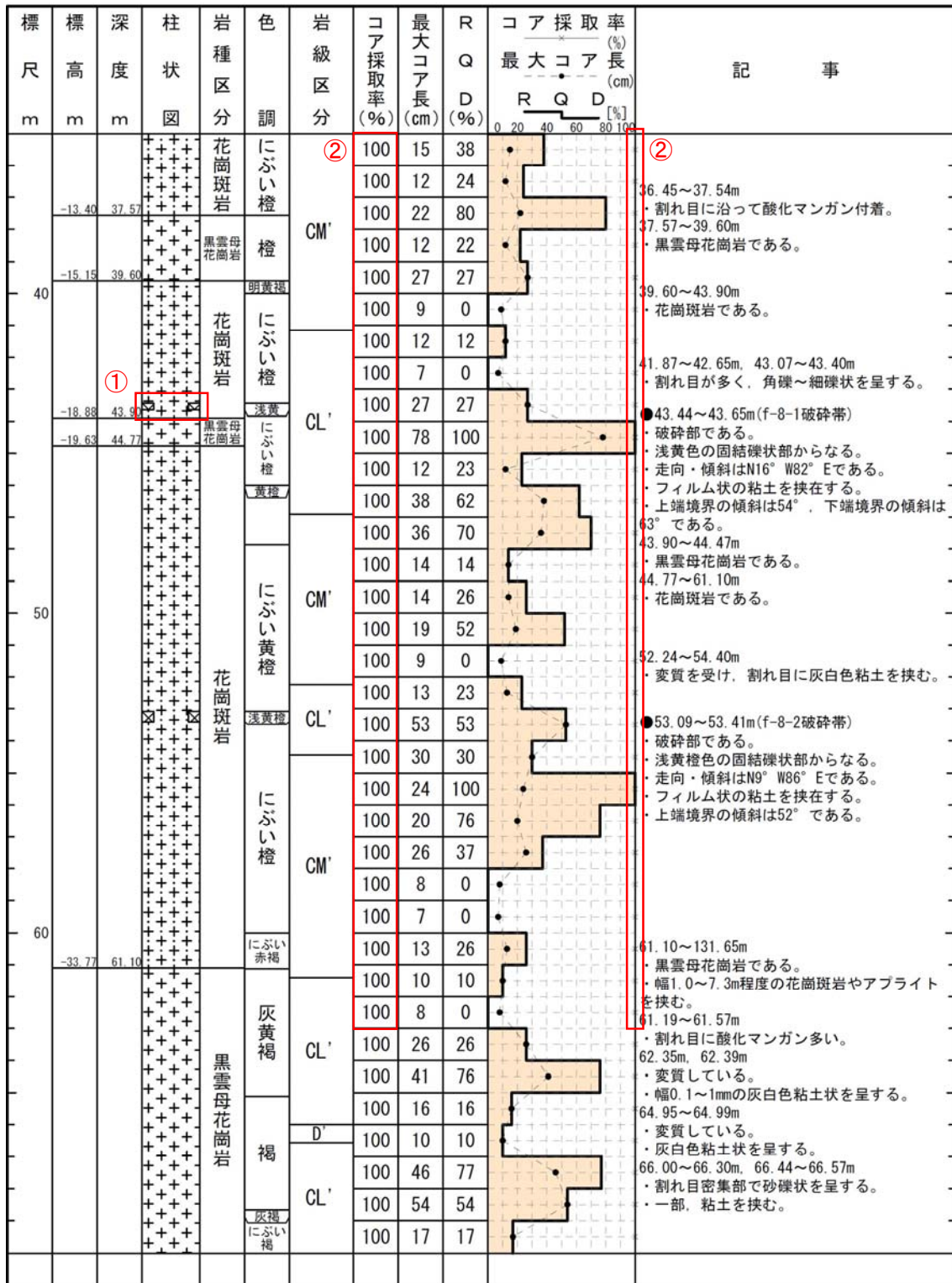
孔 口 標 高	T.P. 19.14m	掘 削 長	200.00m
---------	-------------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	18.98	0.27		有機質土混じり砂	黒褐赤褐		100						0.00~0.42m ・細~中粒砂と有機質土混じり砂、砂質シルトの互層である。 ・炭化木が点在する。
	18.71	0.47		砂質シルト	褐灰白		100						0.42~2.09m ・中~粗粒砂である。 ・炭化木を含む。
	16.67	2.85		砂	明赤褐にふい		100						2.09~2.85m ・砂質シルトである。 ・炭化木が点在する。
	14.91	4.89		砂	明赤褐にふい		100						2.85~4.89m ・細~粗粒砂である。
	14.46	5.40		砂	明赤褐にふい		100						4.89~5.40m ・砂礫である。 ・径0.2~6cmの垂角礫を含む。
	13.08	7.00		砂礫	にふい		100						5.40~7.00m ・礫混じり砂である。
10	8.81	11.93		砂礫	にふい		100						7.00~11.93m ・礫は径0.2~26cm、垂角~角礫、礫種は花崗斑岩、アブライトである。
	4.07	17.40		花崗斑岩	にふい	CL'	100	22	37				8.56~8.60m ・土壌を挟む。
				花崗斑岩	にふい	CM'	100	45	89				11.93~29.32m ・花崗斑岩である。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	14	14				13.02~13.16m, 13.34~13.61m ・長石の粘土化が著しい。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	30	47				15.81m ・幅5~10mmの石英脈を挟む。
				黒雲母花崗岩	淡橙	CM'	100	25	25				17.40~19.70m ・黒雲母花崗岩である。
20	2.08	19.70		花崗斑岩	黄橙	CL'	100	36	81				19.70~27.62m ・花崗斑岩である。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	28	74				20.10~20.16m ・幅40mmのシルト混じり砂礫状、幅10mmの礫混じり褐色粘土を挟む。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	54	100				23.40~23.55m ・酸化マンガンが細脈網目状に入る。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	24	70				23.82~23.90m ・割れ目に酸化マンガンを挟む。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	35	84				
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	65	65				
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	35	45				
				花崗斑岩	明黄褐	CM'	100	20	40				
	-4.78	27.62		ベグマタイト	にふい	CM'	100	24	47				27.62~27.70m ・ベグマタイトである。
	-5.20	28.11		アブライト	にふい	CM'	100	20	34				27.70~28.11m ・アブライトである。
	-6.25	29.32		花崗斑岩	にふい	CL'	100	10	10				27.92m ・幅2cmのベグマタイト脈を挟む。
	-7.19	30.40		黒雲母花崗岩	にふい	CL'	100	14	42				29.32~30.40m ・黒雲母花崗岩である。
				花崗斑岩	にふい	CL'	100	19	34				30.40~33.45m ・花崗斑岩である。
	-9.83	33.45		黒雲母花崗岩	にふい	CM'	100	6	0				・割れ目に沿って灰白色粘土を挟む。 ・斜長石が緑灰色に変質している。
	-10.79	34.56		花崗斑岩	にふい	CM'	100	10	20				33.45~34.56m ・黒雲母花崗岩である。
				花崗斑岩	にふい	CM'	100	16	50				34.56~37.57m ・花崗斑岩である。

1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	割れ目の形状	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	(標準貫入試験) 試験					室内試験 原位置試験 (孔内水平載荷)	掘進 掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コブ コブ径 (mm)	送水 送水圧 (MPa)	送水 送水量 (l / 分)	排水 排水量 (l / 分)
											N 値 ~ 深度											
30	-4.78	27.62	花崗斑岩	Cg	III g				深度27.62~27.70m: ベグマタイト。上位との境界傾斜20度。	24	0	103	9/25 33,50	103	30.0	100	0.0	泥水5	5			
	-4.85	27.70	花崗斑岩	Bg	IV g			深度27.92m: ベグマタイト脈。傾斜20度。幅2cm。	26	0												
	-5.20	28.11	花崗斑岩	Cg	III g	bg		黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜40度。	26	0												
	-6.25	29.32	花崗斑岩	Cg	IV g			花崗斑岩。上位との境界不明瞭。深度30.70~31.45m: 変質を受け、節理に沿って灰白色粘土を挟む。深度31.46~33.91m: 斜長石が緑灰色に変質している。	15	0												
	-7.19	30.40	花崗斑岩	Dg	IV g			黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜37度。	14	0												
	-9.83	33.45	花崗斑岩	Cg	III g	cg		花崗斑岩。上位との境界傾斜16度。	15	0												
	-10.79	34.56	花崗斑岩	Cg	IV g			黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜45度。	15	0												
	-13.40	37.57	黒雲母花崗岩	Bg	IV g			深度36.45~37.54m: 節理に沿って酸化マンガン付着。	15	0												
	-15.15	39.60	黒雲母花崗岩	Cg	III g			黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜45度。深度38.28m: 傾斜62度の節理に沿って上盤側が幅10mm軟質劣化。深度38.28~38.54m: 斜長石が緑灰色に変質している。	15	0												
	-18.88	43.90	花崗斑岩	Bg	IV g	bg		花崗斑岩。上位との境界傾斜ほぼ水平。	12	0												
40	-19.63	44.77	花崗斑岩	Dg	IV g			深度41.87~42.65m: 節理が多く、角礫~細礫状。深度43.07~43.40m: 節理が多く、角礫~細礫状。	12	0	107	9/26 40,50	107	50.0	150	0.0	泥水5	3				
	-19.63	44.77	花崗斑岩	Dg	IV g			深度43.44~43.65m: 破砕帯 (Hb)。上盤54度。下盤63度。全体幅100mmシルト混じり砂礫状。礫径は7mm以下。下盤側幅20mm硬質灰白色粘土状。黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜70度。下位との境界傾斜37度。	12	0												
	-46.22	46.92	花崗斑岩	Cg	IV g			深度48.62~48.79m: 節理が多い。	12	0												
	-48.41	48.11	花崗斑岩	Cg	III g			深度51.04~51.06m: 傾斜11~33度。砂状を呈する。深度51.19~51.23m: 傾斜44~71度。砂礫状を呈する。深度52.24~54.40m: 変質を受け、節理に灰白色粘土を挟む。	12	0												
	-52.24	52.24	花崗斑岩	Cg	IV g	bg		深度53.09~53.29m: 破砕帯 (Hj)。上盤52度。下盤62度。全体幅200mm。傾斜約60度の面構造発達。深度53.29m: 傾斜62度。幅2~3mm。褐色粘土状。直線的でシャープな面。深度53.29~53.41m: 破砕帯 (Hj)。傾斜約60度の面構造発達。正断層の変位センスあり。深度55.00~59.20m: 弱風化している。深度56.15~56.18m: 節理が多い。	12	0												
	-56.24	56.24	花崗斑岩	Dg	IV g			深度57.05~57.21m: 変質のためやや軟質。	12	0												
	-58.24	58.24	花崗斑岩	Cg	IV g	bg		深度58.00m: 酸化マンガン脈。傾斜62度。幅0.1~0.2mm。深度58.95~59.36m: 節理が多い。	12	0												
	-61.51	61.51	黒雲母花崗岩	Cg	IV g			黒雲母花崗岩。上位との境界不明瞭。深度61.10~131.65m: 黒雲母花崗岩。厚さ1.0~7.3m程度の花崗斑岩やアブライトを挟む。黒雲母花崗岩は、径5~10mm程度の石英、カリ長石一部斜長石の斑晶と径2~3mm程度の黒雲母の斑晶からなる。深度61.19~61.57m: 節理に酸化マンガン多い。	12	0												
	-63.06	63.06	黒雲母花崗岩	Dg	IV g				12	0												
	-63.06	63.06	黒雲母花崗岩	Dg	IV g				12	0												

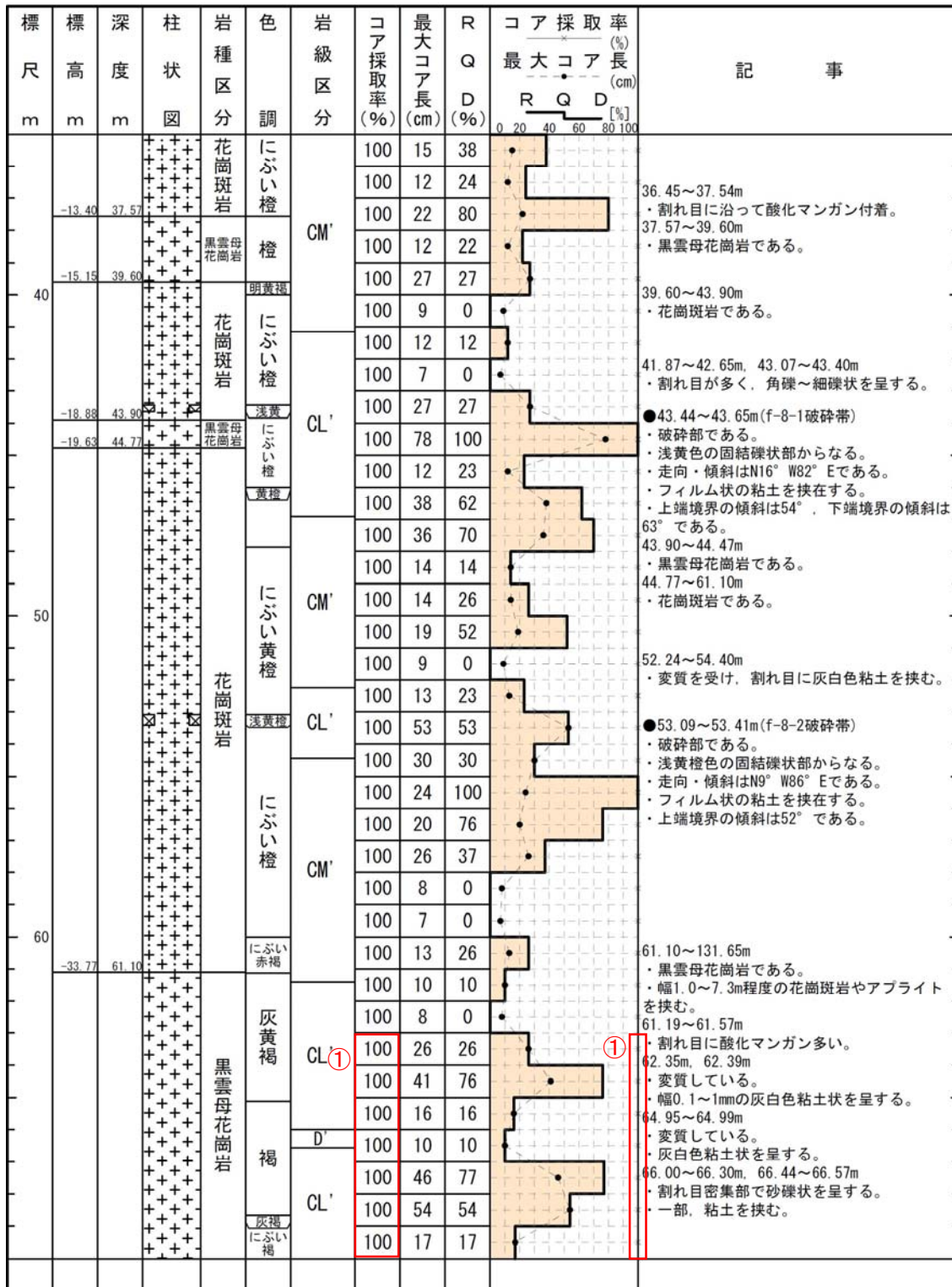
柱状図(35.00m～70.00m)



- 1-75(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目状態	風化	変質	記	事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平応荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)									
																	N 値 ~ 深度																								
70	48.46	78.06		黒雲母花崗岩	灰黄褐	Dg	IIg	bg			2	深度62.35m~62.39m: シーム。幅0.1~1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。 深度64.95~64.99m: 変質帯。上盤55度。下盤62度。全体幅20~30mm。灰白色粘土状。 深度66.00~66.30m: 節理密集部で砂礫状をなす。一部粘土を挟む。 深度66.44~66.57m: 砂礫状部。	CL [*]			66.06			9/30	104				9/30																	
				黒雲母花崗岩	褐	Dg	IIg	bg			2																														
				黒雲母花崗岩	にぶい褐	Dg	IIg	bg			2																														
				黒雲母花崗岩	灰褐	Dg	IIg	bg			2																														
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	Eg	VIg	cg			3																														
	49.88	79.70		花崗斑岩	にぶい橙	Dg	IIIg	bg			2																														
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	Dg	IIIg	cg			3																														
	62.74	83.00		黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	Dg	IIg	cg			2																														
				花崗斑岩	浅黄	Dg	IIg	bg			2																														
				花崗斑岩	浅黄橙	Dg	IIg	cg			3																														
	69.11	90.35		黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				花崗斑岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
	61.53	93.15		黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				花崗斑岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
	62.33	94.07		黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2																														
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IVg	cg			2																														

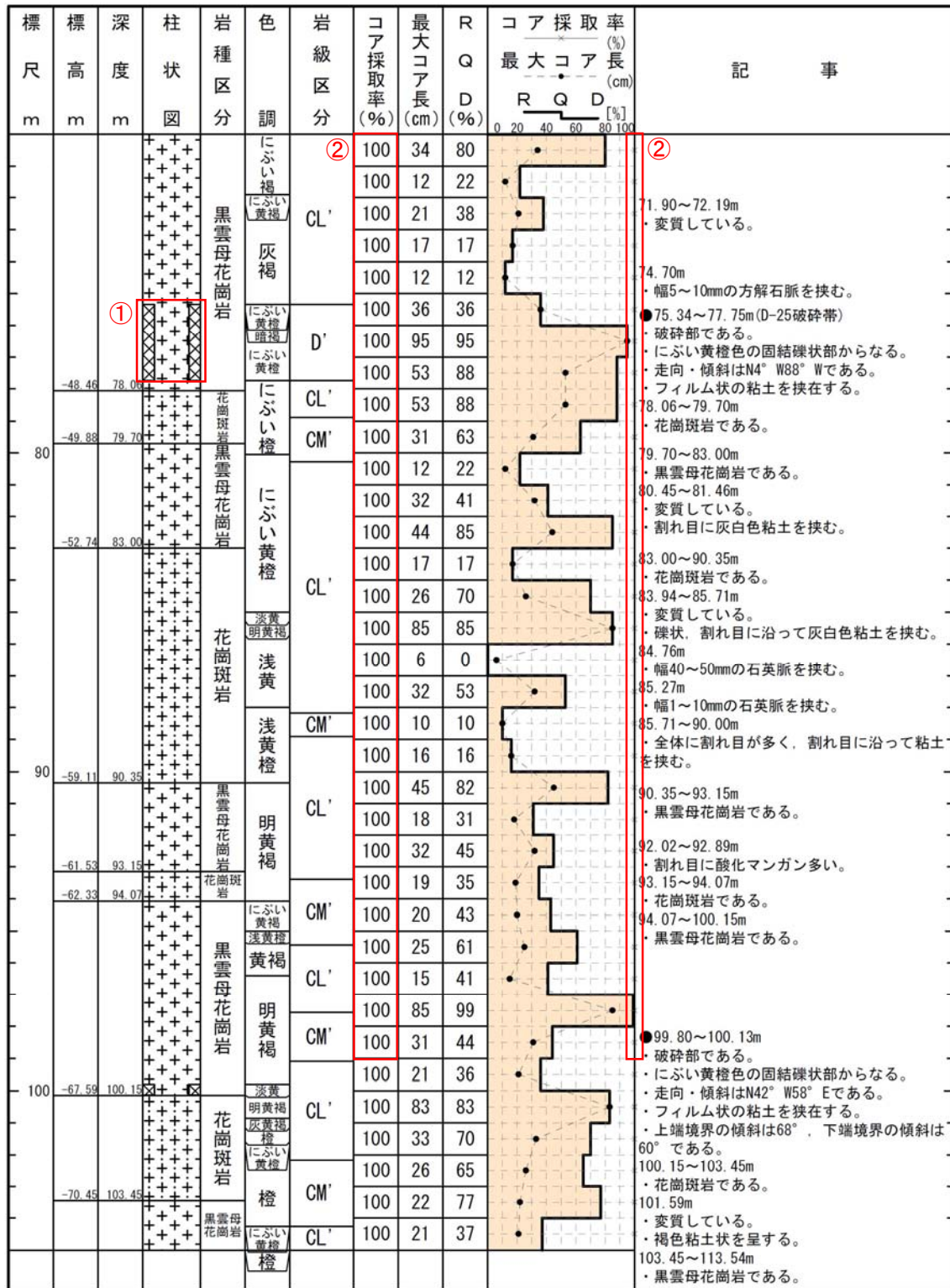
柱状図(35.00m～70.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記	事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級分類	孔内水位(測定月日) (N) 値	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平応荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)			
																	N 値 ~ 深度														
70				黒雲母花崗岩	灰黄褐	Dg	IIg	bg			2	深度62.35m ~ 62.39m: シーム。幅0.1~1mmの灰白色粘土状。逆断層のセンスあり。 深度64.95~64.99m: 変質帯。上盤55度。下盤62度。全体幅20~30mm。灰白色粘土状。 深度66.00~66.30m: 節理密集部で砂礫状をなす。一部粘土を挟む。 深度66.44~66.57m: 砂礫状部。	0 50 100	CL'			0 10 20 30 40 50		9 / 30 65.00	104											
80				黒雲母花崗岩	灰褐	Dg	IIg	bg			2	深度71.90~72.19m: 変質帯。上盤14度。下盤30度。原岩組織は不明瞭。一部砂状。 深度74.70m: 方解石脈。傾斜55度。幅5~10mm。 深度75.34~77.75m: 破砕帯 (Hb)。上盤48度。下盤89度。一部に灰白色粘土幅1~10mm。褐色粘土幅0.1~1mmを挟む。非対称変形構造からみかけ正断層の変位センスあり。	0 50 100	CL'			10 / 3 77.60	89													
90				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	Eg	VIg	cg			3	花崗斑岩。上位との境界波打つ。 黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜54度。 深度80.45~81.46m: 変質帯。上盤72度。下盤42度。節理に灰白色粘土を挟む。	0 50 100	CL'			10 / 5 80.10	81													
																														10 / 6 83.10	82
				黒雲母花崗岩	にぶい黄橙	Dg	IIg	cg			2	花崗斑岩。上位との境界傾斜20度。 深度83.94~85.71m: 変質帯。上盤18度。疎状。節理に沿って灰白色粘土を挟む。石英脈あり。 深度84.76m: 石英脈。傾斜64度。幅40~50mm。 深度85.27m: 石英脈。傾斜80度。幅1~10mm。 深度85.71~90.00m: 全体に節理多く。節理に沿って粘土を挟む。	0 50 100	CL'			10 / 7 86.90	89													
																															10 / 8 89.10
				黒雲母花崗岩	浅黄	Dg	IIg	bg			2	花崗斑岩。上位との境界傾斜40度。 深度90.00~91.08m: 節理に粘土を挟み軟質。 黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜75度。 深度92.02~92.89m: 節理に酸化マンガが多い。 花崗斑岩。上位との境界傾斜20度。	0 50 100	CL'			10 / 9 90.10	82													
																														10 / 10 93.10	82
				黒雲母花崗岩	明黄褐	Dg	IIg	cg			2	黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜40度。 深度95.55~95.61m: 砂礫状。	0 50 100	CM'			10 / 11 95.40	67													
																													10 / 12 97.50	100	
				黒雲母花崗岩	黄褐	Dg	IIg	cg			2	花崗斑岩。上位との境界傾斜20度。 黒雲母花崗岩。上位との境界傾斜40度。 深度95.55~95.61m: 砂礫状。	0 50 100	CL'			10 / 13 96.90	93													
																													10 / 14 99.00	93	

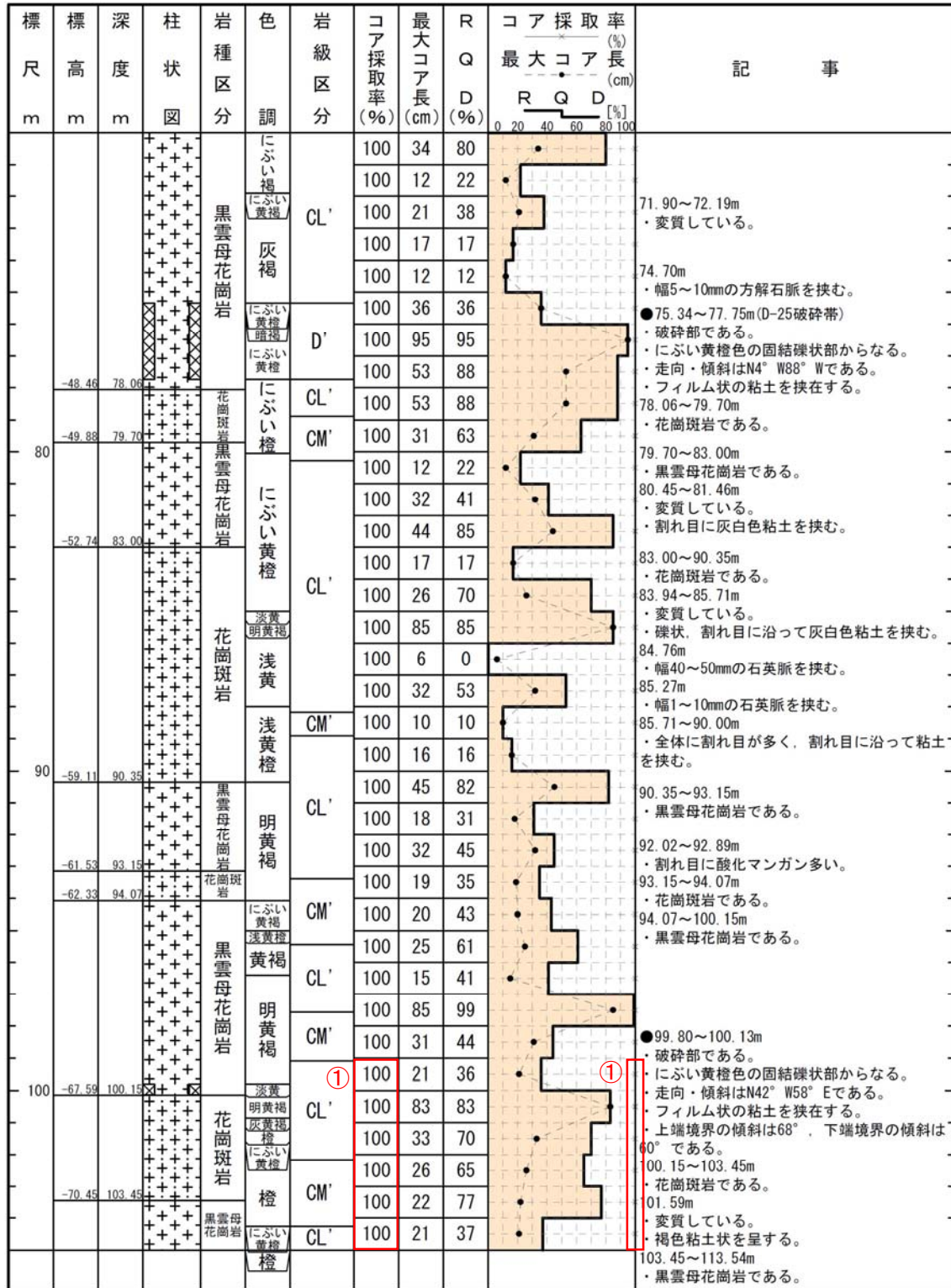
柱状図(70.00m~105.00m)



1-76(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(70.00m~105.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(105.00m～140.00m)

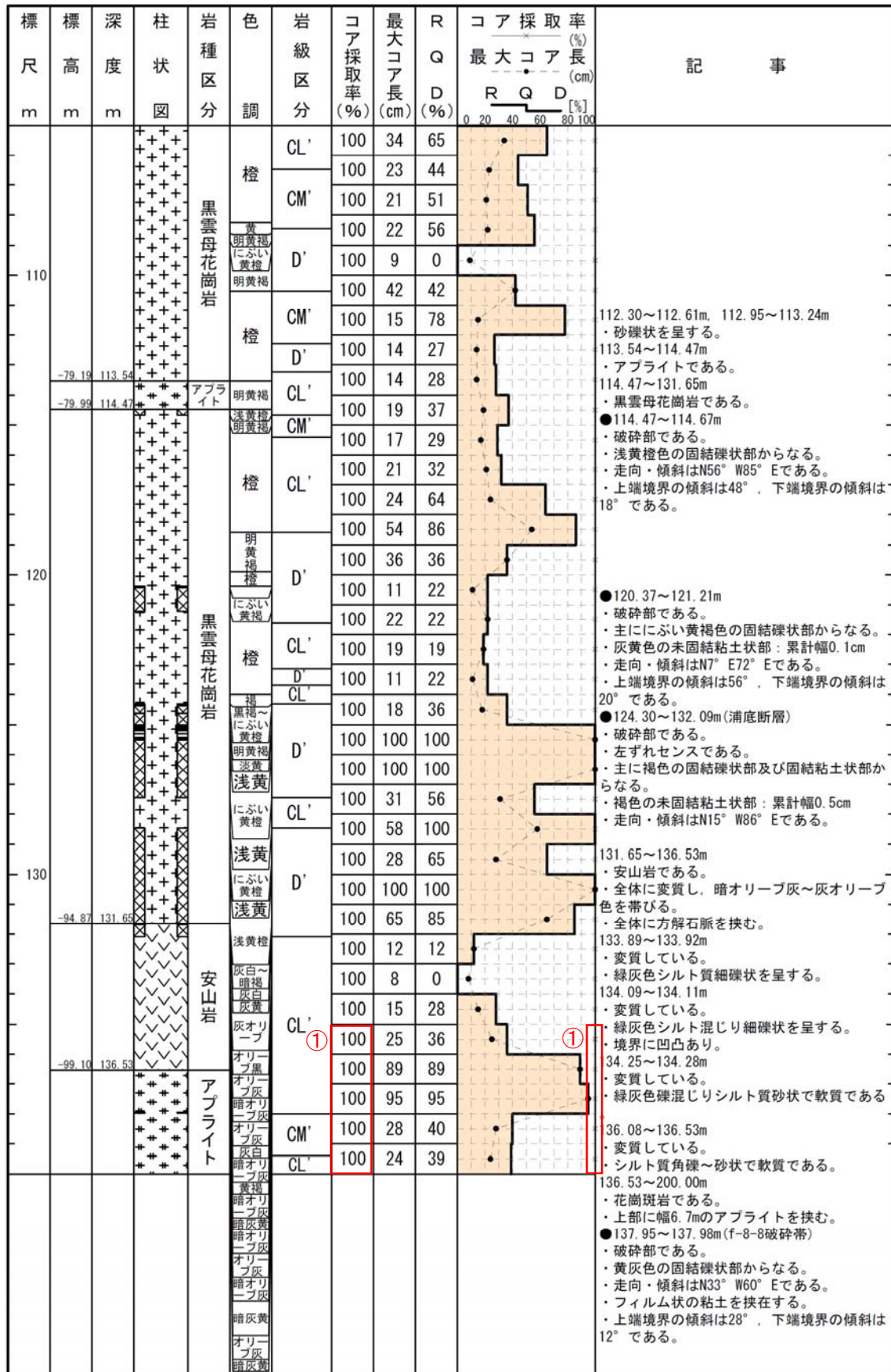
1-77, 1-78 (分類d) ①
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
 1-74 (分類b) ②
 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R D (%)	コア採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	記事
110			++++	黒雲母花崗岩	橙	CL ^②	100	34	65				<p>②</p> <p>12.30～112.61m. 112.95～113.24m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂礫状を呈する。 ・アプライトである。 ・黒雲母花崗岩である。 ●114.47～114.67m ・破碎部である。 ・浅黄橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN56° W85° Eである。 ・上端境界の傾斜は48°、下端境界の傾斜は8°である。
						CM'	100	21	51				
						D'	100	22	56				
						CM'	100	42	42				
						D'	100	15	78				
						D'	100	14	27				
						CL'	100	14	28				
						CM'	100	19	37				
						CL'	100	17	29				
						CL'	100	21	32				
120			++++	黒雲母花崗岩	橙	CL'	100	24	64				
						D'	100	54	86				
						D'	100	36	36				
						D'	100	11	22				
						CL'	100	22	22				
						CL'	100	19	19				
						D'	100	11	22				
						CL'	100	18	36				
						D'	100	100	100				
						D'	100	100	100				
130			++++	黒雲母花崗岩	橙	CL'	100	31	56				
						D'	100	58	100				
						D'	100	28	65				
						D'	100	100	100				
						CL'	100	65	85				
						D'	100	12	12				
						CL'	100	8	0				
						CL'	100	15	28				
						CL'	100	25	36				
						CL'	100	89	89				
			++++	安山岩	灰白～暗褐	CL'	100	95	95				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
			++++	アプライト	黄褐	CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				
						CL'	100	28	40				
						CL'	100	24	39				

標尺	高度	深	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	風割れ目	変状	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D L [%]	岩盤区分	岩級	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ/ビット	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)						
															N 値 ~ 深度																			
(m)	(m)	(m)	図	区分						事			(N) 値	0	10	20	30	40	50	(測定日)														
										深度134.09~134.11m: 変質帯。上盤25度。下盤16度。幅10~30mm。緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。																								
										深度134.25~134.28m: 変質帯。傾斜17度。幅30mm。緑灰色礫混じりシルト質砂状。軟質。境界不明瞭。																								
										深度135.19m: シーム。傾斜20度。幅2~5mmの緑灰色粘土状。																								
										深度135.96m: シーム。傾斜17度。幅3~4mmの緑灰色粘土状。																								
										深度136.08~136.53m: 変質帯。上盤10度。下盤28度。																								
										シルト質角礫~シルト質砂状。軟質。厚さ1~4cmの方解石脈を挟む。																								
										深度136.53~200.00m: 花崗斑岩。上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は、径3~15mmの石英、カリ長石、斜長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石英は径0.1mm程度である。斜長石の斑晶は径3mm程度であり、部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。																								
										深度137.95~137.98m: 破砕帯(Hb)。上盤28度。下盤12度。幅25mmの黄灰色礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4~8mmの灰白色シルトを挟む。																								
										深度139.55m: シーム。傾斜62度。幅0.2mmの砂質シルト状。																								
										深度139.73m: シーム。傾斜15度。幅4~10mmの黄灰色砂質シルト状。																								
										深度139.92m: シーム。傾斜50度。幅3~4mmの黄灰色シルト状。																								
										深度139.92~139.96m: 傾斜50度。幅20mmの黄灰色礫混じりシルト状。																								
										深度139.96m: シーム。傾斜50度。幅1~2mmの黄灰・褐色シルト状。																								
										深度141.15~141.20m: 破砕帯(Hb)。上盤44度。下盤30度。幅35~45mm。礫混じり砂状。上盤に幅2~5mmの黄灰色シルトを挟む。																								
										深度141.51m: シーム。傾斜75度。幅2~3mmの黄灰色シルト状。																								
										深度143.12~143.24m: 破砕帯(Hb)。上盤20度。下盤15度。礫混じり砂状。																								
										深度142.19~142.20m: 破砕帯(Hc)。下盤13度。幅13~16mmの砂質シルト状。																								
										深度143.24~144.16m: 破砕帯(Hb)。上盤15度。下盤33度。径1~3cmの固結した礫状。網目状にシルトを挟む。																								
										深度144.16~144.21m: 破砕帯(Hb)。上盤33度。下盤65度。幅10~50mm。黄灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向に相違あり。																								
										深度144.69~144.93m: 変質帯。上盤18度。径1~3cm程度の礫状。網目状にシルトを挟む。																								
										深度146.49m: シーム。傾斜60度。幅4~10mmの黄灰色シルト混じり砂状。																								
										深度149.78m: シーム。傾斜60度。幅3~5mmの暗褐色~明黄色粘土状。																								
										深度150.00~151.97m: 高角度の密着した節理が1~3cm間隔で発達。部分的に開口し角礫状となる。																								
										深度151.97~153.13m: 傾斜20~40度の節理が数~10数cm間隔で発達。																								
										深度153.20m: シーム。傾斜64度。幅2~4mmの暗褐色粘土状。																								
										深度153.65~154.48m: 節理に沿って幅1~3cm程度変質強く、全体に明黄色を帯びる。																								
										深度155.50~155.55m: 破砕帯(Hb)。上盤45度。下盤62度。幅40~50mmの黄灰色シルト混じり砂状。下面に幅3~7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。																								
										深度158.89m: シーム。傾斜56度。幅8~10mm。明黄色礫混じりシルト質砂状。																								
										深度159.89~159.90m: シーム。上盤55度。下盤50度。幅5~10mmの橙褐色砂質シルト状。																								
										深度160.00~164.40m: 密着した節理が網目状に発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。																								
										深度165.00~166.00m: 網目状に節理発達し、節理に沿って褐色を帯びる。																								
										深度166.10~166.65m: 斜長石が淡黄色を帯び、粘土化している。深度166.60m以下、網目状に節理発達。																								
										深度167.91m: シーム。傾斜40度。幅2mmの黒褐色シルト状。																								
										深度169.20~169.45m。169.62~169.85m: 網目状に低角度の節理が発達。																								

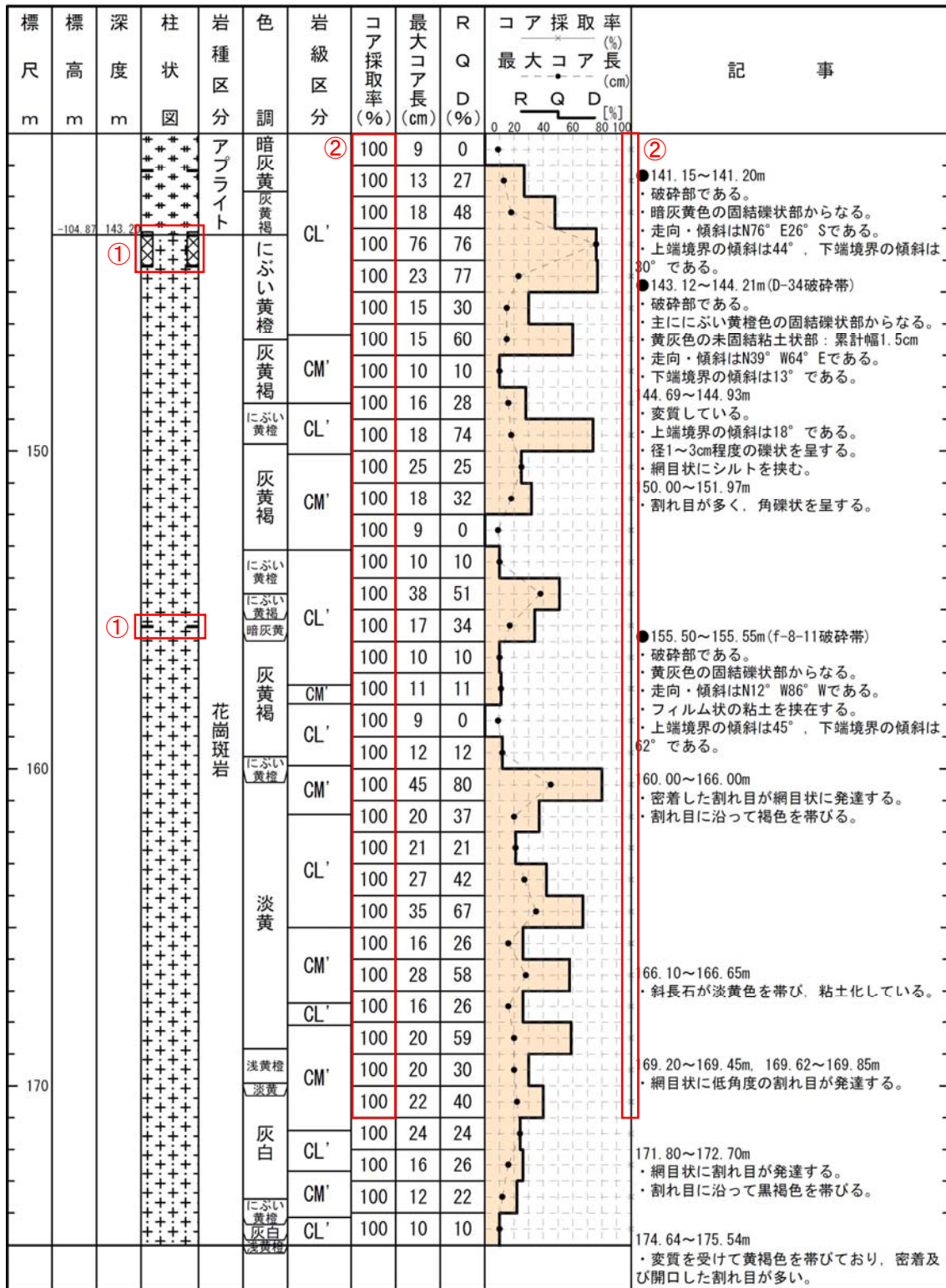
柱状図(105.00m~140.00m)

1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。



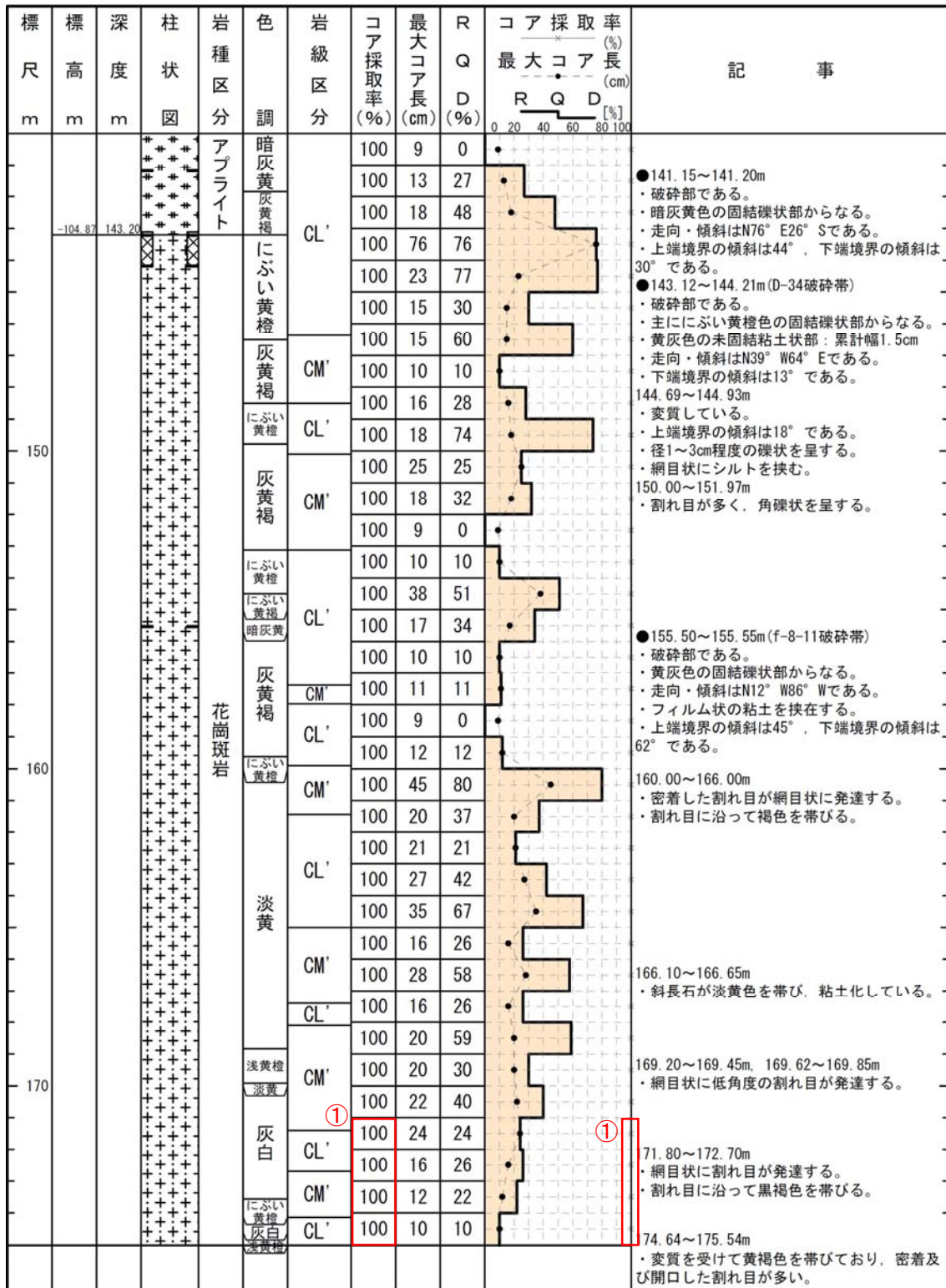
標尺	標高	深度	柱状	岩種	色調	硬軟	コア形状	変質	記	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	岩級	孔内水位(測定期日)	(標準貫入試験) 試験					室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月	孔径 (mm) / 孔壁保護	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
														N 値 ~ 深度																
(m)	(m)	(m)	図	区分					事				(N) 値	0	10	20	30	40	50											
									深度134.09~134.11m: 変質帯。上盤25度。下盤16度。幅10~30mm。緑灰色シルト混じり細礫状。方解石脈に平行。境界凹凸あり。																					
									深度134.25~134.28m: 変質帯。傾斜17度。幅30mm。緑灰色礫混じりシルト質砂状。軟質。境界不明瞭。																					
									深度135.19m: シーム。傾斜20度。幅2~5mmの緑灰色粘土状。																					
									深度135.96m: シーム。傾斜17度。幅3~4mmの緑灰色粘土状。																					
									深度136.08~136.53m: 変質帯。上盤10度。下盤28度。																					
									シルト質角礫~シルト質砂状。軟質。厚さ1~4cmの方解石脈を挟む。																					
									深度136.53~200.00m: 花崗斑岩。上部に厚さ6.7mのアプライトを挟む。花崗斑岩は、径3~15mmの石英、カリ長石、斜長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、石英は径0.1mm程度である。斜長石の斑晶は径3mm程度であり、部分的に黒雲母の斑晶が多くなる。																					
									深度137.95~137.98m: 破碎帯(Hb)。上盤28度。下盤12度。幅25mmの黄灰色礫混じりシルト質砂状。下盤に幅4~8mmの灰白色シルトを挟む。																					
									深度139.55m: シーム。傾斜62度。幅0.2mmの砂質シルト状。																					
									深度139.73m: シーム。傾斜15度。幅4~10mmの黄灰色砂質シルト状。																					
									深度139.92m: シーム。傾斜50度。幅3~4mmの黄灰色シルト状。																					
									深度139.92~139.96m: 傾斜50度。幅20mmの黄灰色礫混じりシルト状。																					
									深度139.96m: シーム。傾斜50度。幅1~2mmの黄灰・褐色シルト状。																					
									深度141.15~141.20m: 破碎帯(Hb)。上盤44度。下盤30度。幅35~45mm。礫混じり砂状。上盤に幅2~5mmの黄灰色シルトを挟む。																					
									深度141.51m: シーム。傾斜75度。幅2~3mmの黄灰色シルト状。																					
									深度143.12~143.24m: 破碎帯(Hb)。上盤20度。下盤15度。礫混じり砂状。																					
									深度142.19~142.20m: 破碎帯(Hc)。下盤13度。幅13~16mmの砂質シルト状。																					
									深度143.24~144.16m: 破碎帯(Hb)。上盤15度。下盤33度。径1~3cmの固結した礫状。網目状にシルトを挟む。																					
									深度144.16~144.21m: 破碎帯(Hb)。上盤33度。下盤65度。幅10~50mm。黄灰色礫混じりシルト質砂状。上下盤で走向に相違あり。																					
									深度144.69~144.93m: 変質帯。上盤18度。径1~3cm程度の礫状。網目状にシルトを挟む。																					
									深度146.49m: シーム。傾斜60度。幅4~10mmの黄灰色シルト混じり砂状。																					
									深度149.78m: シーム。傾斜60度。幅3~5mmの暗褐色~明黄色粘土状。																					
									深度150.00~151.97m: 高角度の密着した節理が1~3cm間隔で発達。部分的に開口し角礫状となる。																					
									深度151.97~153.13m: 傾斜20~40度の節理が数~10数cm間隔で発達。																					
									深度153.20m: シーム。傾斜64度。幅2~4mmの暗褐色粘土状。																					
									深度153.65~154.48m: 節理に沿って幅1~3cm程度変質強く、全体に明黄色を帯びる。																					
									深度155.50~155.55m: 破碎帯(Hb)。上盤45度。下盤62度。幅40~50mmの黄灰色シルト混じり砂礫状。下面に幅3~7mmの暗褐色砂質シルトを挟む。																					
									深度158.89m: シーム。傾斜56度。幅8~10mm。明黄色礫混じりシルト質砂状。																					
									深度159.89~159.90m: シーム。上盤55度。下盤50度。幅5~10mmの橙褐色砂質シルト状。																					
									深度160.00~164.40m: 密着した節理が網目状に発達。節理に沿って黒褐色を帯びる。																					
									深度165.00~166.00m: 網目状に節理発達し、節理に沿って褐色を帯びる。																					
									深度166.10~166.65m: 斜長石が淡黄色を帯び、粘土化している。深度166.60m以深。網目状に節理発達。																					
									深度167.91m: シーム。傾斜40度。幅2mmの黒褐色シルト状。																					
									深度169.20~169.45m。169.62~169.85m: 網目状に低角度の節理が発達。																					

柱状図(140.00m～175.00m)



1-79, 1-80(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-74(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

柱状図(140.00m～175.00m)



1-74(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

